

第2回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議 次第

日時：令和6年8月19日（月）午後1時30分開会
会場：小美玉市役所 本庁2階 政策会議室

1 開 会

2 挨拶

3 協議事項

- (1) 小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査結果報告について
- (2) 人口ビジョンの検証について
- (3) 総合戦略の効果検証と骨子案について

4 閉 会

配布資料

資料1：小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査 単純集計結果【速報版】

資料2：小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン 人口ビジョンの検証（案）

資料3：小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総合戦略の効果検証と骨子（案）

小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査

単純集計結果【速報版】

各種調査概要一覧

1. 調査の目的

人口ビジョン及び総合戦略の改定にあたり、市民の意識を調査するため、アンケートを行いました。

2. 調査方法

	1. 市民（保護者）	2. 市民（18～39歳）	3. 高校生世代	4. 中央高校生
(1) 調査対象者	市立小中学校に通う児童生徒の保護者（2,323世帯）	18～39歳の市民（市内小中学校に通う児童生徒の保護者を除いた2,000人を無作為抽出）	市内在住の高校生世代（無作為抽出500人）	茨城県立中央高等学校に通う生徒571人（1年生191人、2年生192人、3年生188人）
(2) 調査方法	学校で使用している連絡用アプリを活用し、WEB上で回答する	調査の案内と二次元バーコードを送付し、WEB上で回答する	調査の案内と二次元バーコードを送付し、WEB上で回答する	学校で調査の案内と二次元バーコードを配布し、WEB上で回答する
(3) 調査期間	令和6年6月28日（金）～令和6年7月15日（月）			

3. 配布・回収状況

	1. 市民（保護者）	2. 市民（18～39歳）	3. 高校生世代	4. 中央高校生
(1) 配布数	2,323 票	2,000 票	500 票	571 票
(2) 有効回収数	1,202 票	580 票	154 票	490 票
(3) 有効回収率	51.7%	29.0%	30.8%	85.8%

【参考値】

市民	計：	（配布数）4,323	（有効回収数）1,782	（有効回収率）41.2%
高校生等	計：	（配布数）1,071	（有効回収数）644	（有効回収率）60.1%
	合計：	（配布数）5,394	（有効回収数）2,426	（有効回収率）45.0%

アンケート種別の調査項目一覧表

1. 市民

●：全員回答、◎：限定回答

設問内容	回答形式	市民 児童生徒保護者	市民 18～39 歳
あなたの性別を教えてください。	SA	●	●
あなたの年齢 (R6. 6. 1 時点) を教えてください。答えたくない場合は 0 を入力してください。	NA	●	●
あなたは現在、小美玉市に住んでいますか。	SA	●	
【現在小美玉市に住んでいる方】あなたは生まれてからずっと小美玉市（合併前の小川町・美野里町・玉里村を含む）に住んでいますか。	SA	◎	●
【生まれてからずっと小美玉市に住んでいない方】小美玉市に引っ越してきた理由は何ですか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んでください。	SA	◎	
あなたは結婚していますか。	SA		●
【現在結婚していない方】将来、結婚したいと思いませんか。	SA		◎
あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。	MA	●	●
小美玉市内で就労してもらうために、必要だと思うことは何ですか。	MA	●	●
【現在小美玉市に住んでいる方】これからも小美玉市に住み続けたいですか。	SA	◎	●
【「市外に引っ越したい」を選んだ方】その理由として近いものは何ですか。	MA	◎	◎
【「市外に引っ越したい」を選んだ方】引っ越し先として希望する市区町村はありますか。	SA	◎	◎
【引っ越し先として希望する市区町村がある方】引っ越し先として希望する市区町村名を教えてください。市区町村まで決まっていない場合は、都道府県名を教えてください。	FA	◎	◎
【現在小美玉市に住んでいる方】小美玉市で子育てをしていきたいと思いませんか。	SA	◎	●
【現在小美玉市に住んでいる方】小美玉市の子育て環境・サービスについて、充実していると思いませんか。	-	◎	●

回答形式中、SA は単数回答、MA は複数回答、NA は数量回答、FA は自由回答を示します。

設問内容	回答形式	市民 児童生徒保護者	市民 18～39歳
子育て費用の支援など経済的支援	SA	●	●
保育サービス（延長・休日・一時預かり・病児保育等）	SA	●	●
子どもの安全の確保（防災・防犯・交通安全など）	SA	●	●
小児科等の医療機関	SA	●	●
保育所（園）や幼稚園	SA	●	●
小中学校などの学校施設	SA	●	●
妊娠や子育て等に関して相談できる場所・サービス	SA	●	●
公園などの遊び場	SA	●	●
放課後児童対策（放課後児童クラブ等）	SA	●	●
行政からの情報提供	SA	●	●
小美玉市に愛着を持っていますか。	SA	●	●
最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	FA	●	●

2. 高校生等

●：全員回答、◎：限定回答

設問内容	回答形式	高校生世代	中央高校生
【確認事項】あなたは、茨城県立中央高校の生徒ですか。	SA	●	
あなたの性別を教えてください。	SA	●*	●
あなたは高校生ですか。	SA	●*	
あなたは何年生ですか。	SA		●
【高校生の方】現時点での進路の希望について教えてください。	SA	◎*	●
将来希望する職業を教えてください。 高校生世代補足：既に就職している方も、希望の職業を教えてください。	MA	●*	●
あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。	MA	●*	●
希望するお住まいについて教えてください。将来はどこに住みたいですか。	SA	●*	●

回答形式中、SAは単数回答、MAは複数回答、NAは数量回答、FAは自由回答を示します。
*「中央高校の生徒である」と回答した人を除く

設問内容	回答形式	高校生世代	中央高校生
【(高校生世代)「小美玉市以外に住みたい」方/ (中央高校生)茨城県内の他の市町村に住みたい方】住みたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。	FA	◎ [※]	◎
【「茨城県外に住みたい」と答えた方】住みたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。	FA		◎
希望する勤務地について教えてください。将来はどこで働きたいですか。	SA	● [※]	●
【(高校生世代)「小美玉市以外で働きたい」方/ (中央高校生)茨城県内の他の市町村で働きたい】働きたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。	FA	◎ [※]	
【「茨城県外で働きたい」と答えた方】働きたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。	FA		◎
あなたは結婚したいと思いますか。	SA	● [※]	●
【結婚したいと思う方】結婚を希望する年齢を教えてください。	SA	◎ [※]	◎
あなたは小美玉市に、愛着を持っていますか。	SA	● [※]	●
最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	FA	● [※]	●

回答形式中、SAは単数回答、MAは複数回答、NAは数量回答、FAは自由回答を示します。

※「中央高校の生徒である」と回答した人を除く

結果の概要

アンケート調査結果について、市民（①保護者、②18歳～39歳）と高校生等（①高校生世代、②中央高校生）でそれぞれ回答傾向を比較しました。なお、アンケートごとに対象者の区分が異なることから、アンケートによっては特定の世代または性別の意見が強く反映される場合があります。

アンケートの区分は以下のとおりです。

市民①（保護者）：市内小中学校に通う児童生徒の保護者

市民②（18歳～39歳）：18歳～39歳の市民（市内小中学校に通う児童生徒の保護者を除く）

高校生等①（高校生世代）：市内在住の高校生世代

高校生等②（中央高校生）：茨城県立中央高等学校に通う生徒

職業に関すること

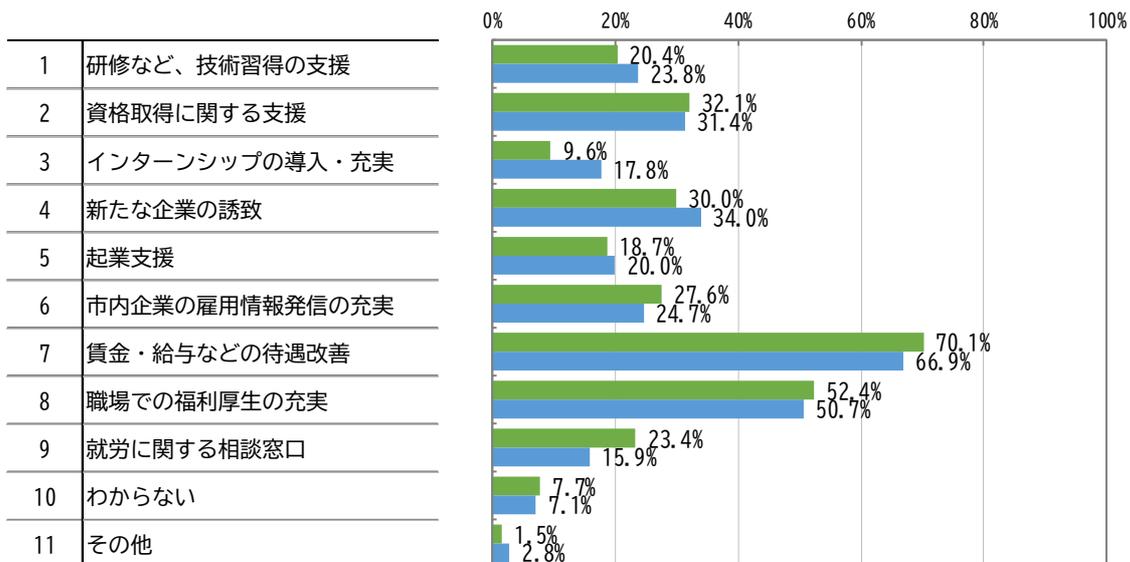
1. 小美玉市内で就労してもらうために、必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

児童生徒保護者：問5、18～39歳：問6

◆回答対象者：市民（①保護者、②18歳～39歳）

<市民>

・「賃金・給与などの待遇改善」、「職場での福利厚生充実」など、働きやすい労働環境が求められている。



※上段：①市民（児童生徒保護者）、下段：②市民（18～39歳）

回答対象者：①全員（1202）、②全員（580）

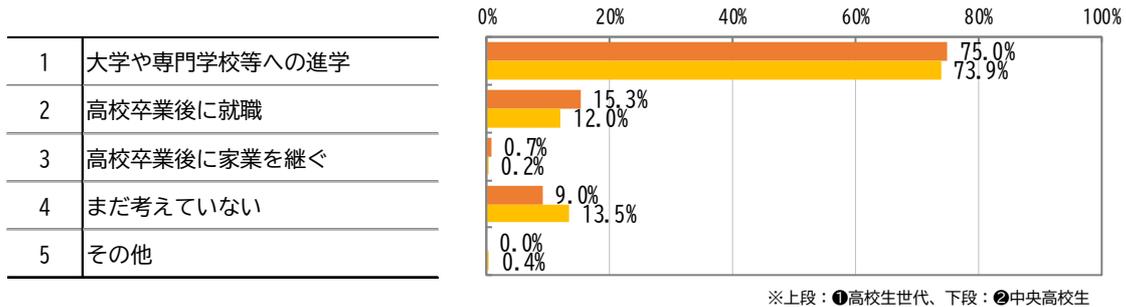
2. 現時点での進路の希望について教えてください。(〇は1つ)

高校生世代：問3、中央高校生：問4

◆回答対象者：高校生等（①高校生世代、②中央高校生）

<高校生等>

- ・「大学や専門学校等への進学」が大半となっている。
- ・「高校卒業後に就職」は1割台となっている。



回答対象者：①全員（中央高校生を除く）（144）、②全員（490）

3. 希望する勤務地について教えてください。将来はどこで働きたいですか。(〇は1つ)

高校生世代：問7、中央高校生：問8

◆回答対象者：高校生等（①高校生世代、②中央高校生（市内在住のみ））

<高校生等>

- ・半数以上が「まだわからない」としている。
- ・「小美玉市内で働きたい」はいずれの区分でも1割以下と少ない。
- ・②中央高校生（小美玉市内居住者に限る）は、市外で働く意向がより強い。



※「その他」選択肢は②のみ。
 ※②は「今住んでいる市町村内で働きたい」を選択肢1、「茨城県内の他の市町村内で働きたい」及び「茨城県外で働きたい」を選択肢2とした。

回答対象者：①全員（中央高校生を除く）（148）、②問3で小美玉市に住んでいると回答した人（126）

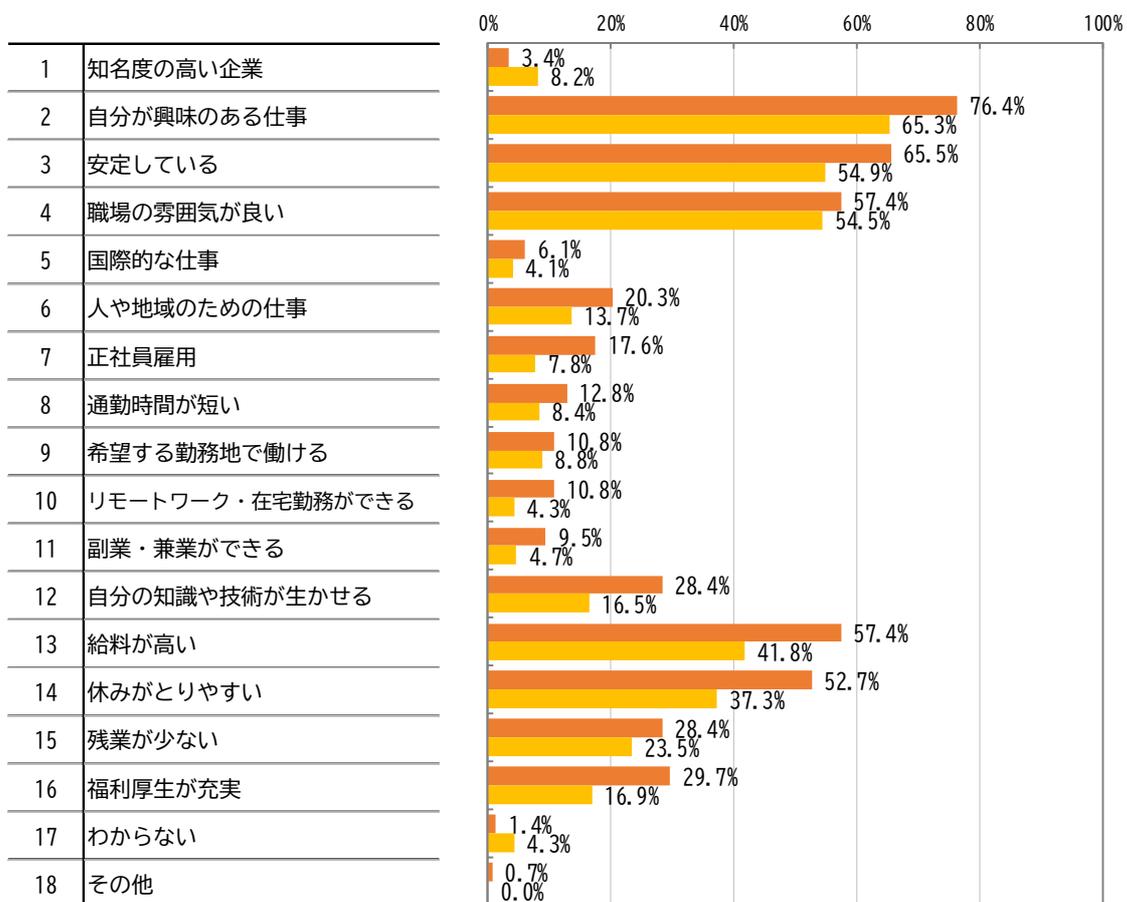
4. あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。(複数回答)

高校生世代：問5、中央高校生：問6

◆回答対象者：高校生等（①高校生世代、②中央高校生）

<高校生等>

- ・「自分の興味のある仕事」であることがまず前提としてあり、そのうえで「安定している」、「職場の雰囲気が良い」、「給料が高い」、「休みがとりやすい」などの良い労働環境が求められている。
- ・全体として、①高校生世代の方が、多くの選択肢に回答した者が多い傾向にある。



※上段：①高校生世代、下段：②中央高校生

回答対象者：①全員（中央高校生を除く）（148）、②全員（490）

定住に関すること

5. これからも小美玉市に住み続けたいですか。(〇は1つ)

児童生徒保護者：問7、18～39歳：問8

◆回答対象者：市民（①保護者（市内在住のみ）、②18歳～39歳）

<市民>

- ・①保護者は「当分は住み続けたい」と「ずっと住み続けたい」が多く、定住意向が強い。
- ・②18歳～39歳の市民は、①保護者と比べると定住意向は弱い。ただし、市外への引っ越しの意向をはっきりと持っている層は比較的少ない。



※上段：①市民（児童生徒保護者）、下段：②市民（18～39歳）

回答対象者：①問3で小美玉市に住んでいると回答した人（1184）、②全員（580）

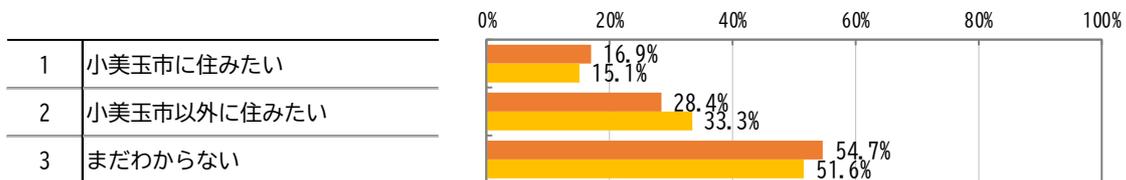
6. 希望するお住まいについて教えてください。将来はどこに住みたいですか。(〇は1つ)

高校生世代：問6、中央高校生：問7

◆回答対象者：高校生等（①高校生世代、②中央高校生（市内在住のみ））

<高校生等>

- ・小美玉市への居住より、市外への居住を希望する割合が高い。
- ・①高校生世代、②中央高校生ともに「まだわからない」が多い。



※上段：①高校生世代、下段：②中央高校生

※②は「今住んでいる市町村に住みたい」を選択肢1、「茨城県内の他の市町村に住みたい」及び「茨城県外に住みたい」を選択肢2とした。

回答対象者：①全員（中央高校生を除く）（148）、②問3で小美玉市に住んでいると回答した人（126）

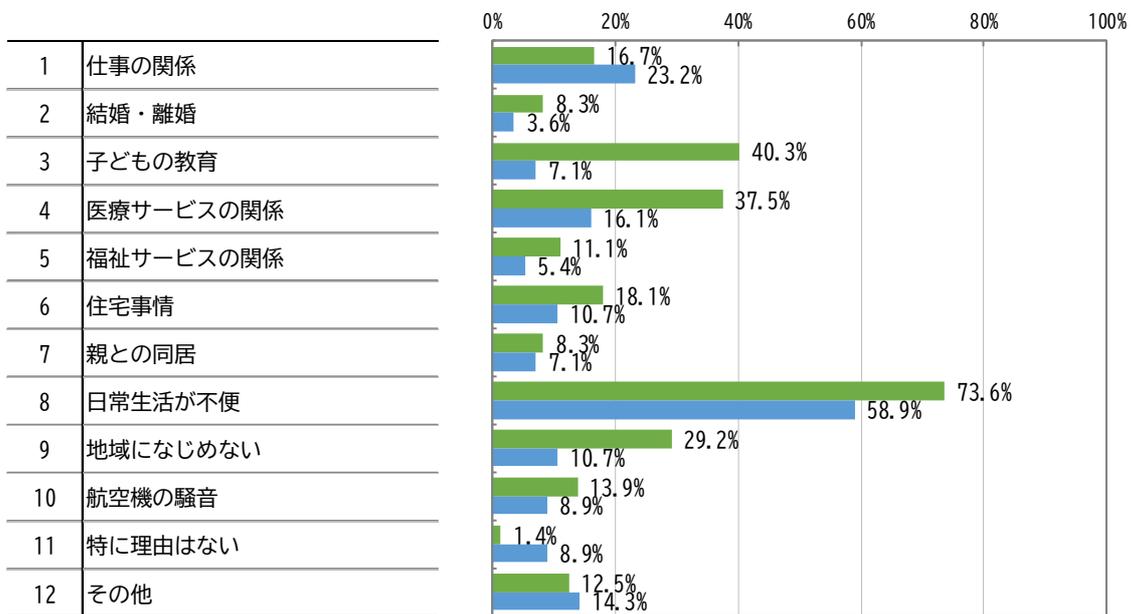
7. 「市外に引っ越したい」を選んだ方 その理由として近いものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

児童生徒保護者：問 8、18～39 歳：問 9

◆回答対象者：市民（市内に住んでおり、市外に引っ越したいと答えた①保護者、市外に引っ越したいと答えた②18～39 歳）

<市民>

- ・「日常生活が不便」が一番の理由となっている。
- ・①保護者は「子どもの教育」、「医療サービスの関係」、「地域になじめない」などが多い。
- ・②18～39 歳は「仕事の関係」が多い。



※上段：①市民（児童生徒保護者）、下段：②市民（18～39歳）

回答対象者：①問3で市内に住んでいるを選択し、かつ問7で「市外に引っ越したい」を選択した人（72）、
②問8で「市外に引っ越したい」を選択した人（56）

結婚・子育てに関すること

8. 小美玉市で子育てをしていきたいと思えますか。(〇は1つ)

児童生徒保護者：問 10、18～39 歳：問 11

◆回答対象者：市民（①保護者（市内在住のみ）、②18 歳～39 歳）

<市民>

- ・①保護者は半数以上が小美玉市での子育てを希望している。
- ・未就学児の保護者を含む②18 歳～39 歳の市民は、「わからない」が大半であるが、3 割程度は小美玉市での子育てを前向きに検討している。



※上段：①市民（児童生徒保護者）、下段：②市民（18～39歳）

回答対象者：①問3で市内に住んでいるを選択した人（1184）、②全員（580）

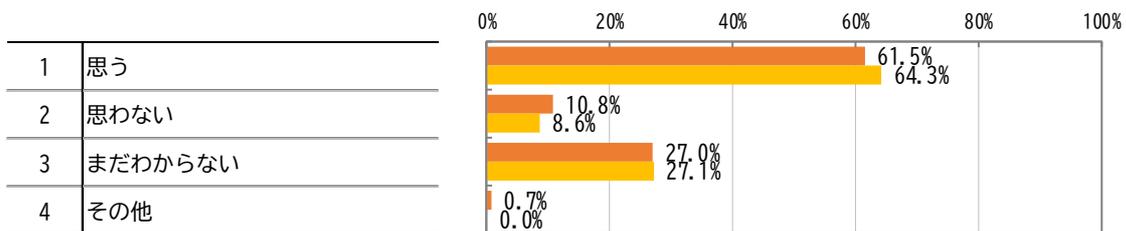
9. あなたは結婚したいと思えますか。(〇は1つ)

高校生世代：問 8、中央高校生：問 9

◆回答対象者：高校生等（①高校生世代、②中央高校生）

<高校生等>

- ・半数以上は結婚を希望している。結婚したくない層は1 割程度と少なくなっている。



※上段：①高校生世代、下段：②中央高校生

回答対象者：①全員（中央高校生を除く）（148）、②全員（490）

愛着に関すること

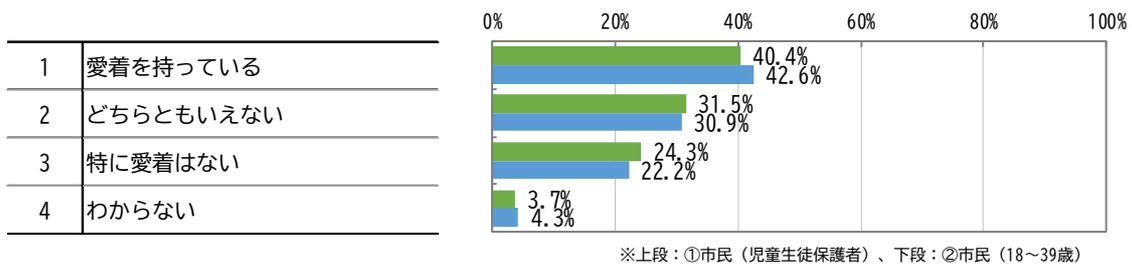
10. あなたは小美玉市に愛着を持っていますか。(〇は1つ)

児童生徒保護者：問 12、18～39 歳：問 13、高校生世代：問 9、中央高校生：問 10

◆回答対象者：市民（①保護者、②18 歳～39 歳）

<市民>

・「愛着を持っている」が最多ではあるが、半数以下となっている。

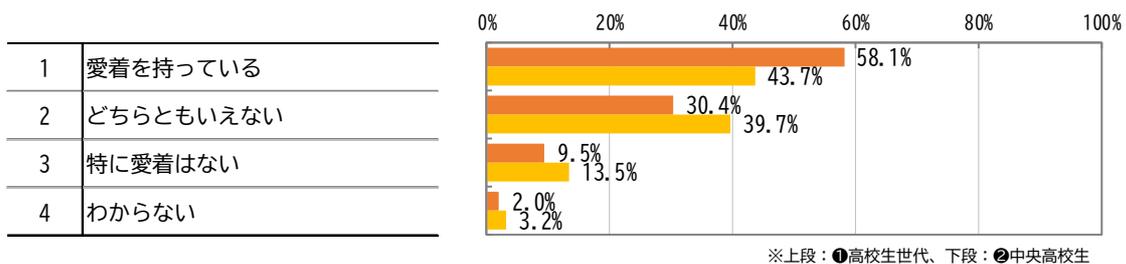


回答対象者：①全員（1202）、②（580）

◆回答対象者：高校生等（①高校生世代、②中央高校生（市内在住のみ））

<高校生等>

- ・①高校生世代は半数以上が「愛着を持っている」と回答しており、①②の市民よりも高い傾向にある。
- ・②中央高校生（市内居住者に限る）においても「愛着を持っている」が最多ではあるが、次点の「どちらともいえない」と僅差となっている。



回答対象者：①全員（中央高校生を除く）（148）、②問3で小美玉市に住んでいると回答した人（126）

小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査 市民アンケート（市立小中学校に通う児童生徒の保護者）単純集計結果【速報版】

1. 調査の目的

人口ビジョン及び総合戦略の改定にあたり、市民の意識を調査するため、アンケートを行います。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 市立小中学校に通う児童生徒の保護者（2,323世帯）

(2) 調査方法

- ・ 学校で使用している連絡用アプリを活用し、WEB上で回答する

(3) 調査期間

- ・ 令和6年6月28日（金）～令和6年7月15日（月）

3. 配布・回収状況

- ・ 配付数：2,323票
- ・ 有効回収数：1,202票
- ・ 有効回収率：51.7%

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問については、母数を有効回答者数としているため、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 有効回答者数は各設問に（n=●●）で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択しているものや、対象者限定の設問で非対象者が選択したものはカウントしていません。
- ・ 回答が少数である設問の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。

5. アンケート調査項目

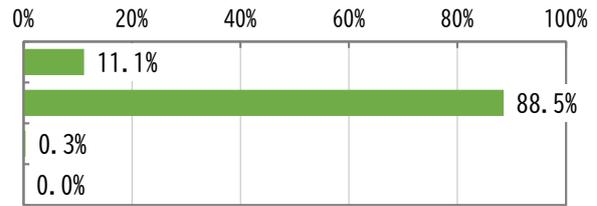
回答形式中、SAは単数回答、MAは複数回答、NAは数量回答、FAは自由回答を示します。

設問番号	調査内容	回答形式
問1	あなたの性別を教えてください。（〇は1つ）	SA
問2	あなたの年齢（R6.6.1時点）を教えてください。答えたくない場合は0を入力してください。（数字入力）	NA
問3	あなたは現在、小美玉市に住んでいますか。（〇は1つ）	SA
問4	問3で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは生まれてからずっと小美玉市（合併前の小川町・美野里町・玉里村を含む）に住んでいますか。（〇は1つ）	SA
問4-1	問4で「いいえ」と答えた方、生まれてからずっと小美玉市に住んでいない方にお聞きします。小美玉市に引っ越してきた理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください。（〇は1つ）	SA
問5	あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）	MA
問6	小美玉市内で就労してもらうために、必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）	MA
問7	問3で「はい」と答えた方にお聞きします。これからも小美玉市に住み続けたいですか。（〇は1つ）	SA
問8	問7で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。その理由として近いものは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）	MA
問9	問7で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村はありますか。（〇は1つ）	SA
問9-1	問9で「ある」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村名を教えてください。市区町村まで決まっていない場合は、都道府県名を教えてください。（記述）	FA
問10	問3で「はい」と答えた方にお聞きします。小美玉市で子育てをしていきたいと思いませんか。（〇は1つ）	SA
問11	問3で「はい」と答えた方にお聞きします。小美玉市の子育て環境・サービスについて、充実していると思いませんか。（各設問に対し〇は1つ）	-
問11-1	子育て費用の支援など経済的支援	SA
問11-2	保育サービス（延長・休日・一時預かり・病児保育等）	SA
問11-3	子どもの安全の確保（防災・防犯・交通安全など）	SA
問11-4	小児科等の医療機関	SA
問11-5	保育所（園）や幼稚園	SA
問11-6	小中学校などの学校施設	SA
問11-7	妊娠や子育て等に関して相談できる場所・サービス	SA
問11-8	公園などの遊び場	SA
問11-9	放課後児童対策（放課後児童クラブ等）	SA
問11-10	行政からの情報提供	SA
問12	小美玉市に愛着を持っていますか。（〇は1つ）	SA
問13	最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	FA

問1 あなたの性別を教えてください。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	男性	134	11.1%
2	女性	1,064	88.5%
3	その他	4	0.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,202	100.0%

n= 1,202

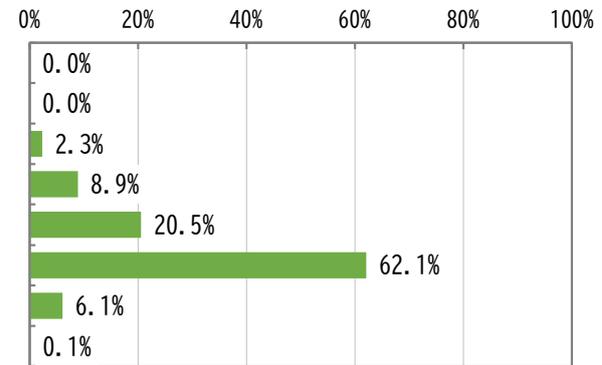


回答対象者：全員

問2 あなたの年齢（R6.6.1時点）を教えてください。答えたくない場合は0を入力してください。（数字入力） NA

		票数	%
	18歳、19歳	0	0.0%
	20歳～24歳	0	0.0%
	25歳～29歳	28	2.3%
	30歳～34歳	107	8.9%
	35歳～39歳	247	20.5%
	40歳以上	746	62.1%
	答えたくない	73	6.1%
	無回答・無効	1	0.1%
	合計	1,202	100.0%

n= 1,202



回答対象者：全員

問3 あなたは現在、小美玉市に住んでいますか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	はい	1,184	98.5%
2	いいえ	18	1.5%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,202	100.0%

n= 1,202



回答対象者：全員

問4 問3で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは生まれてからずっと小美玉市（合併前の小川町・美野里町・玉里村を含む）に住んでいますか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	はい	359	30.3%
2	いいえ	821	69.3%
3	わからない	4	0.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

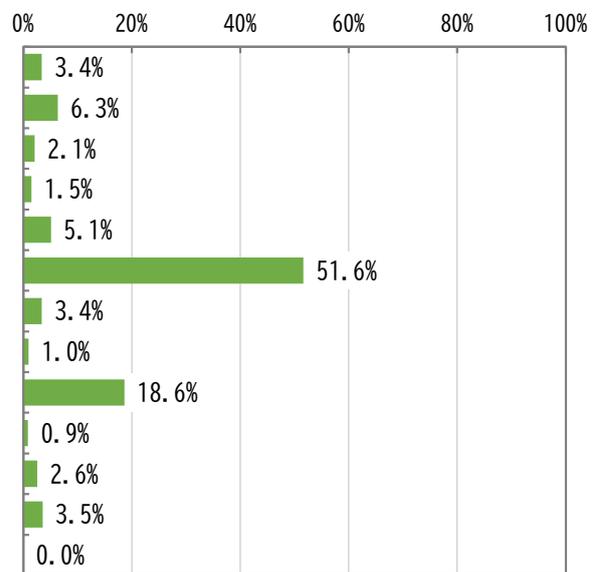


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問4-1 問4で「いいえ」と答えた方、生まれてからずっと小美玉市に住んでいない方にお聞きします。小美玉市に引っ越してきた理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	就職	28	3.4%
2	転勤	52	6.3%
3	転職・離職・退職	17	2.1%
4	進学・入学・通学	12	1.5%
5	子どもの進学・入学・通学	42	5.1%
6	結婚	424	51.6%
7	離婚	28	3.4%
8	親の介護	8	1.0%
9	住宅の新築・購入	153	18.6%
10	生活の利便性	7	0.9%
11	特に理由はない	21	2.6%
12	その他	29	3.5%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	821	100.0%

n = 821

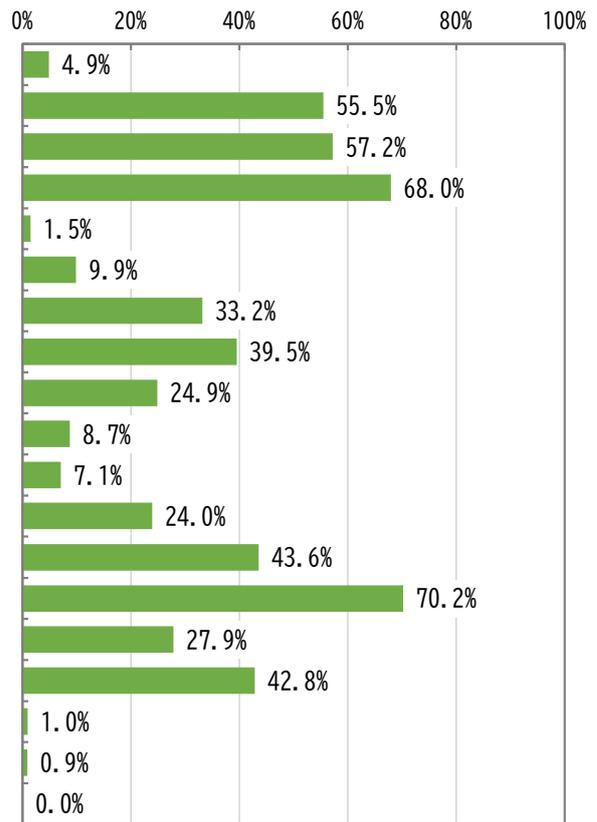


回答対象者：問4で「いいえ」を選択した人

問5 あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○） MA

		票数	%
1	知名度の高い企業	59	4.9%
2	自分が興味のある仕事	667	55.5%
3	安定している	688	57.2%
4	職場の雰囲気が良い	817	68.0%
5	国際的な仕事	18	1.5%
6	人や地域のための仕事	119	9.9%
7	正社員雇用	399	33.2%
8	通勤時間が短い	475	39.5%
9	希望する勤務地で働ける	299	24.9%
10	リモートワーク・在宅勤務ができる	105	8.7%
11	副業・兼業ができる	85	7.1%
12	自分の知識や技術が活かせる	288	24.0%
13	給料が高い	524	43.6%
14	休みがとりやすい	844	70.2%
15	残業が少ない	335	27.9%
16	福利厚生が充実	515	42.8%
17	わからない	12	1.0%
18	その他	11	0.9%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	6,260	520.8%

n = 1,202

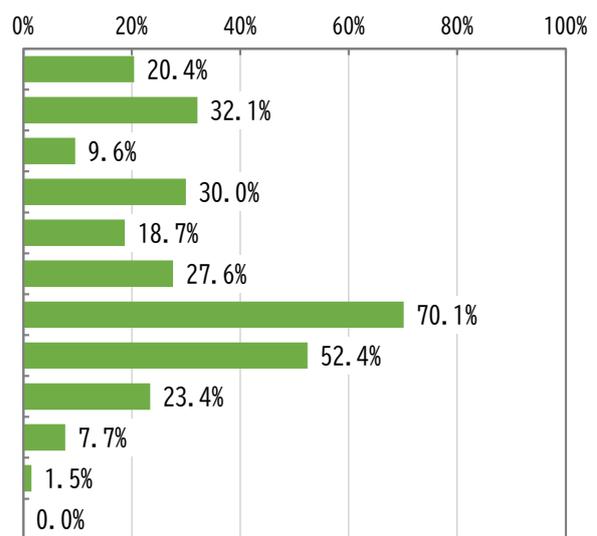


回答対象者：全員

問6 小美玉市内で就労してもらうために、必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○） MA

		票数	%
1	研修など、技術習得の支援	245	20.4%
2	資格取得に関する支援	386	32.1%
3	インターンシップの導入・充実	115	9.6%
4	新たな企業の誘致	360	30.0%
5	起業支援	225	18.7%
6	市内企業の雇用情報発信の充実	332	27.6%
7	賃金・給与などの待遇改善	843	70.1%
8	職場での福利厚生の充実	630	52.4%
9	就労に関する相談窓口	281	23.4%
10	わからない	93	7.7%
11	その他	18	1.5%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	3,528	293.5%

n = 1,202

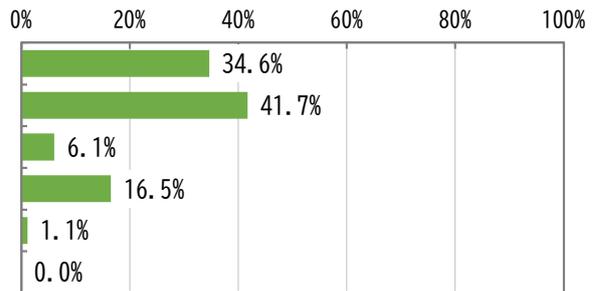


回答対象者：全員

問7 問3で「はい」と答えた方にお聞きします。これからも小美玉市に住み続けたいですか。（○は1つ） SA

		票数	%
1	ずっと住み続けたい	410	34.6%
2	当分は住み続けたい	494	41.7%
3	市外に引っ越したい	72	6.1%
4	まだわからない	195	16.5%
5	その他	13	1.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

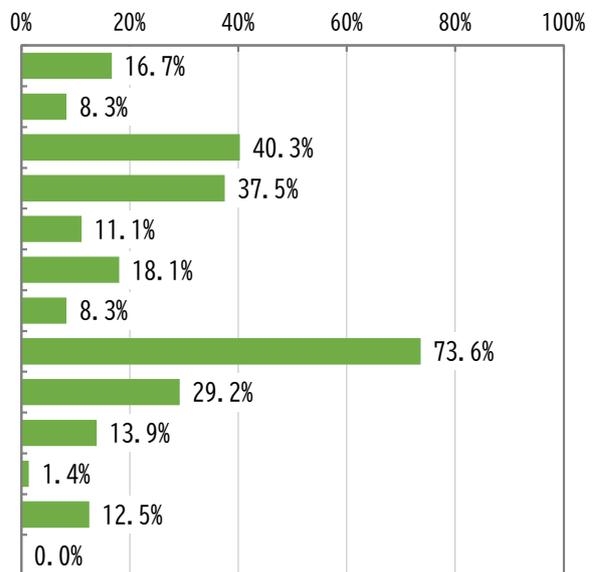


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問8 問7で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。その理由として近いものは何ですか。（あてはまるものすべてに○） MA

		票数	%
1	仕事の関係	12	16.7%
2	結婚・離婚	6	8.3%
3	子どもの教育	29	40.3%
4	医療サービスの関係	27	37.5%
5	福祉サービスの関係	8	11.1%
6	住宅事情	13	18.1%
7	親との同居	6	8.3%
8	日常生活が不便	53	73.6%
9	地域になじめない	21	29.2%
10	航空機の騒音	10	13.9%
11	特に理由はない	1	1.4%
12	その他	9	12.5%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	195	270.8%

n = 72

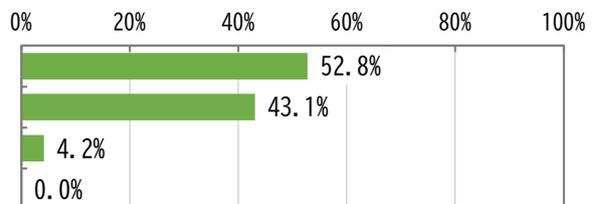


回答対象者：問7で「市外に引っ越したい」を選択した人

問9 問7で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村はありますか。（○は1つ） SA

		票数	%
1	ある	38	52.8%
2	ない	31	43.1%
3	その他	3	4.2%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	72	100.0%

n = 72



回答対象者：問7で「市外に引っ越したい」を選択した人

問9-1 問9で「ある」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村名を教えてください。市区町村まで決まっていない場合は、都道府県名を教えてください。（記述） FA

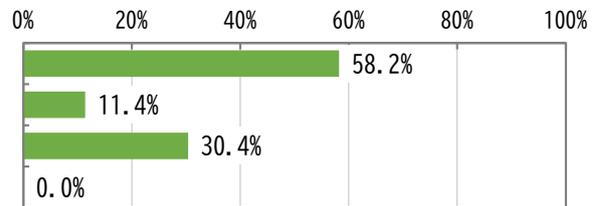
38人の回答が得られた。

回答対象者：問9で「ある」を選択した人

問10 問3で「はい」と答えた方にお聞きします。小美玉市で子育てをしていきたいと思いませんか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	そう思う	689	58.2%
2	そう思わない	135	11.4%
3	わからない	360	30.4%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184



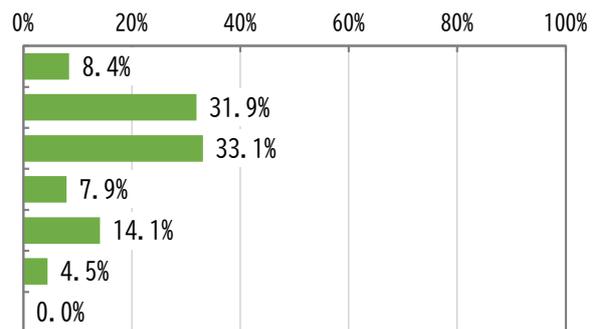
回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11 問3で「はい」と答えた方にお聞きします。小美玉市の子育て環境・サービスについて、充実していると思いませんか。（各設問に対し〇は1つ）

問11-1 子育て費用の支援など経済的支援 SA

		票数	%
1	充実している	100	8.4%
2	やや充実している	378	31.9%
3	どちらともいえない	392	33.1%
4	やや充実していない	94	7.9%
5	充実していない	167	14.1%
6	わからない	53	4.5%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

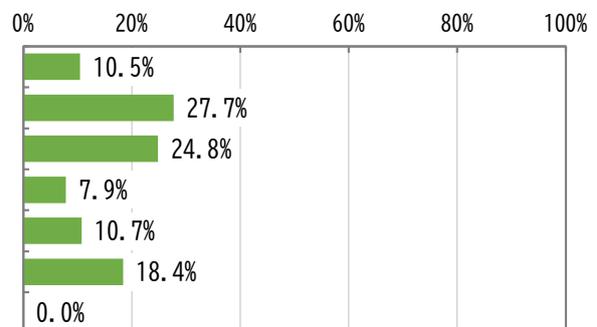


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-2 保育サービス（延長・休日・一時預かり・病児保育等） SA

		票数	%
1	充実している	124	10.5%
2	やや充実している	328	27.7%
3	どちらともいえない	294	24.8%
4	やや充実していない	93	7.9%
5	充実していない	127	10.7%
6	わからない	218	18.4%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

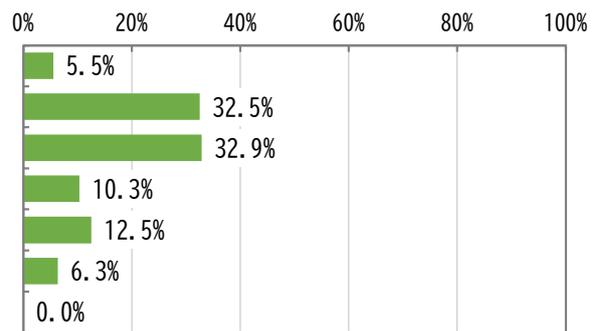


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-3 子どもの安全の確保（防災・防犯・交通安全など） SA

		票数	%
1	充実している	65	5.5%
2	やや充実している	385	32.5%
3	どちらともいえない	389	32.9%
4	やや充実していない	122	10.3%
5	充実していない	148	12.5%
6	わからない	75	6.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

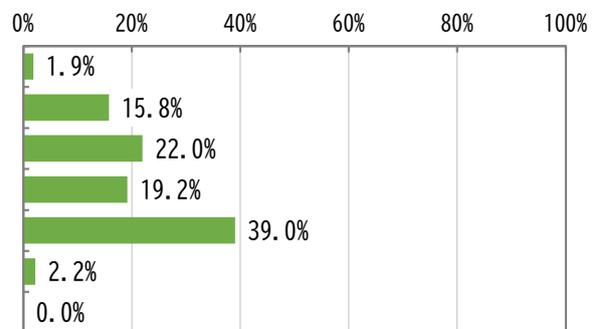


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-4 小児科等の医療機関 SA

		票数	%
1	充実している	22	1.9%
2	やや充実している	187	15.8%
3	どちらともいえない	260	22.0%
4	やや充実していない	227	19.2%
5	充実していない	462	39.0%
6	わからない	26	2.2%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

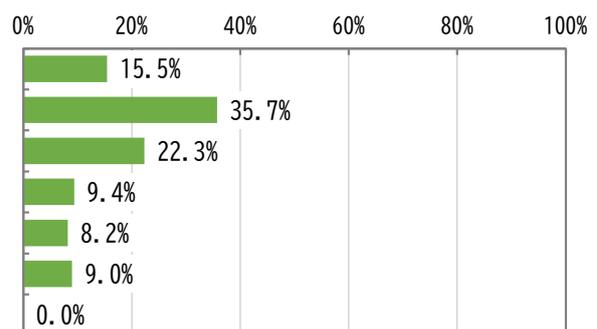


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-5 保育所（園）や幼稚園 SA

		票数	%
1	充実している	183	15.5%
2	やや充実している	423	35.7%
3	どちらともいえない	264	22.3%
4	やや充実していない	111	9.4%
5	充実していない	97	8.2%
6	わからない	106	9.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184



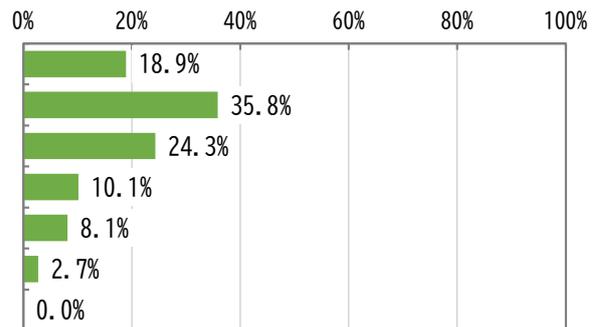
回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-6 小中学校などの学校施設

SA

		票数	%
1	充実している	224	18.9%
2	やや充実している	424	35.8%
3	どちらともいえない	288	24.3%
4	やや充実していない	120	10.1%
5	充実していない	96	8.1%
6	わからない	32	2.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184



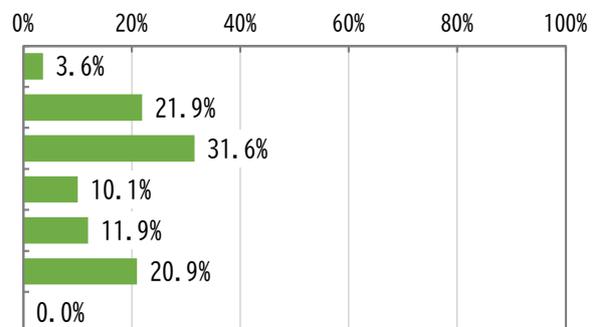
回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-7 妊娠や子育て等に関して相談できる場所・サービス

SA

		票数	%
1	充実している	43	3.6%
2	やや充実している	259	21.9%
3	どちらともいえない	374	31.6%
4	やや充実していない	119	10.1%
5	充実していない	141	11.9%
6	わからない	248	20.9%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184



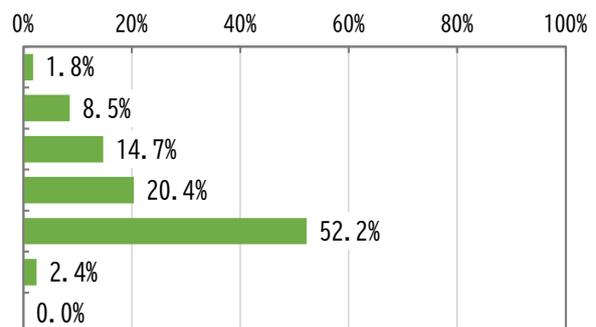
回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-8 公園などの遊び場

SA

		票数	%
1	充実している	21	1.8%
2	やや充実している	101	8.5%
3	どちらともいえない	174	14.7%
4	やや充実していない	241	20.4%
5	充実していない	618	52.2%
6	わからない	29	2.4%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

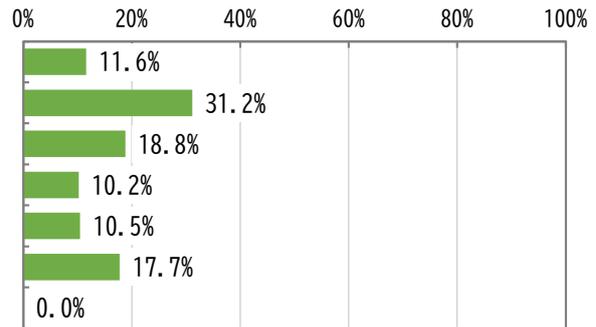


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-9 放課後児童対策（放課後児童クラブ等） SA

		票数	%
1	充実している	137	11.6%
2	やや充実している	369	31.2%
3	どちらともいえない	223	18.8%
4	やや充実していない	121	10.2%
5	充実していない	124	10.5%
6	わからない	210	17.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

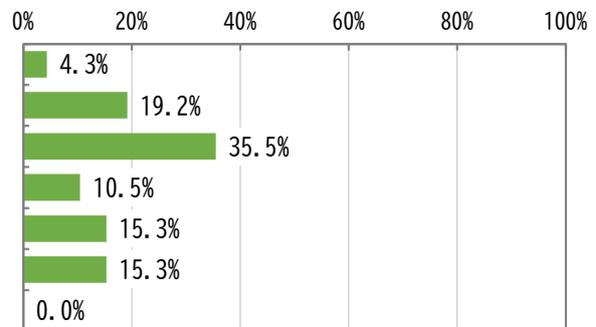


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問11-10 行政からの情報提供 SA

		票数	%
1	充実している	51	4.3%
2	やや充実している	227	19.2%
3	どちらともいえない	420	35.5%
4	やや充実していない	124	10.5%
5	充実していない	181	15.3%
6	わからない	181	15.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,184	100.0%

n = 1,184

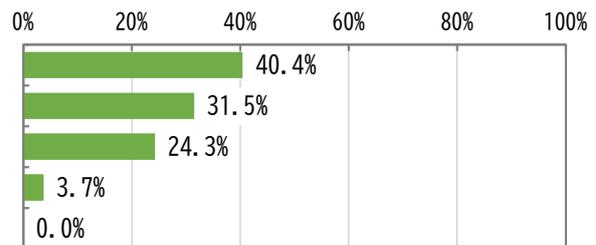


回答対象者：問3で「はい」を選択した人

問12 小美玉市に愛着を持っていますか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	愛着を持っている	486	40.4%
2	どちらともいえない	379	31.5%
3	特に愛着はない	292	24.3%
4	わからない	45	3.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,202	100.0%

n = 1,202



回答対象者：全員

問13 最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。 FA

337人の回答が得られた。（「特になし」等を含む。）

回答対象者：全員

小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査 市民アンケート（18～39歳） 単純集計結果【速報版】

1. 調査の目的

人口ビジョン及び総合戦略の改定にあたり、市民の意識を調査するため、アンケートを行います。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 18～39歳の市民（市内小中学校に通う児童生徒の保護者を除いた2,000人を無作為抽出）

(2) 調査方法

- ・ 調査の案内と二次元バーコードを送付し、WEB上で回答する

(3) 調査期間

- ・ 令和6年6月28日（金）～令和6年7月15日（月）

3. 配布・回収状況

- ・ 配付数：2,000票
- ・ 有効回収数：580票
有効回収率：29%

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問については、母数を有効回答者数としているため、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 有効回答者数は各設問に（n=●●）で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択しているものや、対象者限定の設問で非対象者が選択したものはカウントしていません。
- ・ 回答が少数である設問の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。

5. アンケート調査項目

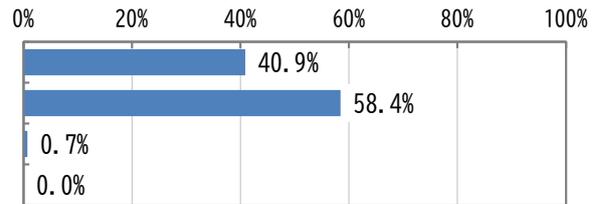
回答形式中、SAは単数回答、MAは複数回答、NAは数量回答、FAは自由回答を示します。

設問番号	調査内容	回答形式
問1	あなたの性別を教えてください。（〇は1つ）	SA
問2	あなたの年齢（R6.6.1時点）を教えてください。答えたくない場合は0を入力してください。（数字入力）	NA
問3	あなたは生まれてからずっと小美玉市（合併前の小川町・美野里町・玉里村を含む）に住んでいますか。（〇は1つ）	SA
問3-1	問3で「いいえ」と答えた方、生まれてからずっと小美玉市に住んでいない方にお聞きします。小美玉市に引っ越してきた理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください。（〇は1つ）	SA
問4	あなたは結婚していますか。（〇は1つ）	SA
問5	問4で「いいえ」と答えた方、現在結婚していない方にお聞きします。将来、結婚したいと思いませんか。（〇は1つ）	SA
問6	あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）	MA
問7	小美玉市内で就労してもらうために、必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）	MA
問8	これからも小美玉市に住み続けたいですか。（〇は1つ）	SA
問9	問8で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。その理由として近いものは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）	MA
問10	問8で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村はありますか。（〇は1つ）	SA
問10-1	問10で「ある」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村名を教えてください。市区町村まで決まっていない場合は、都道府県名を教えてください。（記述）	FA
問11	小美玉市で子育てをしていきたいと思いませんか。（〇は1つ）	SA
問12	小美玉市の子育て環境・サービスについて、充実していると思いませんか。（各設問に対し〇は1つ）	-
問12-1	子育て費用の支援など経済的支援	SA
問12-2	保育サービス（延長・休日・一時預かり・病児保育等）	SA
問12-3	子どもの安全の確保（防災・防犯・交通安全など）	SA
問12-4	小児科等の医療機関	SA
問12-5	保育所（園）や幼稚園	SA
問12-6	小中学校などの学校施設	SA
問12-7	妊娠や子育て等に関して相談できる場所・サービス	SA
問12-8	公園などの遊び場	SA
問12-9	放課後児童対策（放課後児童クラブ等）	SA
問12-10	行政からの情報提供	SA
問13	あなたは小美玉市に愛着を持っていますか。（〇は1つ）	SA
問14	最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	FA

問1 あなたの性別を教えてください。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	男性	237	40.9%
2	女性	339	58.4%
3	その他	4	0.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580

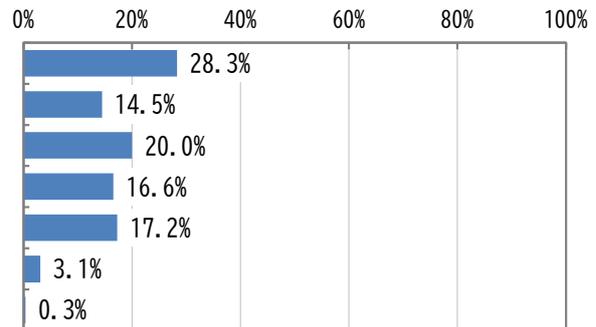


回答対象者：全員

問2 あなたの年齢（R6.6.1時点）を教えてください。答えたくない場合は0を入力してください。（数字入力） NA

		票数	%
	18歳、19歳	164	28.3%
	20歳～24歳	84	14.5%
	25歳～29歳	116	20.0%
	30歳～34歳	96	16.6%
	35歳～39歳	100	17.2%
	答えたくない	18	3.1%
	無回答・無効	2	0.3%
	合計	580	100.0%

n = 580

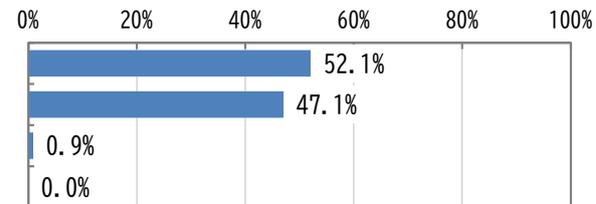


回答対象者：全員

問3 あなたは生まれてからずっと小美玉市（合併前の小川町・美野里町・玉里村を含む）に住んでいますか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	はい	302	52.1%
2	いいえ	273	47.1%
3	わからない	5	0.9%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580

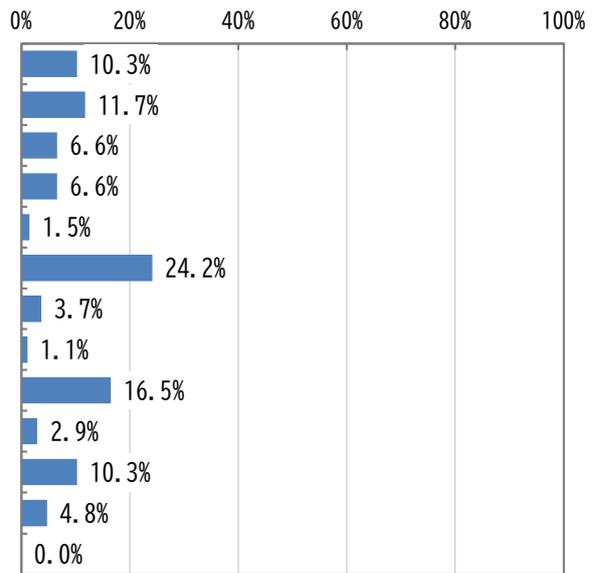


回答対象者：全員

問3-1 問3で「いいえ」と答えた方、生まれてからずっと小美玉市に住んでいない方にお聞きします。小美玉市に引っ越してきた理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください。（○は1つ） SA

		票数	%
1	就職	28	10.3%
2	転勤	32	11.7%
3	転職・離職・退職	18	6.6%
4	進学・入学・通学	18	6.6%
5	子どもの進学・入学・通学	4	1.5%
6	結婚	66	24.2%
7	離婚	10	3.7%
8	親の介護	3	1.1%
9	住宅の新築・購入	45	16.5%
10	生活の利便性	8	2.9%
11	特に理由はない	28	10.3%
12	その他	13	4.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	273	100.0%

n = 273

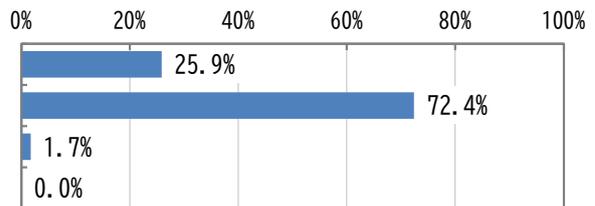


回答対象者：問3で「いいえ」を選択した人

問4 あなたは結婚していますか。（○は1つ） SA

		票数	%
1	はい	150	25.9%
2	いいえ	420	72.4%
3	答えたくない	10	1.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580

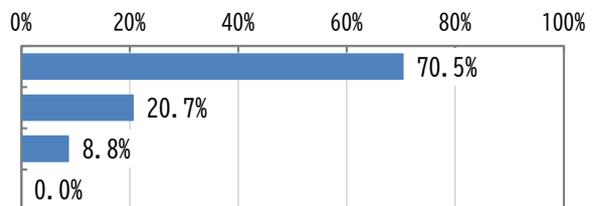


回答対象者：全員

問5 問4で「いいえ」と答えた方、現在結婚していない方にお聞きします。将来、結婚したいと思いますか。（○は1つ） SA

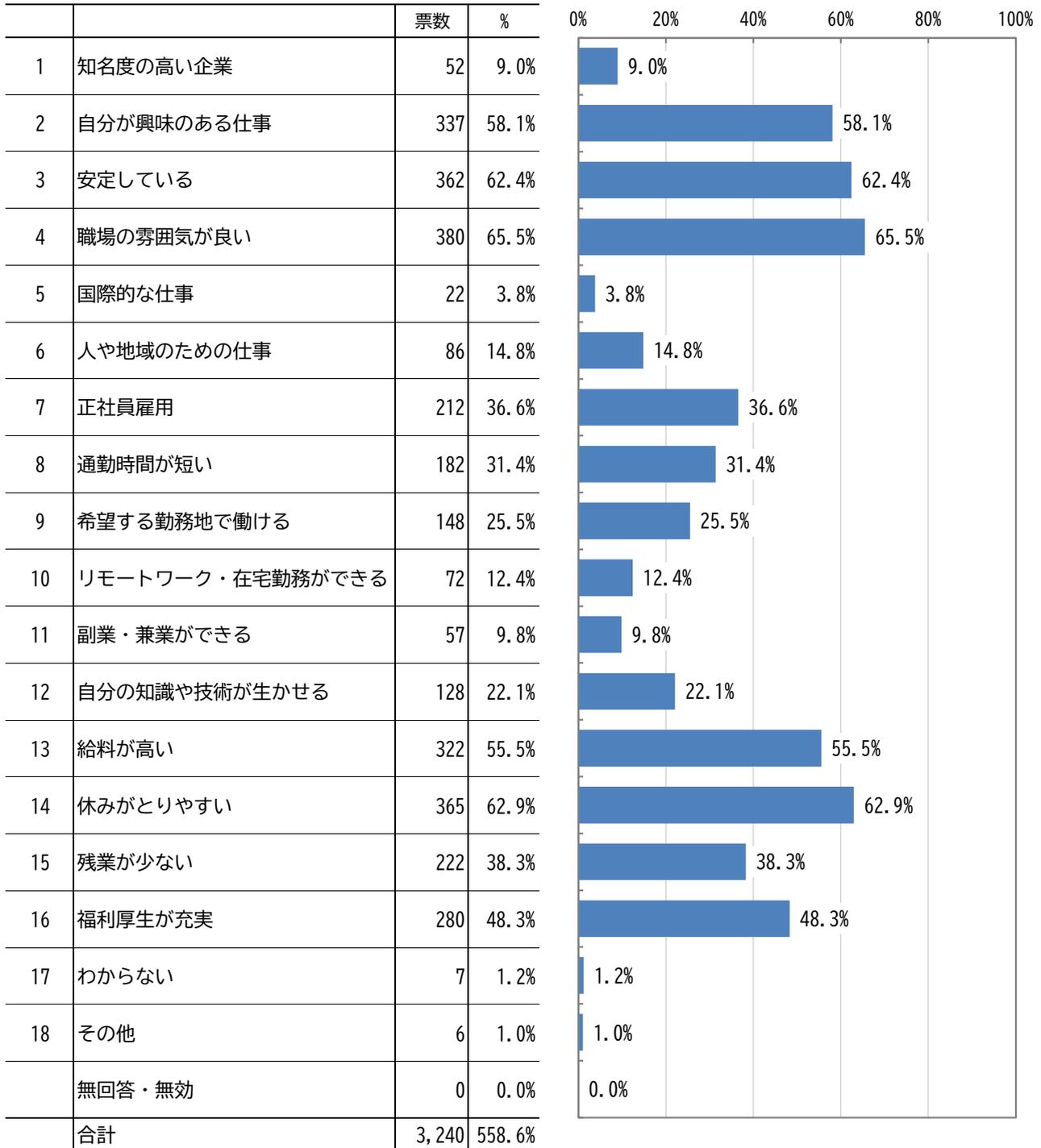
		票数	%
1	はい	296	70.5%
2	いいえ	87	20.7%
3	答えたくない	37	8.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	420	100.0%

n = 420



回答対象者：問4で「いいえ」を選択した人

問6 あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○） MA

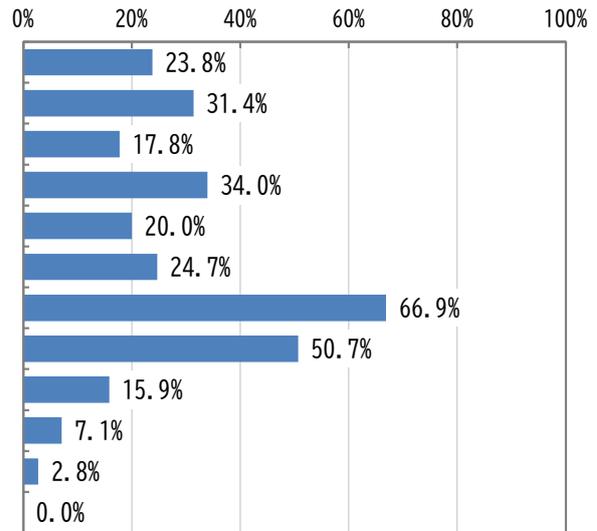


回答対象者：全員

問7 小美玉市内で就労してもらうために、必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○） MA

		票数	%
1	研修など、技術習得の支援	138	23.8%
2	資格取得に関する支援	182	31.4%
3	インターンシップの導入・充実	103	17.8%
4	新たな企業の誘致	197	34.0%
5	起業支援	116	20.0%
6	市内企業の雇用情報発信の充実	143	24.7%
7	賃金・給与などの待遇改善	388	66.9%
8	職場での福利厚生の充実	294	50.7%
9	就労に関する相談窓口	92	15.9%
10	わからない	41	7.1%
11	その他	16	2.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,710	294.8%

n = 580

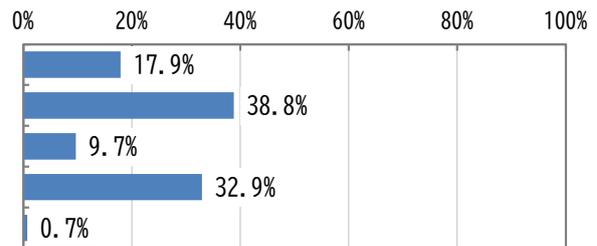


回答対象者：全員

問8 これからも小美玉市に住み続けたいですか。（○は1つ） SA

		票数	%
1	ずっと住み続けたい	104	17.9%
2	当分は住み続けたい	225	38.8%
3	市外に引っ越したい	56	9.7%
4	まだわからない	191	32.9%
	無回答・無効	4	0.7%
	合計	580	100.0%

n = 580

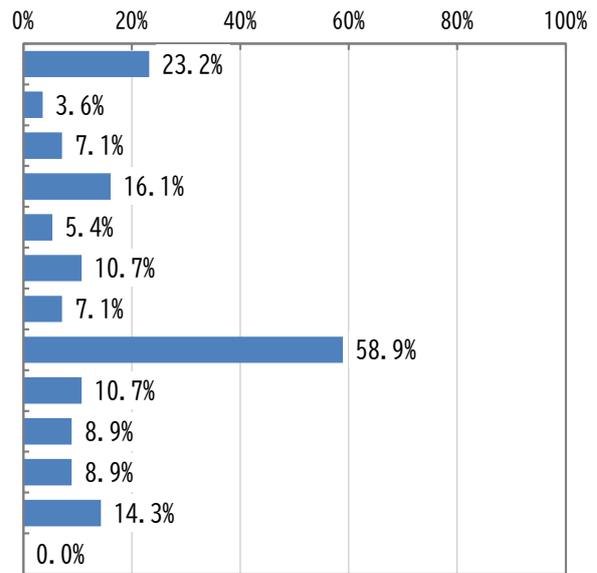


回答対象者：全員

問9 問8で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。その理由として近いものは何ですか。（あてはまるものすべてに○） MA

		票数	%
1	仕事の関係	13	23.2%
2	結婚・離婚	2	3.6%
3	子どもの教育	4	7.1%
4	医療サービスの関係	9	16.1%
5	福祉サービスの関係	3	5.4%
6	住宅事情	6	10.7%
7	親との同居	4	7.1%
8	日常生活が不便	33	58.9%
9	地域になじめない	6	10.7%
10	航空機の騒音	5	8.9%
11	特に理由はない	5	8.9%
12	その他	8	14.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	98	175.0%

n = 56

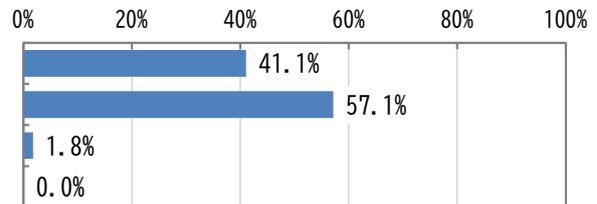


回答対象者：問8で「市外に引っ越したい」を選択した人

問10 問8で「市外に引っ越したい」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村はありますか。（○は1つ） SA

		票数	%
1	ある	23	41.1%
2	ない	32	57.1%
3	その他	1	1.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	56	100.0%

n = 56



回答対象者：問8で「市外に引っ越したい」を選択した人

問10-1 問10で「ある」を選んだ方にお聞きします。引っ越し先として希望する市区町村名を教えてください。市区町村まで決まっていない場合は、都道府県名を教えてください。（記述） FA

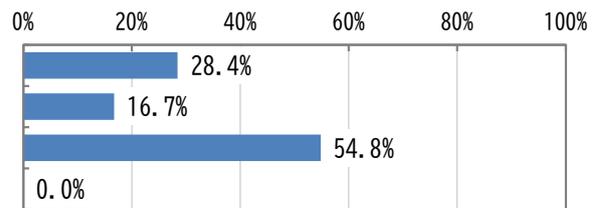
23人の回答が得られた。

回答対象者：問10で「ある」を選択した人

問11 小美玉市で子育てをしていきたいと思いませんか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	そう思う	165	28.4%
2	そう思わない	97	16.7%
3	わからない	318	54.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



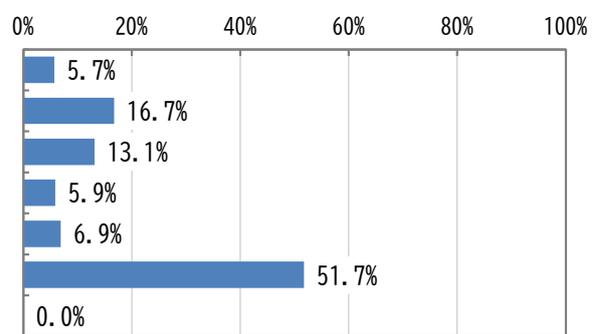
回答対象者：全員

問12 小美玉市の子育て環境・サービスについて、充実していると思いませんか。（各設問に対し〇は1つ） -

問12-1 子育て費用の支援など経済的支援 SA

		票数	%
1	充実している	33	5.7%
2	やや充実している	97	16.7%
3	どちらともいえない	76	13.1%
4	やや充実していない	34	5.9%
5	充実していない	40	6.9%
6	わからない	300	51.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580

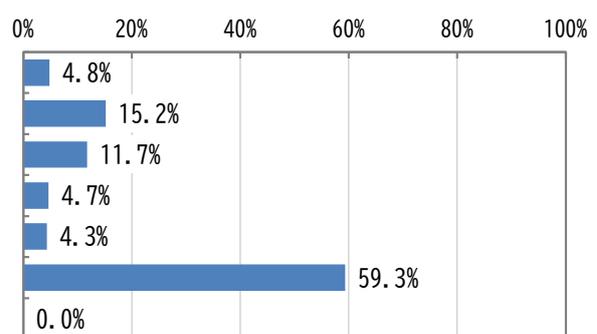


回答対象者：全員

問12-2 保育サービス（延長・休日・一時預かり・病児保育等） SA

		票数	%
1	充実している	28	4.8%
2	やや充実している	88	15.2%
3	どちらともいえない	68	11.7%
4	やや充実していない	27	4.7%
5	充実していない	25	4.3%
6	わからない	344	59.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



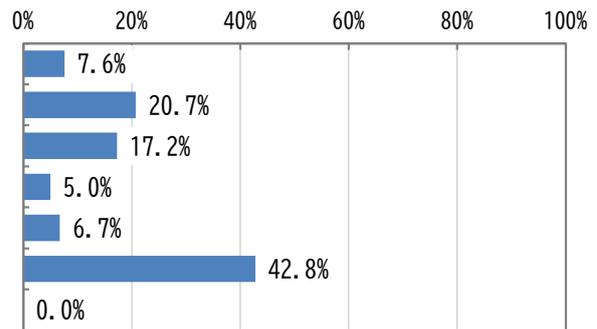
回答対象者：全員

問12-3 子どもの安全の確保（防災・防犯・交通安全など）

SA

		票数	%
1	充実している	44	7.6%
2	やや充実している	120	20.7%
3	どちらともいえない	100	17.2%
4	やや充実していない	29	5.0%
5	充実していない	39	6.7%
6	わからない	248	42.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



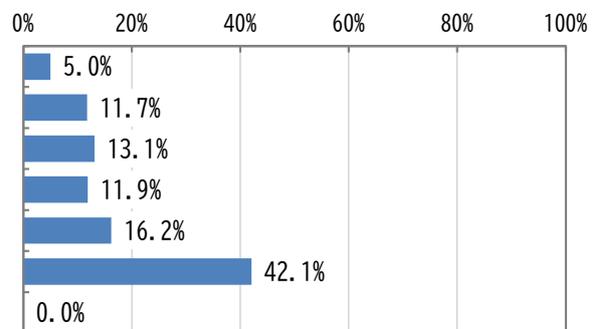
回答対象者：全員

問12-4 小児科等の医療機関

SA

		票数	%
1	充実している	29	5.0%
2	やや充実している	68	11.7%
3	どちらともいえない	76	13.1%
4	やや充実していない	69	11.9%
5	充実していない	94	16.2%
6	わからない	244	42.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



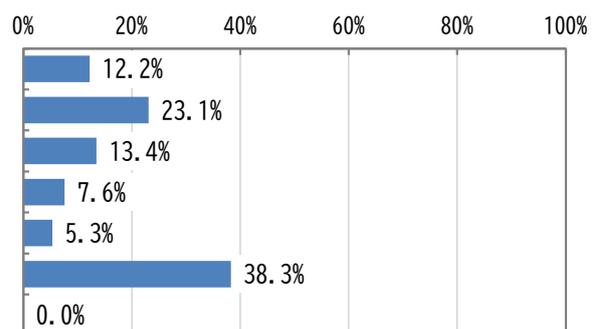
回答対象者：全員

問12-5 保育所（園）や幼稚園

SA

		票数	%
1	充実している	71	12.2%
2	やや充実している	134	23.1%
3	どちらともいえない	78	13.4%
4	やや充実していない	44	7.6%
5	充実していない	31	5.3%
6	わからない	222	38.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



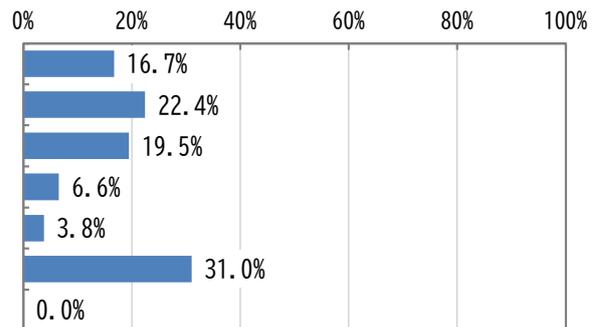
回答対象者：全員

問12-6 小中学校などの学校施設

SA

		票数	%
1	充実している	97	16.7%
2	やや充実している	130	22.4%
3	どちらともいえない	113	19.5%
4	やや充実していない	38	6.6%
5	充実していない	22	3.8%
6	わからない	180	31.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



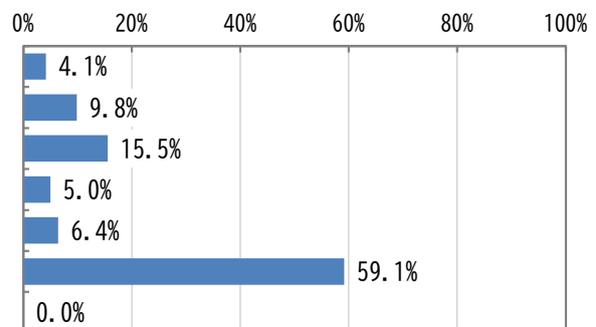
回答対象者：全員

問12-7 妊娠や子育て等に関して相談できる場所・サービス

SA

		票数	%
1	充実している	24	4.1%
2	やや充実している	57	9.8%
3	どちらともいえない	90	15.5%
4	やや充実していない	29	5.0%
5	充実していない	37	6.4%
6	わからない	343	59.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



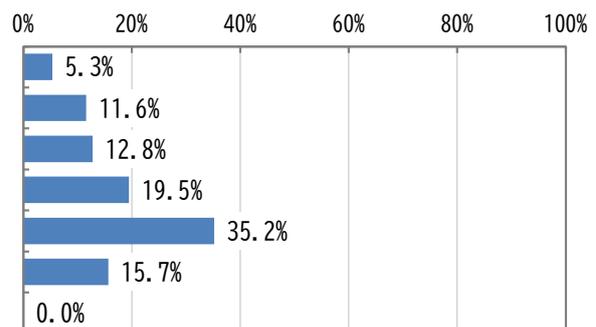
回答対象者：全員

問12-8 公園などの遊び場

SA

		票数	%
1	充実している	31	5.3%
2	やや充実している	67	11.6%
3	どちらともいえない	74	12.8%
4	やや充実していない	113	19.5%
5	充実していない	204	35.2%
6	わからない	91	15.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



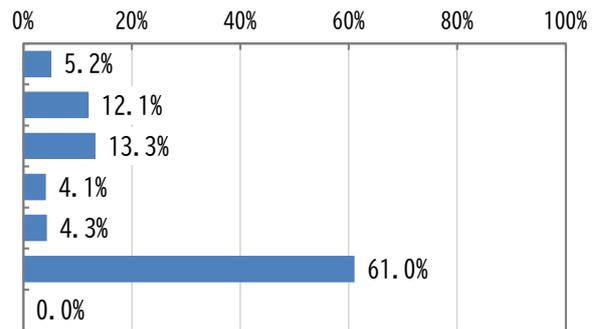
回答対象者：全員

問12-9 放課後児童対策（放課後児童クラブ等）

SA

		票数	%
1	充実している	30	5.2%
2	やや充実している	70	12.1%
3	どちらともいえない	77	13.3%
4	やや充実していない	24	4.1%
5	充実していない	25	4.3%
6	わからない	354	61.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



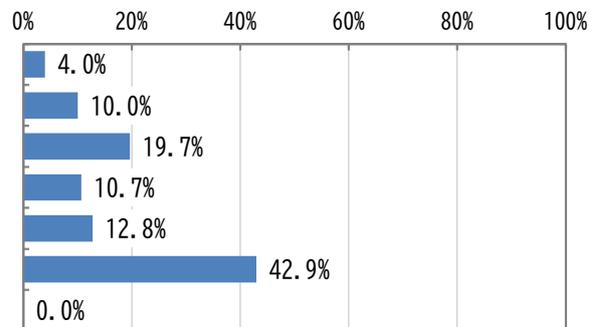
回答対象者：全員

問12-10 行政からの情報提供

SA

		票数	%
1	充実している	23	4.0%
2	やや充実している	58	10.0%
3	どちらともいえない	114	19.7%
4	やや充実していない	62	10.7%
5	充実していない	74	12.8%
6	わからない	249	42.9%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



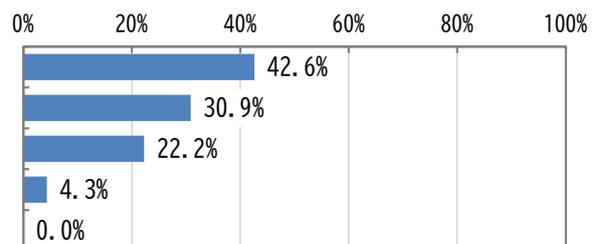
回答対象者：全員

問13 あなたは小美玉市に愛着を持っていますか。（〇は1つ）

SA

		票数	%
1	愛着を持っている	247	42.6%
2	どちらともいえない	179	30.9%
3	特に愛着はない	129	22.2%
4	わからない	25	4.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	580	100.0%

n = 580



回答対象者：全員

問14 最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

FA

201人の回答が得られた。（「特になし」等を含む。）

回答対象者：全員

小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査 高校生世代アンケート 単純集計結果【速報版】

1. 調査の目的

人口ビジョン及び総合戦略の改定にあたり、市民の意識を調査するため、アンケートを行います。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 市内在住の高校生世代（無作為抽出500人）

(2) 調査方法

- ・ 調査の案内と二次元バーコードを送付し、WEB上で回答する

(3) 調査期間

- ・ 令和6年6月28日（金）～令和6年7月15日（月）

3. 配布・回収状況

- ・ 配付数：500票
- ・ 有効回収数：154票（内、県立中央高校生以外：148票）
- ・ 有効回収率：30.8%（内、県立中央高校生以外：29.6%）

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問については、母数を有効回答者数としているため、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 有効回答者数は各設問に（n=●●）で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択しているものや、対象者限定の設問で非対象者が選択したものはカウントしていません。
- ・ 回答が少数である設問の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。

5. アンケート調査項目

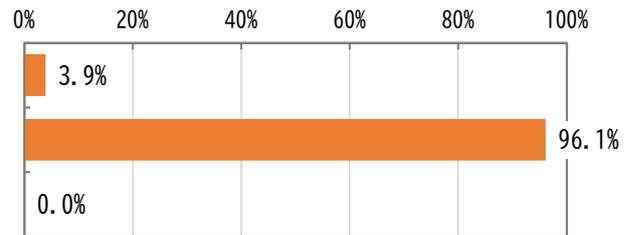
回答形式中、SAは単数回答、MAは複数回答、NAは数量回答、FAは自由回答を示します。

設問番号	調査内容	回答形式
問0	【確認事項】あなたは、茨城県立中央高校の生徒ですか。	SA
問1	あなたの性別を教えてください。（〇は1つ）	SA
問2	あなたは高校生ですか。（〇は1つ）	SA
問3	問2で「はい」と答えた高校生の方に伺います。現時点での進路の希望について教えてください。（〇は1つ）	SA
問4	将来希望する職業を教えてください。既に就職している方も、希望の職業を教えてください。（複数回答）	MA
問5	あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。（複数回答）	MA
問6	希望するお住まいについて教えてください。将来はどこに住みたいですか。（〇は1つ）	SA
問6-1	問6で「小美玉市以外に住みたい」と答えた方にお聞きします。住みたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述）	FA
問7	希望する勤務地について教えてください。将来はどこで働きたいですか。（〇は1つ）	SA
問7-1	問7で「小美玉市外で働きたい」と答えた方にお聞きします。働きたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述）	FA
問8	あなたは結婚したいと思いますか。（〇は1つ）	SA
問8-1	問8で1と回答した方にお聞きします。結婚を希望する年齢を教えてください。（〇は1つ）	SA
問9	あなたは小美玉市に、愛着を持っていますか。（〇は1つ）	SA
問10	最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	FA

問0 【確認事項】あなたは、茨城県立中央高校の生徒ですか。 SA

		票数	%
1	はい、中央高校の生徒です。	6	3.9%
2	いいえ、中央高校の生徒ではありません。	148	96.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	154	100.0%

n = 154



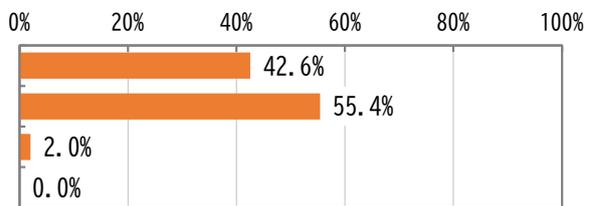
回答対象者：全員（県立中央高校生を含む）

※以降の「全員」とは、県立中央高校生以外（問0で「いいえ」を選択した者）を対象とする。

問1 あなたの性別を教えてください。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	男性	63	42.6%
2	女性	82	55.4%
3	答えたくない	3	2.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	148	100.0%

n = 148

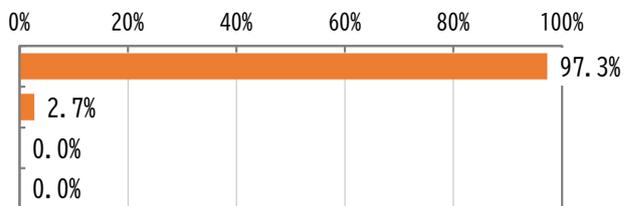


回答対象者：全員

問2 あなたは高校生ですか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	はい	144	97.3%
2	いいえ	4	2.7%
3	答えたくない	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	148	100.0%

n = 148

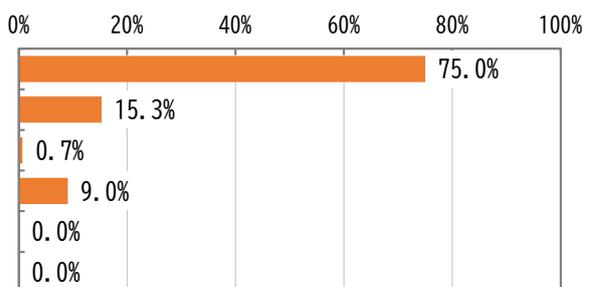


回答対象者：全員

問3 問2で「はい」と答えた高校生の方に伺います。現時点での進路の希望について教えてください。（〇は1つ） SA

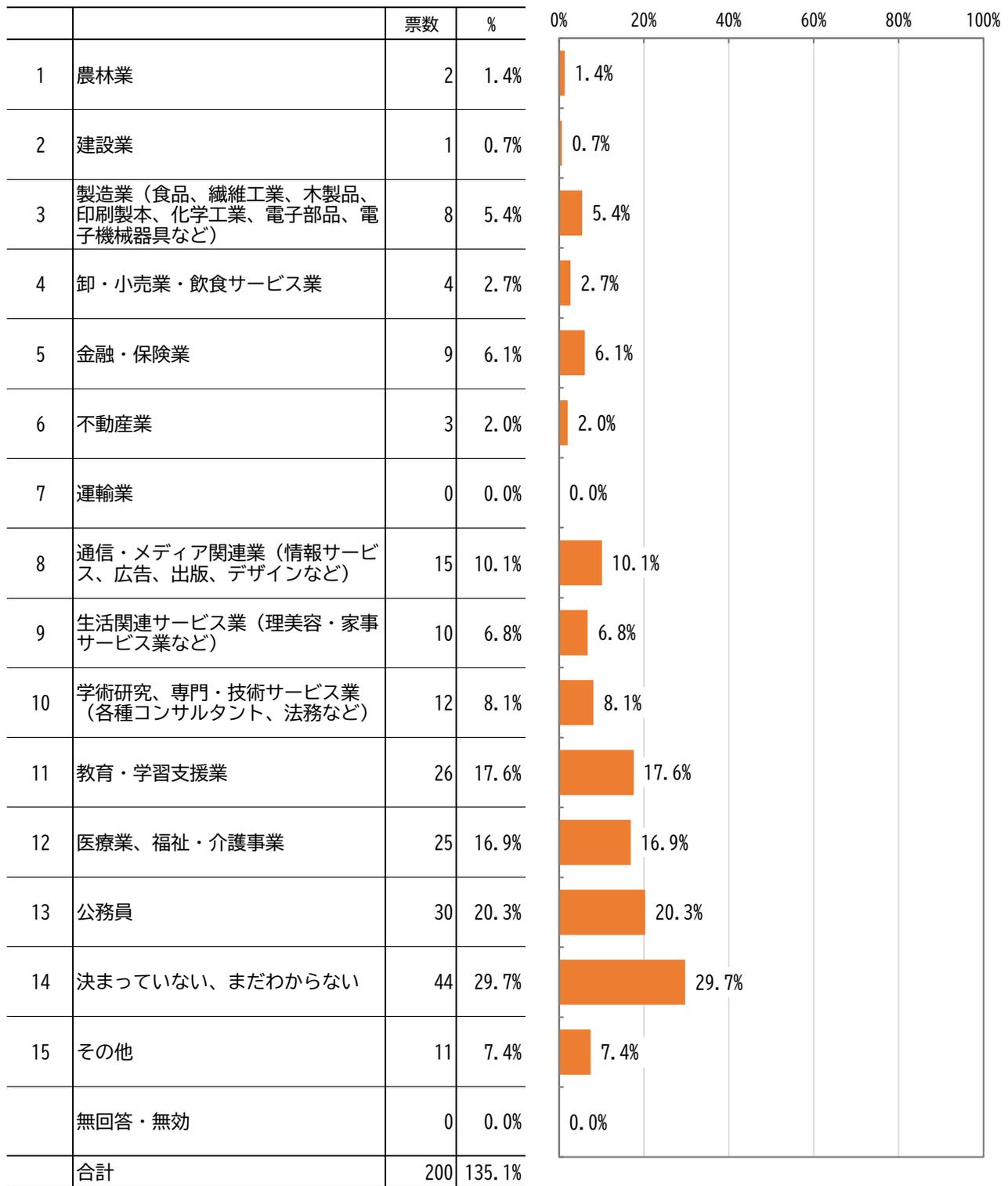
		票数	%
1	大学や専門学校等への進学	108	75.0%
2	高校卒業後に就職	22	15.3%
3	高校卒業後に家業を継ぐ	1	0.7%
4	まだ考えていない	13	9.0%
5	その他	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	144	100.0%

n = 144



回答対象者：問2で「はい」を選択した人

問4 将来希望する職業を教えてください。既に就職している方も、希望の職業を教えてください。
 (複数回答) MA



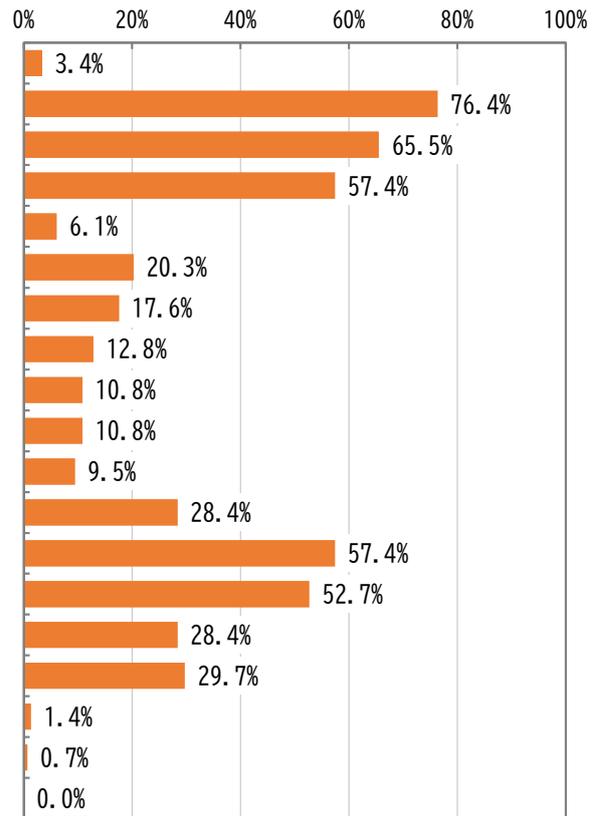
n = 148

回答対象者：全員

問5 あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。（複数回答） MA

		票数	%
1	知名度の高い企業	5	3.4%
2	自分が興味のある仕事	113	76.4%
3	安定している	97	65.5%
4	職場の雰囲気が良い	85	57.4%
5	国際的な仕事	9	6.1%
6	人や地域のための仕事	30	20.3%
7	正社員雇用	26	17.6%
8	通勤時間が短い	19	12.8%
9	希望する勤務地で働ける	16	10.8%
10	リモートワーク・在宅勤務ができる	16	10.8%
11	副業・兼業ができる	14	9.5%
12	自分の知識や技術が活かせる	42	28.4%
13	給料が高い	85	57.4%
14	休みがとりやすい	78	52.7%
15	残業が少ない	42	28.4%
16	福利厚生が充実	44	29.7%
17	わからない	2	1.4%
18	その他	1	0.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	724	489.2%

n= 148

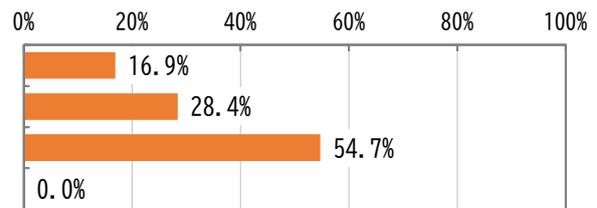


回答対象者：全員

問6 希望するお住まいについて教えてください。将来はどこに住みたいですか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	小美玉市に住みたい	25	16.9%
2	小美玉市以外に住みたい	42	28.4%
3	まだわからない	81	54.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	148	100.0%

n = 148



回答対象者：全員

問6-1 問6で「小美玉市以外に住みたい」と答えた方にお聞きします。住みたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述） FA

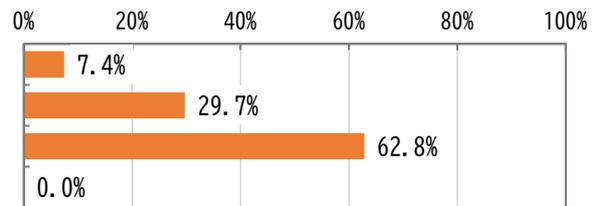
42人の回答が得られた。（内、「まだ決まっていない」は18人。）

回答対象者：問6で「小美玉市以外に住みたい」を選択した人

問7 希望する勤務地について教えてください。将来はどこで働きたいですか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	小美玉市内で働きたい	11	7.4%
2	小美玉市外で働きたい	44	29.7%
3	まだわからない	93	62.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	148	100.0%

n = 148



回答対象者：全員

問7-1 問7で「小美玉市外で働きたい」と答えた方にお聞きします。働きたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述） FA

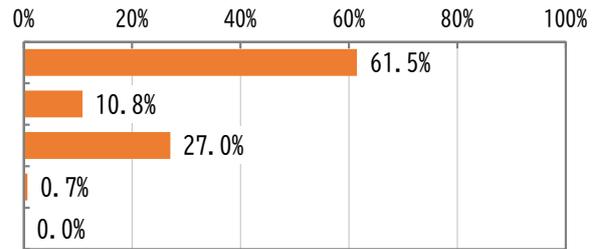
44人の回答が得られた。（内、「まだ決まっていない」は21人。）

回答対象者：問7で「小美玉市外で働きたい」を選択した人

問8 あなたは結婚したいと思いますか。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	思う	91	61.5%
2	思わない	16	10.8%
3	まだわからない	40	27.0%
4	その他	1	0.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	148	100.0%

n= 148

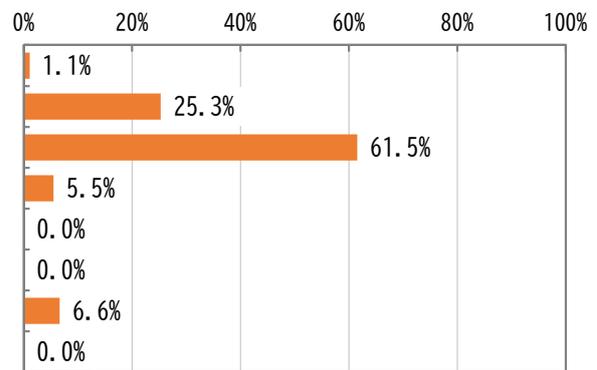


回答対象者：全員

問8-1 問8で1と回答した方にお聞きします。結婚を希望する年齢を教えてください。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	19歳までに	1	1.1%
2	20～24歳	23	25.3%
3	25～29歳	56	61.5%
4	30～34歳	5	5.5%
5	35～39歳	0	0.0%
6	40歳以上	0	0.0%
7	まだわからない	6	6.6%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	91	100.0%

n= 91

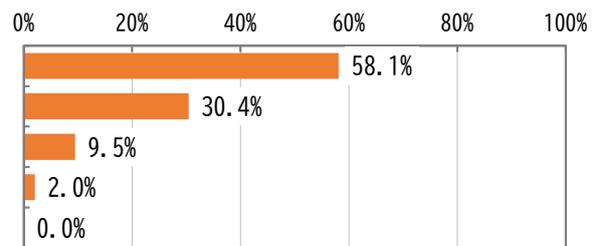


回答対象者：問8で「1」を選択した人

問9 あなたは小美玉市に、愛着を持っていますか。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	愛着を持っている	86	58.1%
2	どちらともいえない	45	30.4%
3	特に愛着はない	14	9.5%
4	わからない	3	2.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	148	100.0%

n= 148



回答対象者：全員

問10 最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。 FA

49人の回答が得られた。（「特になし」等を含む。）

回答対象者：全員

小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査 中央高校生徒アンケート 単純集計結果【速報版】

1. 調査の目的

人口ビジョン及び総合戦略の改定にあたり、市民の意識を調査するため、アンケートを行います。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 茨城県立中央高等学校に通う生徒571人
(1年生191人、2年生192人、3年生188人)

(2) 調査方法

- ・ 学校で調査の案内と二次元バーコードを配布し、WEB上で回答する

(3) 調査期間

- ・ 令和6年6月28日(金)～令和6年7月15日(月)

3. 配布・回収状況

- ・ 配付数：571票
- ・ 回収数：490票(内無効票0票)
有効回収数：490票
有効回収率：85.8%

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問については、母数を有効回答者数としているため、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 有効回答者数は各設問に(n=●●)で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択しているものや、対象者限定の設問で非対象者が選択したものはカウントしていません。
- ・ 回答が少数である設問の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。

5. アンケート調査項目

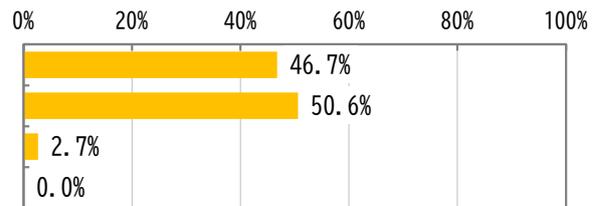
回答形式中、SAは単数回答、MAは複数回答、NAは数量回答、FAは自由回答を示します。

設問番号	調査内容	回答形式
問1	あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)	SA
問2	あなたは何年生ですか。(〇は1つ)	SA
問3	あなたはどこに住んでいますか。市町村名を教えてください。(〇は1つ)	SA
問4	現時点での進路の希望についてお聞きします。(〇は1つ)	SA
問5	将来希望する職業を教えてください。(複数回答)	MA
問6	あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。(複数回答)	MA
問7	希望するお住まいについて教えてください。将来はどこに住みたいです。か。(〇は1つ)	SA
問7-1	問7で「茨城県内の他の市町村に住みたい」と答えた方にお聞きします。どの市町村に住みたいです。か。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。(記述)	FA
問7-2	問7で「茨城県外に住みたい」と答えた方にお聞きします。住みたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。(記述)	FA
問8	希望する勤務地について教えてください。将来はどこで働きたいですか。(〇は1つ)	SA
問8-1	問8で「茨城県内の他の市町村内で働きたい」と答えた方にお聞きします。どの市町村内で働きたいですか。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。(記述)	FA
問8-2	問8で「茨城県外で働きたい」と答えた方にお聞きします。働きたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。(記述)	FA
問9	あなたは結婚したいと思いますか。(〇は1つ)	SA
問9-1	問9で「思う」と回答した方にお聞きします。結婚を希望する年齢を教えてください。(〇は1つ)	SA
問10	今お住いの市町村に、愛着を持っていますか。(〇は1つ)	SA
問11	最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	FA

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	男性	229	46.7%
2	女性	248	50.6%
3	答えたくない	13	2.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n = 490

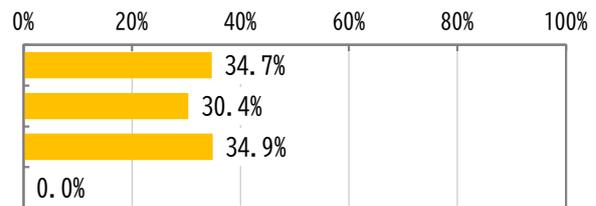


回答対象者：全員

問2 あなたは何年生ですか。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	1年生	170	34.7%
2	2年生	149	30.4%
3	3年生	171	34.9%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n = 490

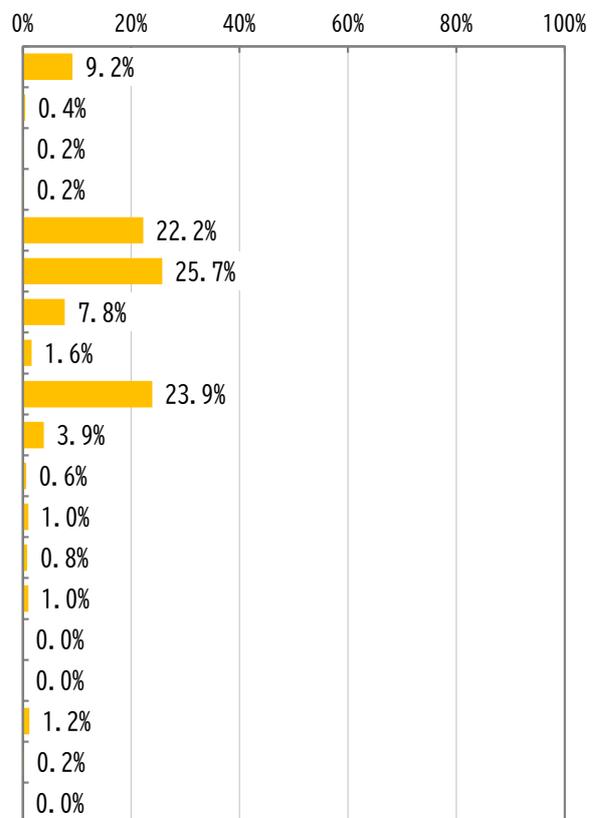


回答対象者：全員

問3 あなたはどこに住んでいますか。市町村名を教えてください。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	水戸市	45	9.2%
2	ひたちなか市	2	0.4%
3	常陸大宮市	1	0.2%
4	那珂市	1	0.2%
5	笠間市	109	22.2%
6	小美玉市	126	25.7%
7	茨城町	38	7.8%
8	土浦市	8	1.6%
9	石岡市	117	23.9%
10	かすみがうら市	19	3.9%
11	つくば市	3	0.6%
12	行方市	5	1.0%
13	鉾田市	4	0.8%
14	桜川市	5	1.0%
15	竜ヶ崎市	0	0.0%
16	取手市	0	0.0%
17	答えたくない	6	1.2%
18	その他	1	0.2%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n = 490

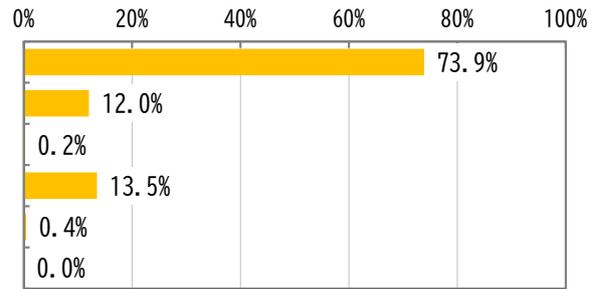


回答対象者：全員

問4 現時点での進路の希望についてお聞きします。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	大学や専門学校等への進学	362	73.9%
2	高校卒業後に就職	59	12.0%
3	高校卒業後に家業を継ぐ	1	0.2%
4	まだ考えていない	66	13.5%
5	その他	2	0.4%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n = 490



回答対象者：全員

問5 将来希望する職業を教えてください。(複数回答) MA



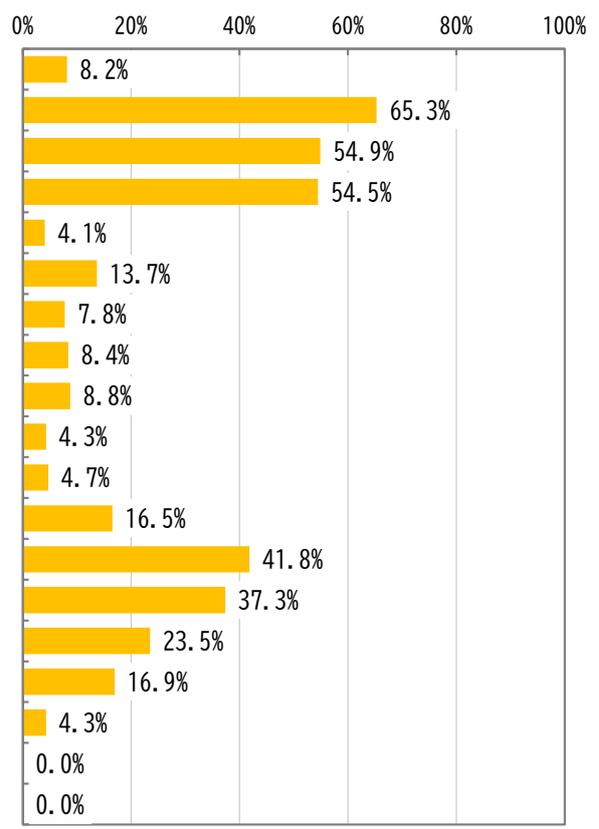
n = 490

回答対象者：全員

問6 あなたが就職先を決める際に、重要だと思うものは何ですか。（複数回答） MA

		票数	%
1	知名度の高い企業	40	8.2%
2	自分が興味のある仕事	320	65.3%
3	安定している	269	54.9%
4	職場の雰囲気が良い	267	54.5%
5	国際的な仕事	20	4.1%
6	人や地域のための仕事	67	13.7%
7	正社員雇用	38	7.8%
8	通勤時間が短い	41	8.4%
9	希望する勤務地で働ける	43	8.8%
10	リモートワーク・在宅勤務ができる	21	4.3%
11	副業・兼業ができる	23	4.7%
12	自分の知識や技術が活かせる	81	16.5%
13	給料が高い	205	41.8%
14	休みがとりやすい	183	37.3%
15	残業が少ない	115	23.5%
16	福利厚生が充実	83	16.9%
17	わからない	21	4.3%
18	その他	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1,837	374.9%

n= 490

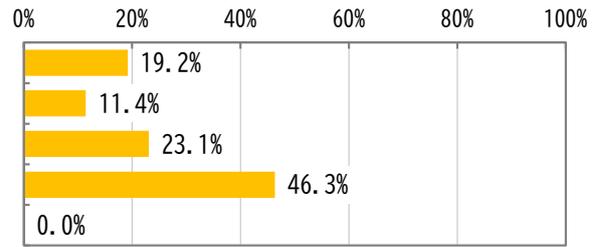


回答対象者：全員

問7 希望するお住まいについて教えてください。将来はどこに住みたいですか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	今住んでいる市町村に住みたい	94	19.2%
2	茨城県内の他の市町村に住みたい	56	11.4%
3	茨城県外に住みたい	113	23.1%
4	まだわからない	227	46.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n = 490



回答対象者：全員

問7-1 問7で「茨城県内の他の市町村に住みたい」と答えた方にお聞きします。どの市町村に住みたいですか。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述） FA

56人の回答が得られた。（内、「まだ決まっていない」は41人。）

回答対象者：問7で「茨城県内の他の市町村に住みたい」を選択した人

問7-2 問7で「茨城県外に住みたい」と答えた方にお聞きします。住みたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述） FA

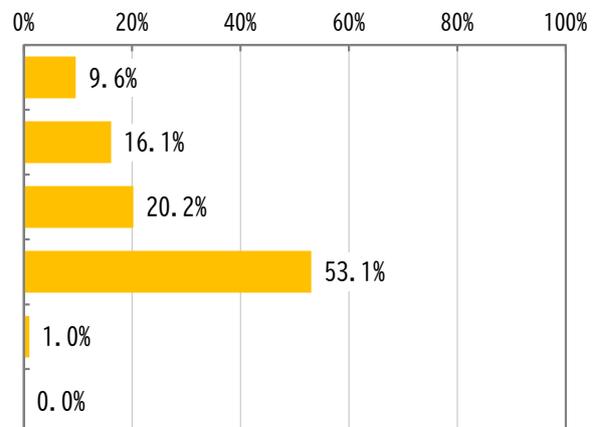
113人の回答が得られた。（内、「まだ決まっていない」は41人。）

回答対象者：問7で「茨城県外に住みたい」を選択した人

問8 希望する勤務地について教えてください。将来はどこで働きたいですか。（〇は1つ） SA

		票数	%
1	今住んでいる市町村内で働きたい	47	9.6%
2	茨城県内の他の市町村内で働きたい	79	16.1%
3	茨城県外で働きたい	99	20.2%
4	まだわからない	260	53.1%
5	その他	5	1.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n = 490



回答対象者：全員

問8-1 問8で「茨城県内の他の市町村内で働きたい」と答えた方にお聞きします。どの市町村内で働きたいですか。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述） FA

79人の回答が得られた。（内、「まだ決まっていない」は61人。）

回答対象者：問8で「茨城県内の他の市町村内で働きたい」を選択した人

問8-2 問8で「茨城県外で働きたい」と答えた方にお聞きします。働きたい市町村名や都道府県名を教えてください。まだ決まっていない場合は、「まだ決まっていない」と回答してください。（記述） FA

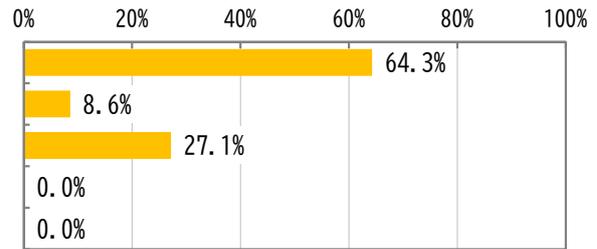
99人の回答が得られた。（内、「まだ決まっていない」は40人。）

回答対象者：問8で「茨城県外で働きたい」を選択した人

問9 あなたは結婚したいと思いますか。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	思う	315	64.3%
2	思わない	42	8.6%
3	まだわからない	133	27.1%
4	その他	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n= 490

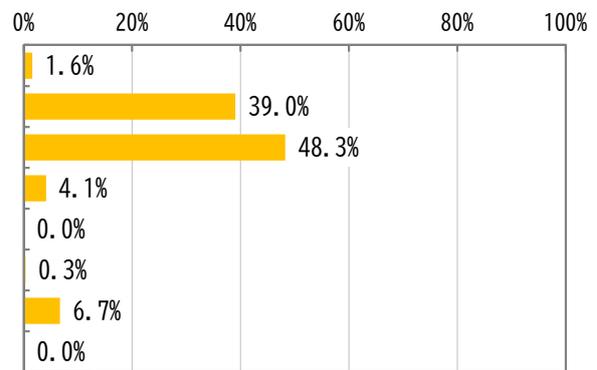


回答対象者：全員

問9-1 問9で「思う」と回答した方にお聞きます。結婚を希望する年齢を教えてください。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	19歳までに	5	1.6%
2	20～24歳	123	39.0%
3	25～29歳	152	48.3%
4	30～34歳	13	4.1%
5	35～39歳	0	0.0%
6	40歳以上	1	0.3%
7	まだわからない	21	6.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	315	100.0%

n= 315

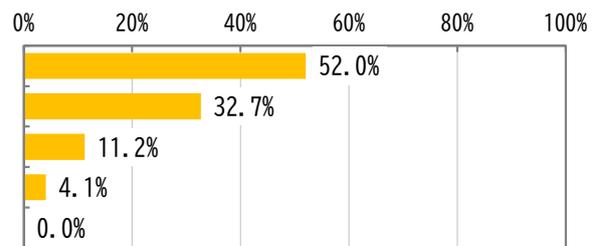


回答対象者：問9で「思う」を選択した人

問10 今お住いの市町村に、愛着を持っていますか。(〇は1つ) SA

		票数	%
1	愛着を持っている	255	52.0%
2	どちらともいえない	160	32.7%
3	特に愛着はない	55	11.2%
4	わからない	20	4.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	490	100.0%

n= 490



回答対象者：全員

問11 最後に、小美玉市へのご意見、ご要望がありましたら、自由にご記入ください。 FA

99人の回答が得られた。（「特になし」等を含む。）

回答対象者：全員

小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン
人口ビジョンの検証（案）

小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの構成

1. 人口ビジョンの基本的考え方
 - ・位置づけ、期間、国が示す基本方針など
2. 人口の現状分析
 - (1)人口動向分析
 - 1)総人口・人口構成の分析
 - 2)人口動態の分析
 - 3)婚姻・出生の分析
 - 4)地域間の移動の分析
 - 5)産業別人口の分析
 - (2)将来人口推計
 - 1)将来人口推計の分析
3. 人口の変化が地域の将来に与える影響
 - (1)財政における人口変化の影響の分析
 - (2)商業施設等の民間施設への影響の分析
 - (3)地域の産業における人口減少の影響の分析
3. 小美玉市人口ビジョンの検証
 - (1)令和5年社人研推計との比較による検証
 - (2)令和2度国勢調査との比較による検証
4. 小美玉市人口ビジョン
 - (1)将来展望に必要な調査・分析
 - (2)小美玉市人口ビジョン検討における課題の整理
 - (3)目指すべき将来の方向
 - (4)人口ビジョン

第1回有識者会議

第2回有識者会議（人口ビジョンの考え方）

第3回有識者会議（素案）

2. 人口の現状分析

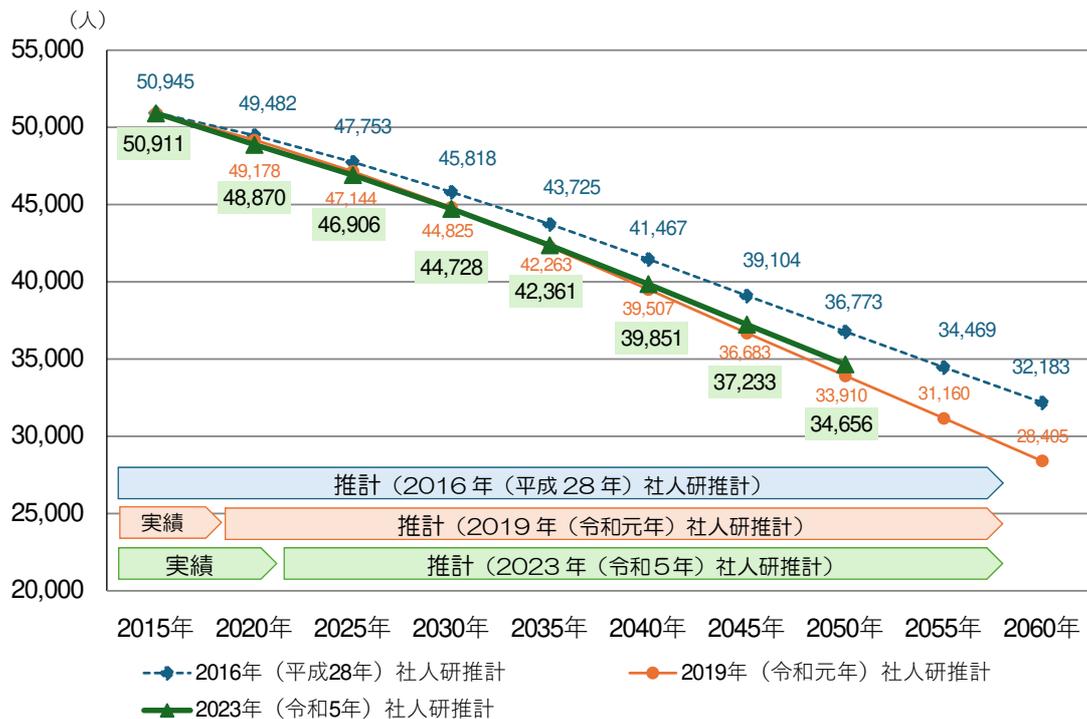
(2) 将来人口推計

1) 将来人口推計の分析

① 国が示す将来推計人口の推移(国立社会保障・人口問題研究所推計の推移)

- ・ 2020年の国勢調査を踏まえて、2023年に新たな国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研と表記）の推計が公表されている。
- ・ 2035年までは、前回策定時（2019年）の推計値とほぼ同様の推移を示し、2050年で35,000人程度まで人口減少が進むことが予測されている。
- ・ 2035年以降は前回策定時（2019年）の推計値よりも上回り、2050年では約800人程度上方に更新されている。

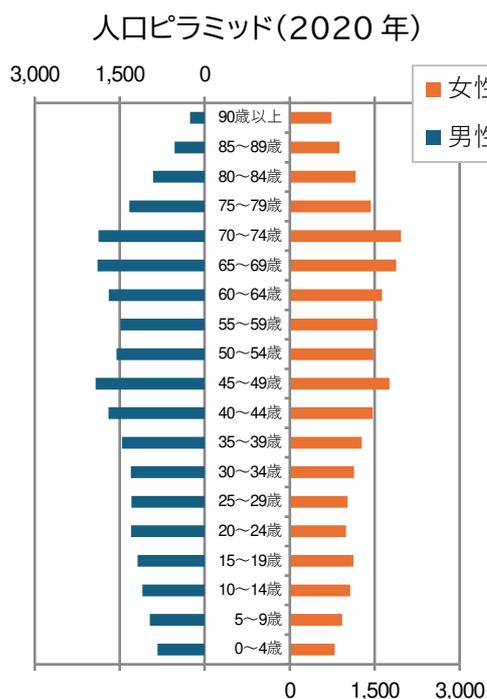
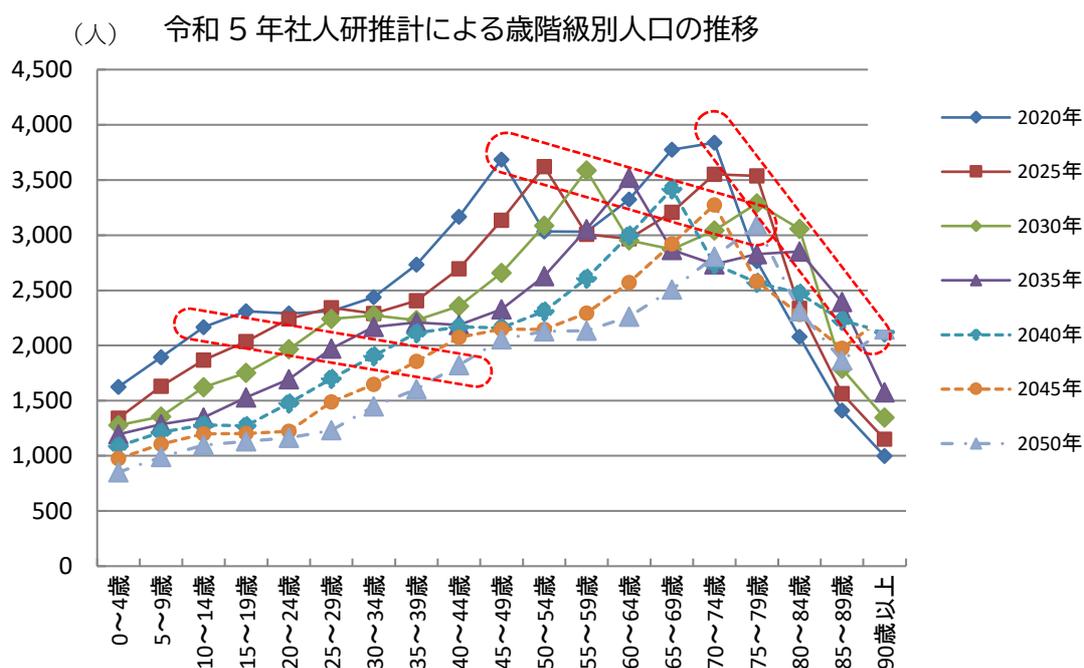
● 人口の実績値と社人研による推計値



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

②2023(令和5)年社人研推計の人口の推移

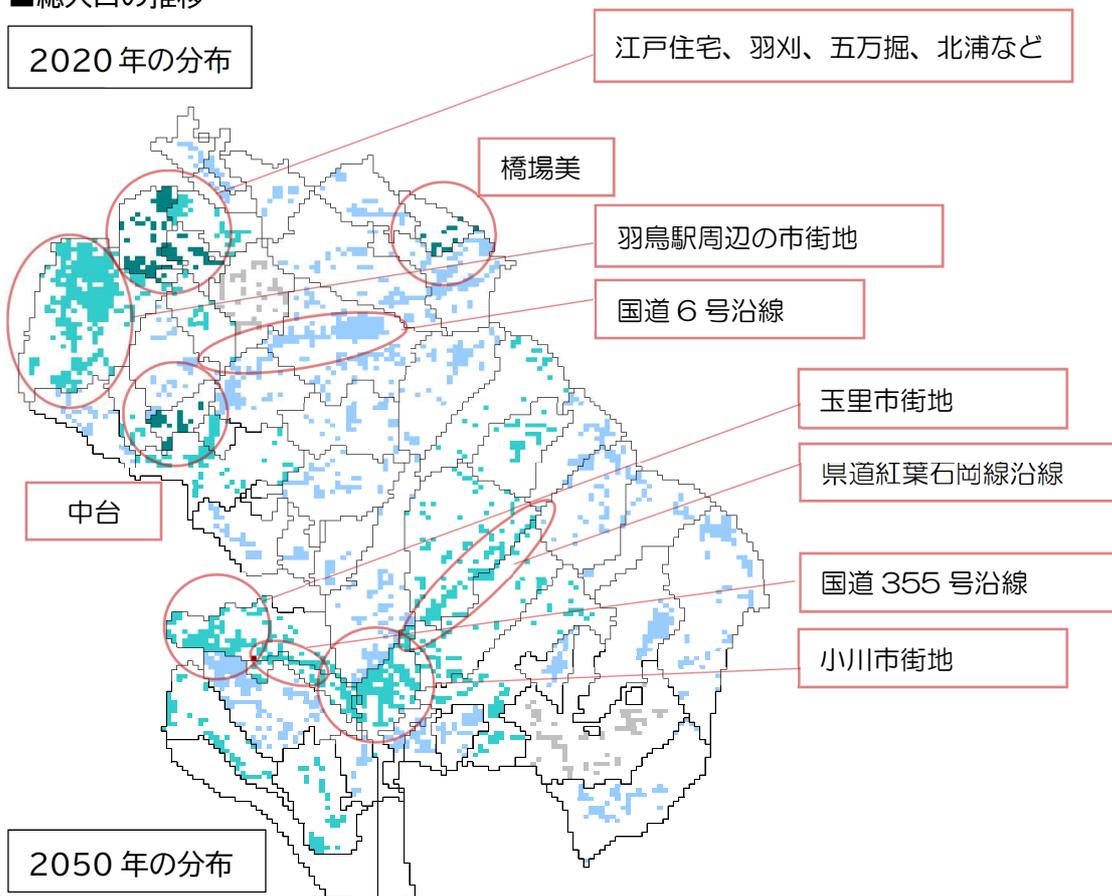
- ・2020年の国勢調査時点では、70～74歳の人口が最も多い。この世代は、今後急速に減少していくことが予測される。
- ・次いで人口の多い45～49歳の世代は徐々に減少し、2050年時点では75～79歳となり、最も多い割合をしめることが予測される。
- ・2020年時点で10～14歳の世代は、今後緩やかな減少が続くことが予測される。



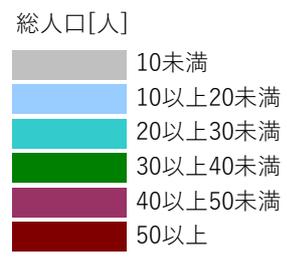
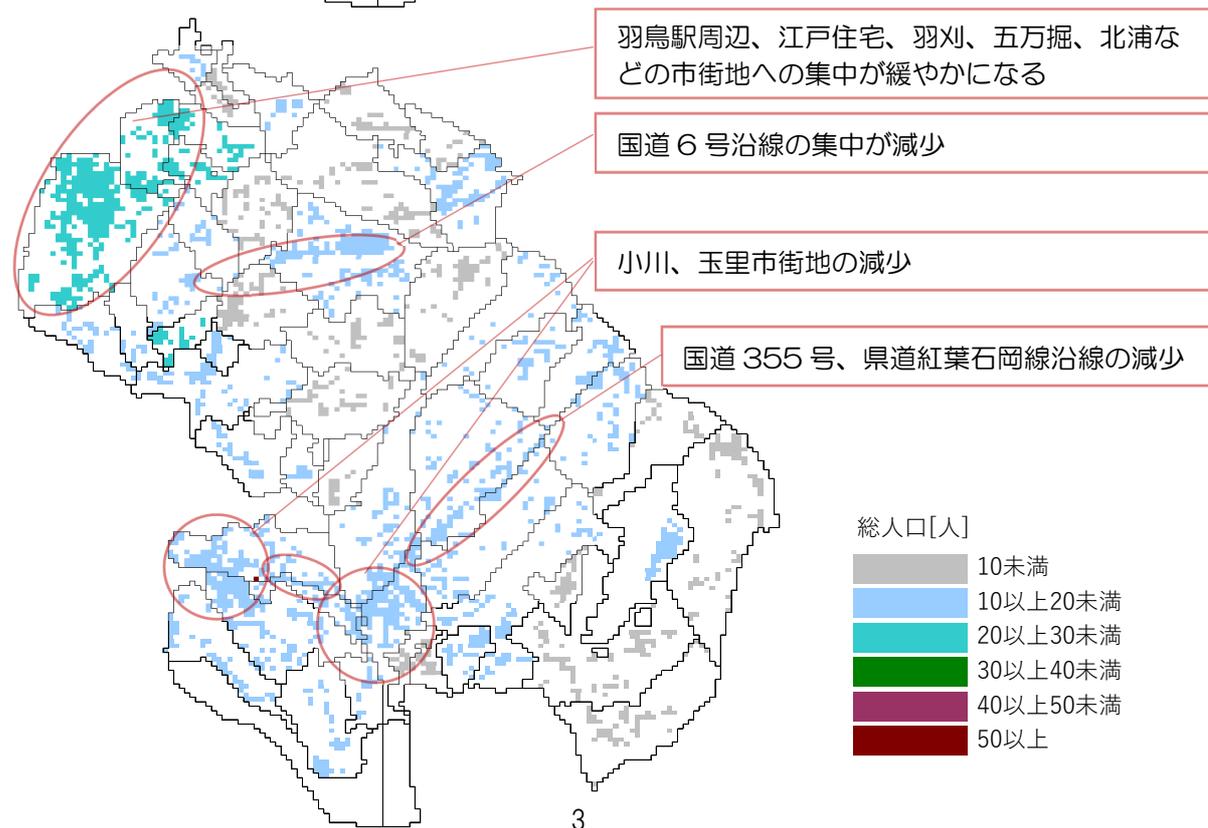
③2023(令和5)年社人研推計の地域別推計(100メートルメッシュの人口分布)

■総人口の推移

2020年の分布

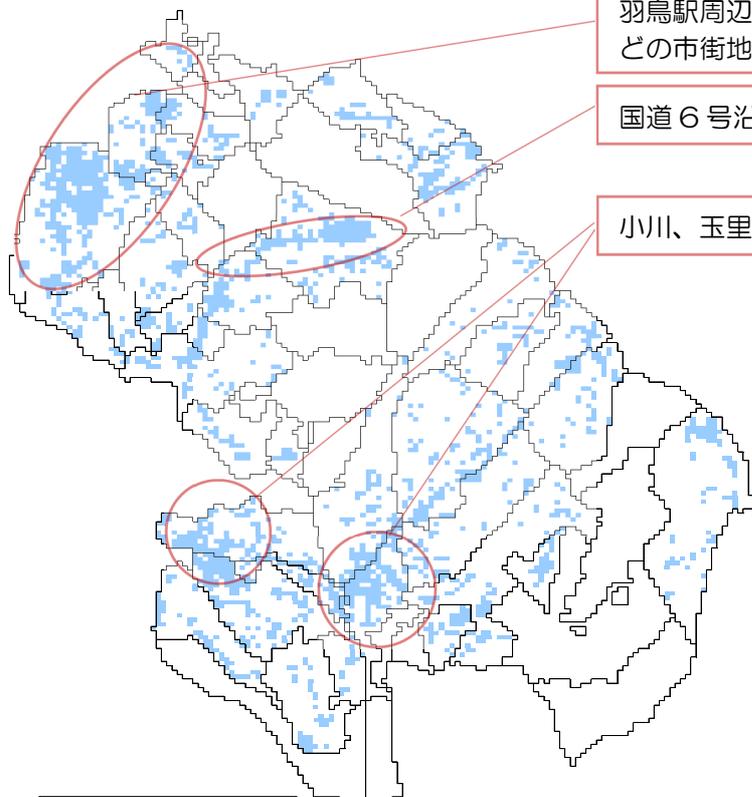


2050年の分布



■5歳～14歳人口の推移

2020年の分布

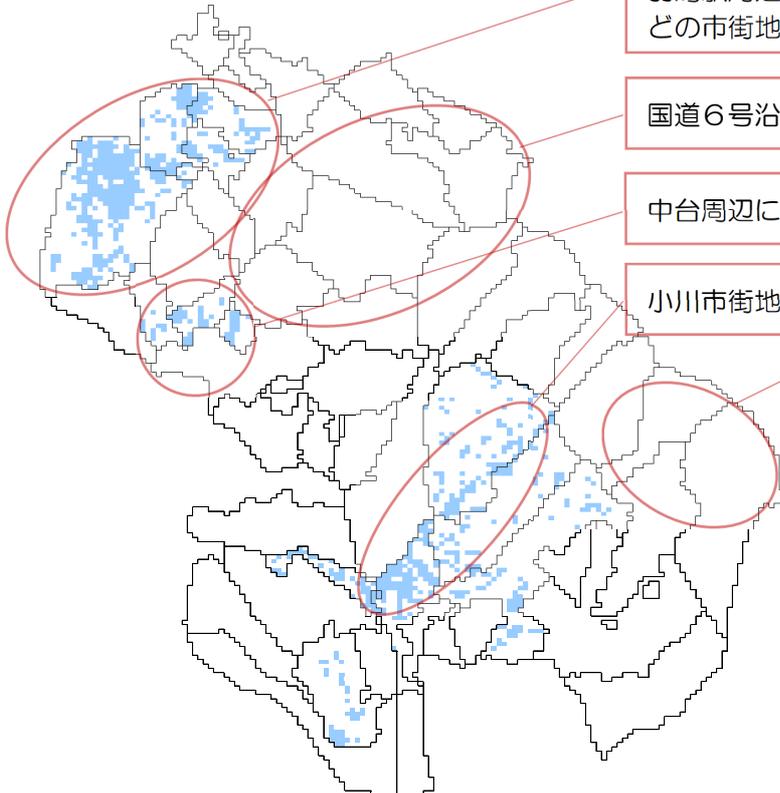


羽鳥駅周辺、江戸住宅、羽刈、五万掘、北浦などの市街地への集中

国道6号沿線の集中

小川、玉里市街地の集中

2050年の分布



羽鳥駅周辺、江戸住宅、羽刈、五万掘、北浦などの市街地にやや集中

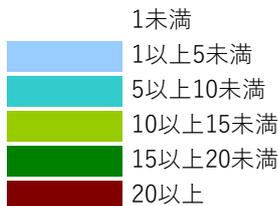
国道6号沿線、橋場美などの人口が減少

中台周辺にやや集中

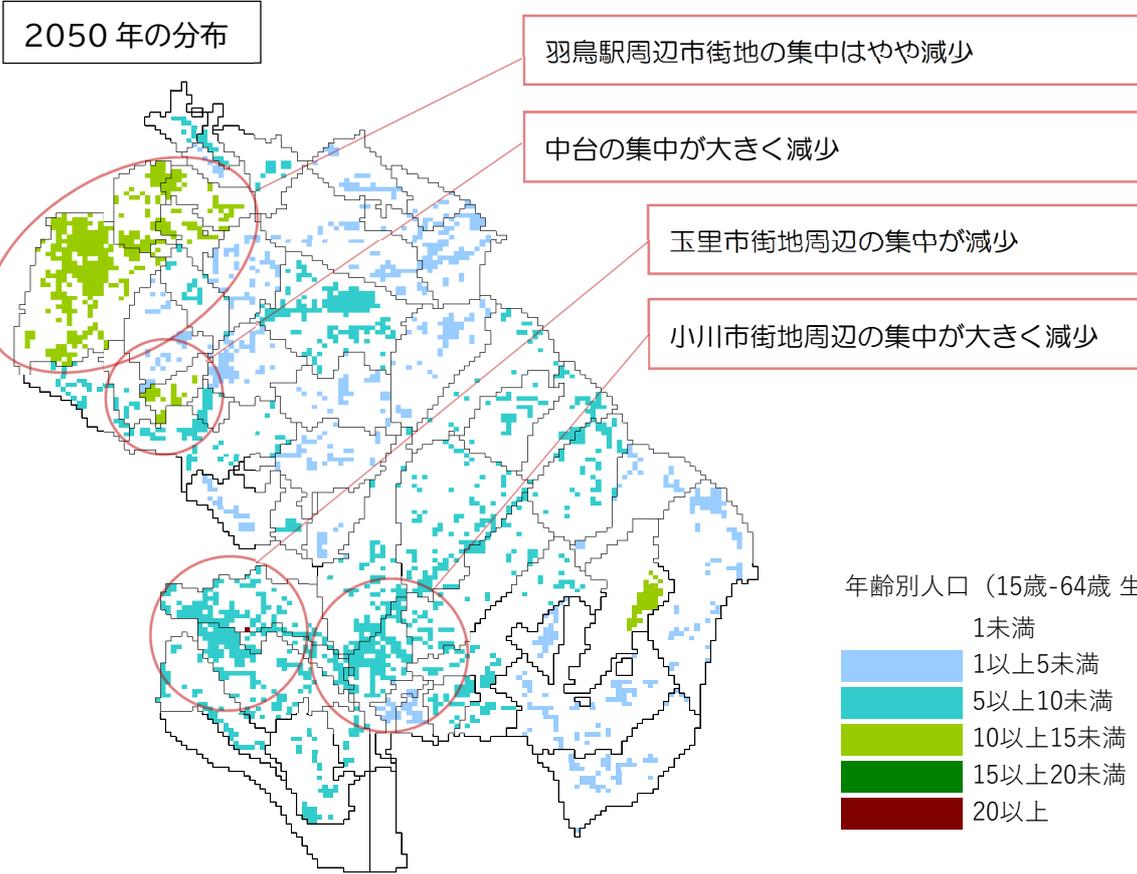
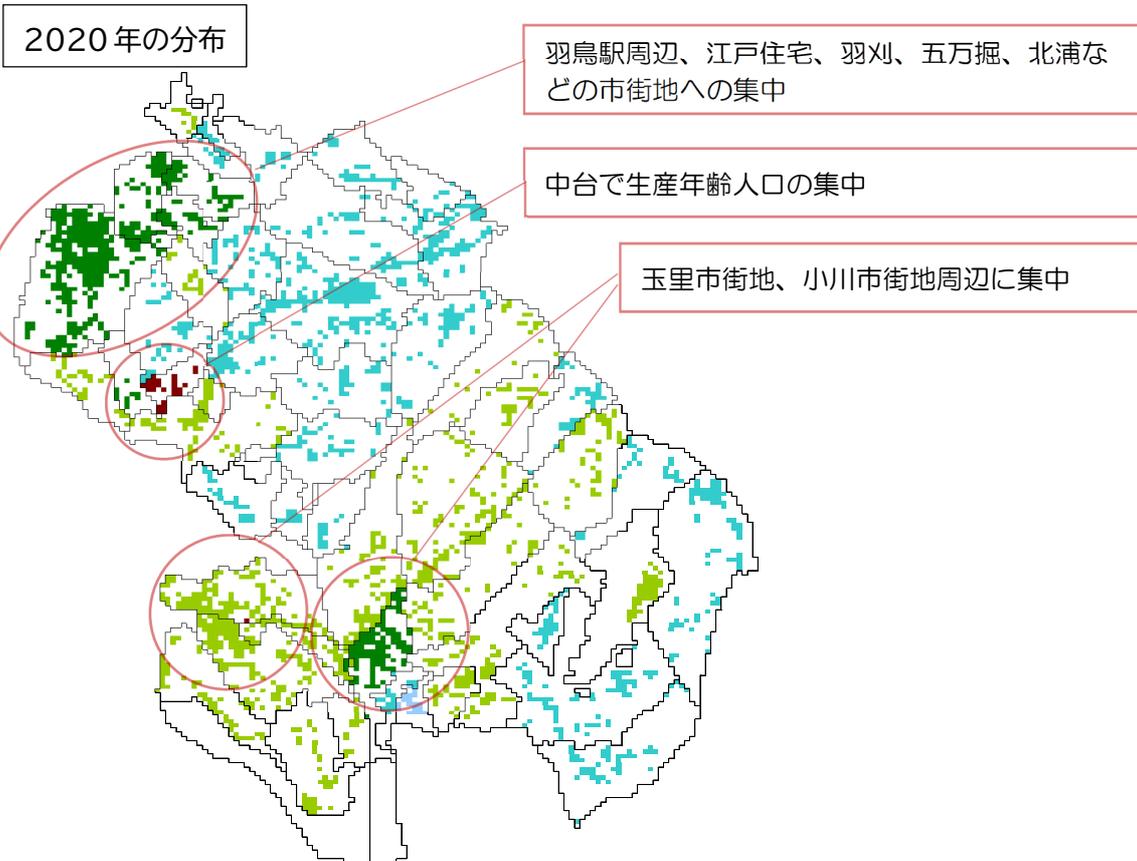
小川市街地、県道沿いにやや集中

吉影などの集落の人口が減少

年齢別人口（15歳-64歳 生産年齢）[人]

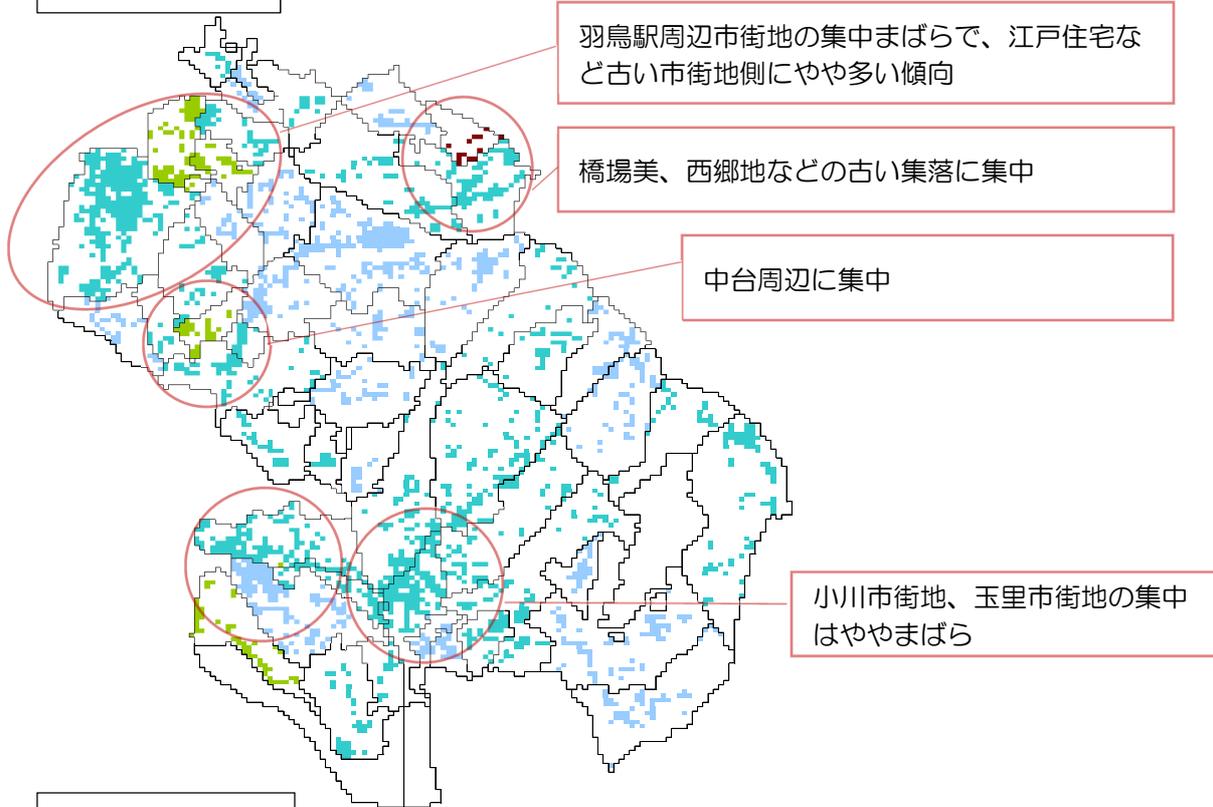


■15歳～64歳人口の推移

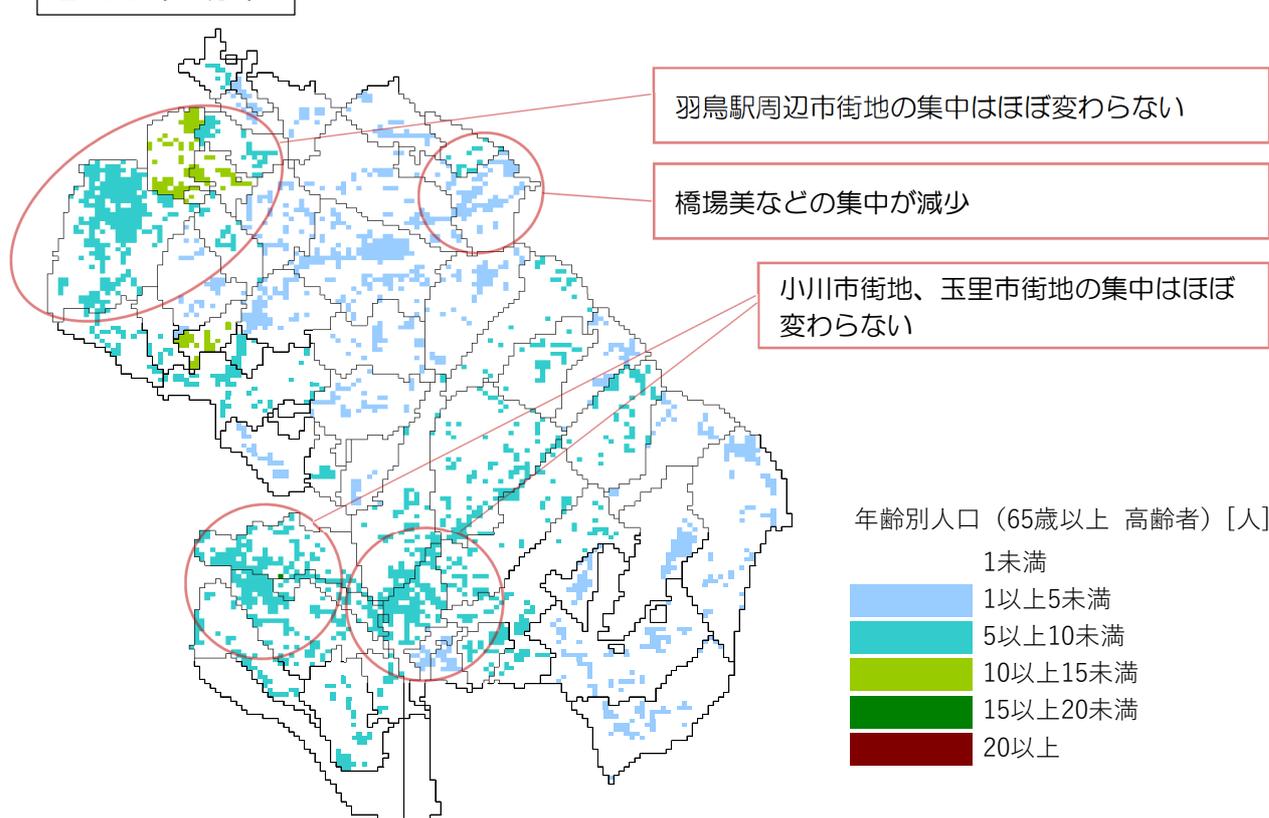


■65 歳以上人口の推移

2020 年の分布



2050 年の分布



年齢別人口（65歳以上 高齢者）[人]



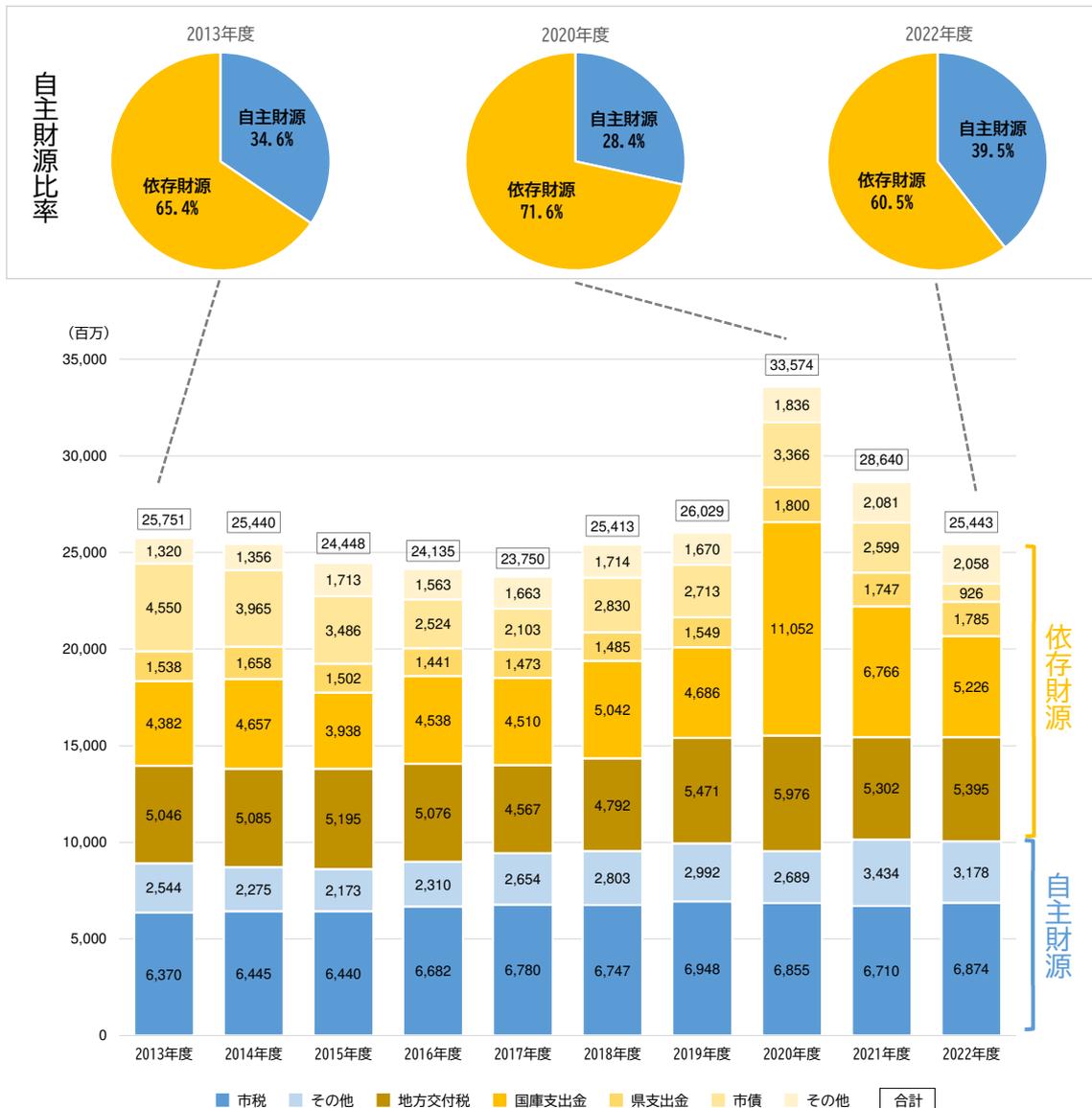
3. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析

(1) 財政における人口変化の影響の分析

① 歳入(一般会計)の現況について

- ・一般会計歳入の総額は、過去10年間では約250億円前後を推移しているが、2020年度は国庫支出金が大幅に増加し、約335億円となった。2022年度は平年並みの約254億円となっている。
- ・一方、市税等の自主財源額は10年間で微増傾向にあり、自主財源比率については2013年度は34.6%、2022年度は39.5%となっている。

● 歳入(一般会計)の状況

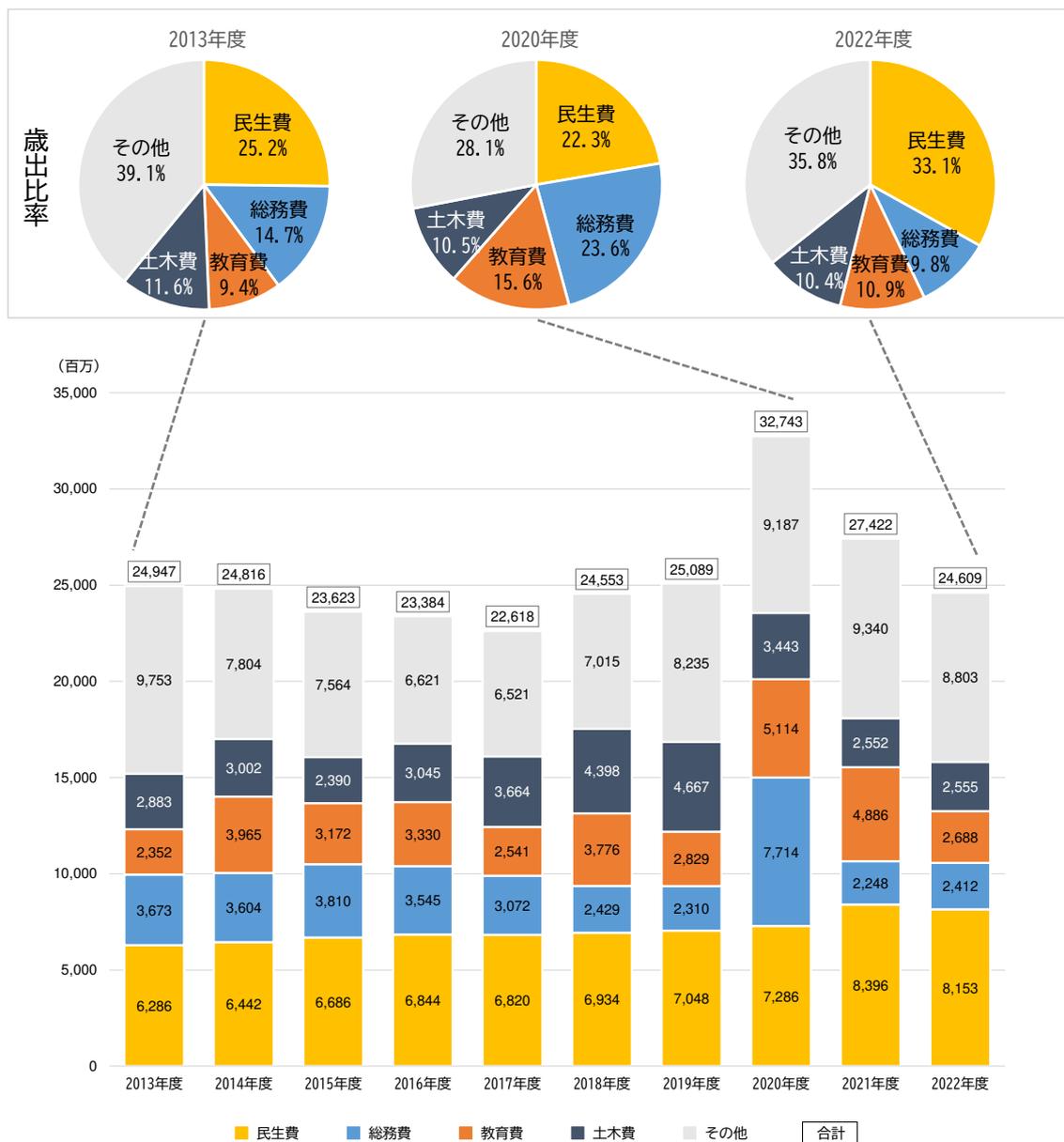


出典：小美玉市決算書

②歳出(一般会計)の現況について

- ・一般会計歳出を目的別にみると、最も多い割合を占める民生費は、2013年度では約63億円(25.2%)であったが、徐々に増加し2022年度には約82億円(33.1%)に増加している。少子化・高齢化に伴い、民生費(障がい者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などにかかる経費)の増加が続いていることが考えられる。

●歳出(一般会計)の状況

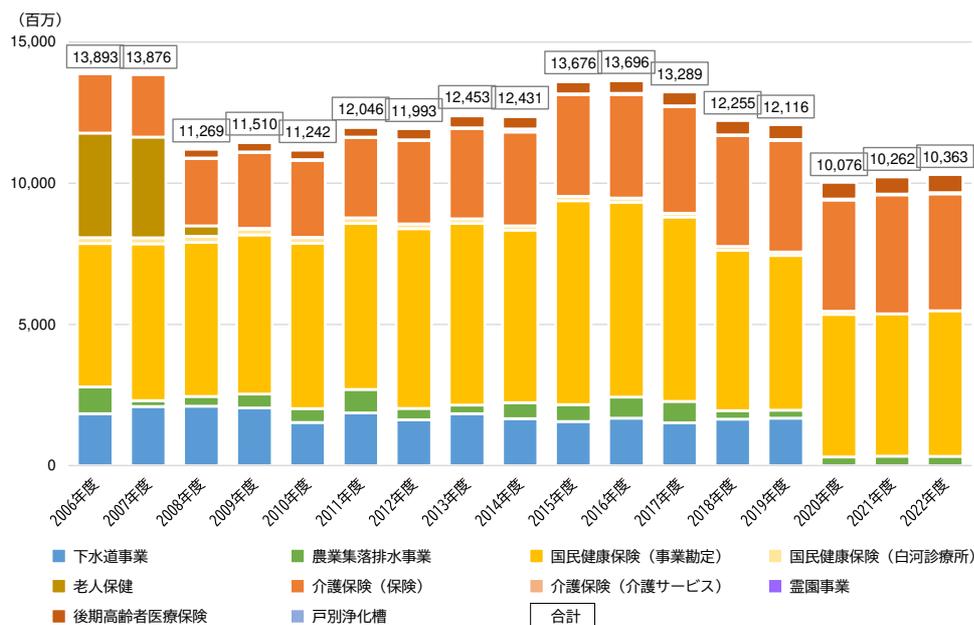


出典：小美玉市決算書

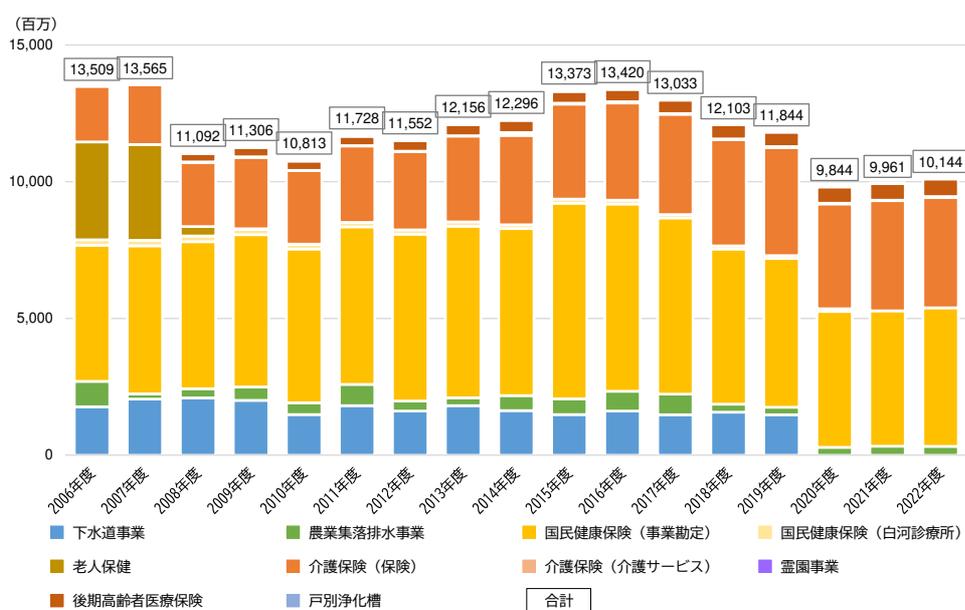
③特別会計の現況について

- ・特別会計の歳入・歳出額は、2016年度をピークに減少傾向であったが、2020年以降は微増傾向にあり、2022年度は約100億円となっている。下水道事業は2020年度から企業会計に移行している。

●歳入（特別会計）の状況



●歳出（特別会計）の状況

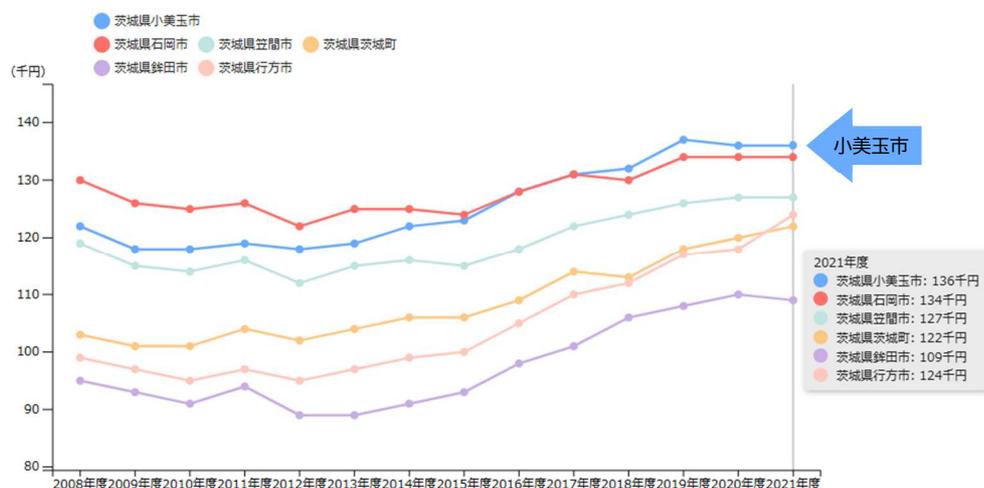


出典：小美玉市決算書

④一人当たりの税について

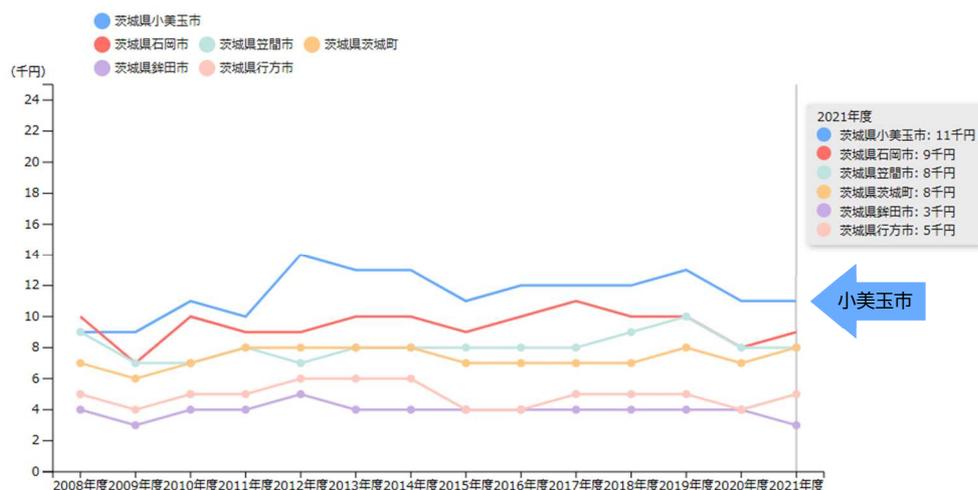
- ・一人当たりの地方税は、増加傾向が続いており、周辺市町では最も高い値となっている。
- ・一人当たりの市町村民税法人分は、2012年度に急激に増加しその後概ね横ばいで推移した後、2020年度に減少したものの、周辺市町の中では最も高い値となっている。
- ・一人当たり固定資産税は、増加傾向にあり、周辺市町の中では最も高い値となっている。

●一人当たり地方税



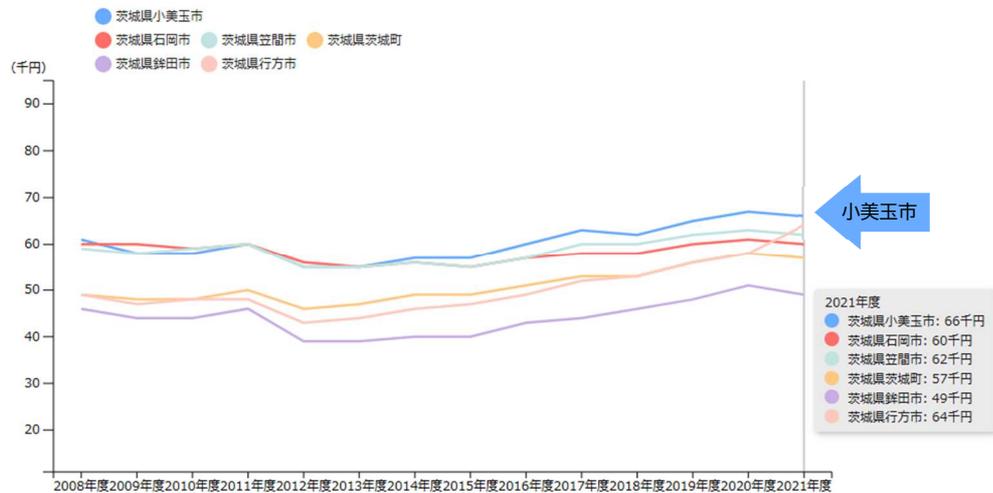
出典：総務省「地方財政状況調査関係資料」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
(地域経済分析システム (RESAS) より作成)

●一人当たり市町村民税法人分



出典：総務省「地方財政状況調査関係資料」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
(地域経済分析システム (RESAS) より作成)

●一人当たり固定資産税



出典：総務省「地方財政状況調査関係資料」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 (地域経済分析システム (RESAS) より作成)

⑤人口減少が市税額に与える影響について

- ・2023年度では、個人市民税額の約82%を生産年齢人口層が、約18%を高年齢層が納税している。
- ・人口の減少や所得の変動に影響を受けやすい個人市民税について、人口推計※に基づき将来の個人市民税額を推計した。

個人市民税の推計値＝
 (年齢区分別の推計人口×年齢区分別の納税者割合) × 年齢区分別の一人当たり税額

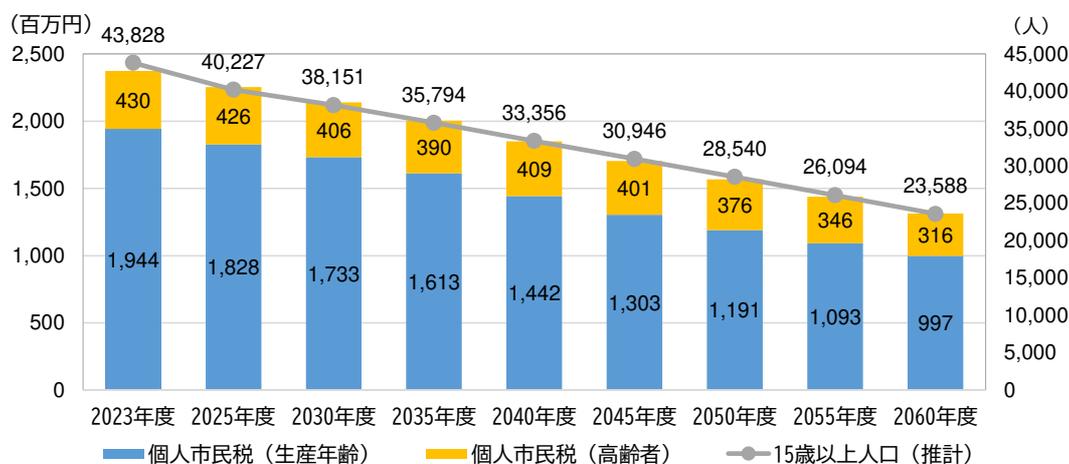
- ・高齢化および生産年齢人口の減少に伴い、個人市民税の歳入額の減少が続くことが予測される。また、2023年度と2060年度を比較した場合、生産年齢人口による納税額は約50%まで減少することが予測される。

●2023年度 個人市民税の納税者及び納税額の状況

	年齢区分別人口 (a)	市・県民税均等割 納税義務者数(b)	年齢区分別の納税 者割合(b)/(a)	想定納税額(c) 単位:円	納税累計比率	一人当たり税額 (c)/(b) 単位:円
15歳未満	5,396	0	0%	0	0	0
15-19歳	2,366	27	1%	708,008	0.0%	26,223
20-24歳	2,605	1,270	49%	71,043,027	3.0%	55,939
25-29歳	2,524	1,958	78%	146,906,852	9.2%	75,029
30-34歳	2,459	1,903	77%	161,526,006	16.0%	84,880
35-39歳	2,747	2,014	73%	185,569,048	23.8%	92,140
40-44歳	3,048	2,303	76%	234,316,272	33.7%	101,744
45-49歳	3,557	2,738	77%	300,164,865	46.3%	109,629
50-54歳	3,477	2,830	81%	340,636,256	60.7%	120,366
55-59歳	2,998	2,288	76%	266,059,308	71.9%	116,285
60-64歳	3,125	2,127	68%	237,250,415	81.9%	111,542
65-69歳	3,483	2,044	59%	157,090,012	88.5%	76,854
70-74歳	4,032	1,935	48%	134,467,619	94.2%	69,492
75-79歳	2,851	1,158	41%	69,268,701	97.1%	59,818
80-84歳	2,181	761	35%	40,509,289	98.8%	53,232
85-89歳	1,419	352	25%	13,933,422	99.4%	39,584
90歳以上	956	191	20%	14,801,279	100.0%	77,494
合計	49,224	25,899	—	2,374,250,379	—	—

出典：小美玉市 税務課

●個人市民税の推計



※年齢は4月1日時点。税額については、外国人など減免措置分は除いていない。
 ※2023年度は実績値、2025年度以降の推計人口は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(パターン1)に基づく推計値を利用

⑥高齡化が介護保険事業費に与える影響について

- ・小美玉市高齢者福祉計画第9期介護保険事業計画において設定されている標準給付費見込額（介護保険サービスの給付のために必要な年間費用）から、要支援・要介護認定者一人当たりの給付費を算出し、同計画での要支援・要介護認定者数の推計値から、2015年度以降の標準給付費見込額を推計した。

$$\text{介護保険事業費の推計値} = \text{要支援・要介護認定者数} \times \text{一人当たり給付費見込額 (2024~2026年度平均一人当たり給付費見込額)}$$

- ・介護保険事業における給付費は、介護報酬の改訂や算定に必要な諸係数等の設定により、変動の可能性があるが、現行の基準で算出した場合、高齡化に伴い2040年度頃まで増加が続くことが予測される。2040年度において、現在のサービスを維持するためには、約20億円の給付費の増額が必要となる。

●高齢者の要支援・要介護認定率（2023年9月末日時点）

(a)高齢者(65歳以上)人口	14,985人
(b)要支援・要介護認定者数(高齢者)	2,217人
(c)認定率 (a)/(b)	14.8%

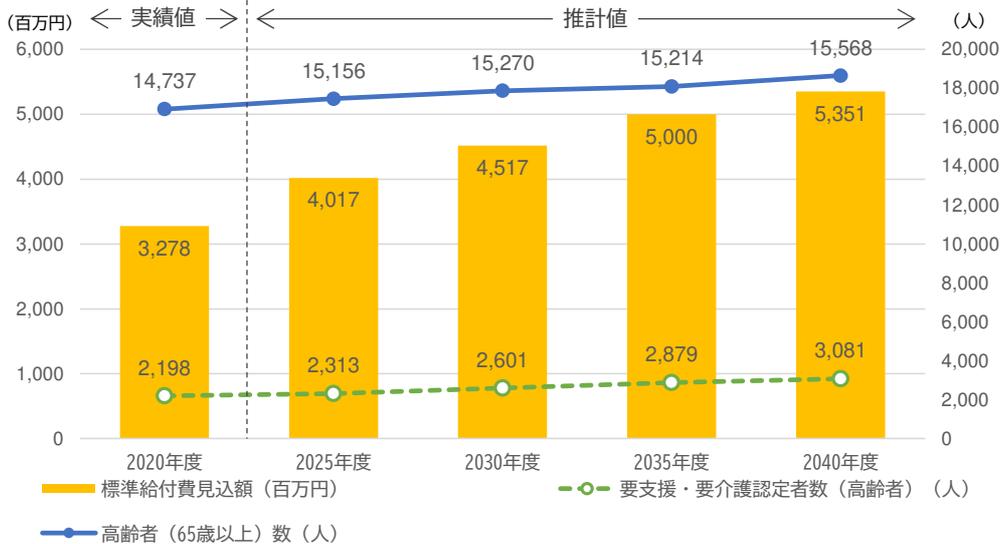
出典：小美玉市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

●一人当たり標準給付費見込額

	2024年度	2025年度	2026年度
標準給付費見込額(千円)	3,872,548	4,016,467	4,145,243
要支援・要介護認定者数(高齢者)(人)	2,263	2,313	2,352
一人当たり給付費見込額(千円)	1,711	1,736	1,762
2024~2026年度平均一人当たり給付費見込額(千円)	1,737		

出典：小美玉市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

●介護保険事業費の推計

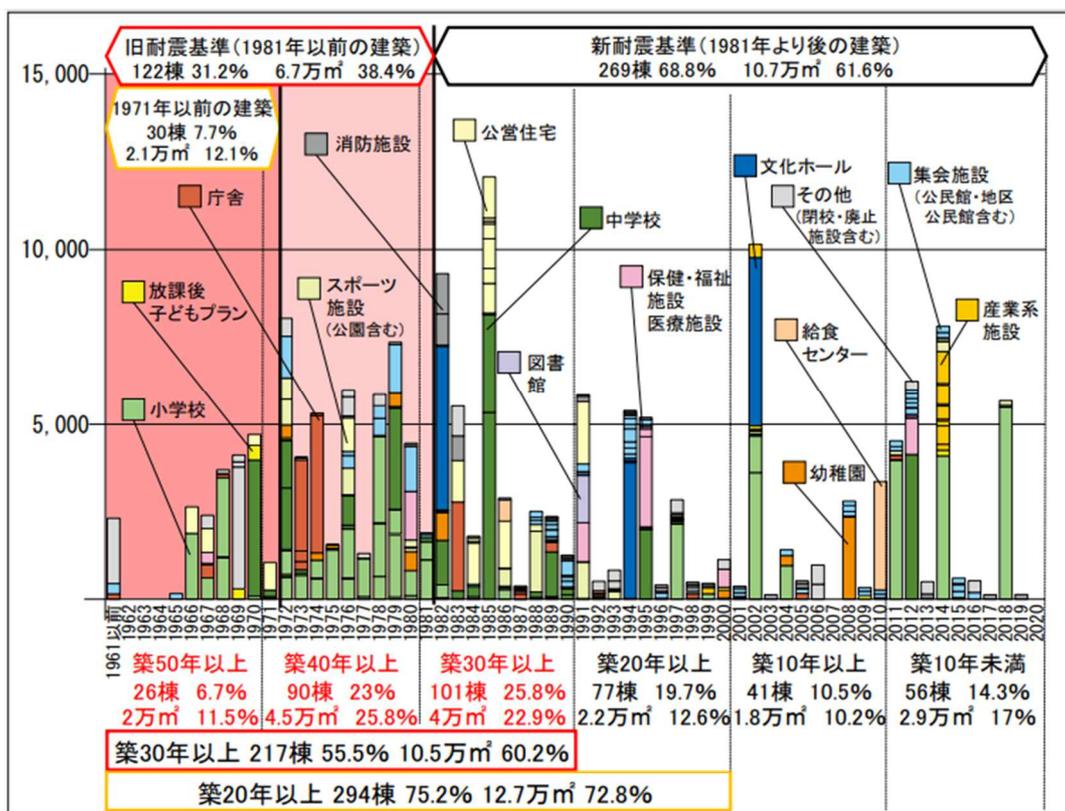


出典：小美玉市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

⑦公共施設の保有状況について

- ・新耐震基準の建物数は、全体の約69%となっており比較的新しい施設が多いが、築30年以上の施設数は約55%を占めており、老朽化が着実に進行している。
- ・保有面積が多い学校施設は、学校統廃合などにより比較的新しい施設となっている。
- ・行政サービスを維持していくためには、将来を見据えた公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、公共施設等の最適な配置や市の財政負担の軽減・平準化を行っていく必要がある。

●築年別整備状況（2020年度10月時点）



用途名	延床面積	面積比	用途名	延床面積	面積比
庁舎	11,352	6.5%	地区公民館	6,031	3.5%
消防施設	5,373	3.1%	小学校	46,649	26.7%
文化ホール	13,560	7.8%	中学校	29,354	16.8%
その他集会施設	3,777	2.2%	放課後子どもプラン	1,173	0.7%
産業系施設	3,392	1.9%	幼稚園	5,428	3.1%
スポーツ施設	7,180	4.1%	給食センター	3,819	2.2%
保健・福祉施設・医療施設	7,389	4.2%	公営住宅	12,999	7.5%
図書館	1,358	0.8%	その他	5,002	2.9%
公民館	3,238	1.8%	閉校・廃止施設	7,295	4.2%
			合計	174,366	100.0%

※スポーツ施設には公園のトイレ・倉庫等、その他には環境衛生施設(上・下水道)・霊園等の計画対象外施設を含む。

出典：小美玉市公共施設等総合管理計画(改訂版)〈令和5年6月変更〉

(2) 商業施設等の民間施設への影響の分析

① 周辺都市を含めた商業施設の立地・撤退の動向について

- ・周辺市町村を含め、卸売業・小売業の事業所数は減少が続いている。
- ・事業所数および年間商品販売額では、東日本大震災の影響を受け、2012年に大きく減少したが、2016年以降の年間商品販売額は微増傾向にある。

●周辺都市との卸売業・小売業事業所数の比較



出典：総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工
(地域経済分析システム (RESAS) より作成)

●小美玉市産業分類・小売業の事業所数・年間商品販売額の推移



出典：経済産業省「商業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
(地域経済分析システム (RESAS) より作成)

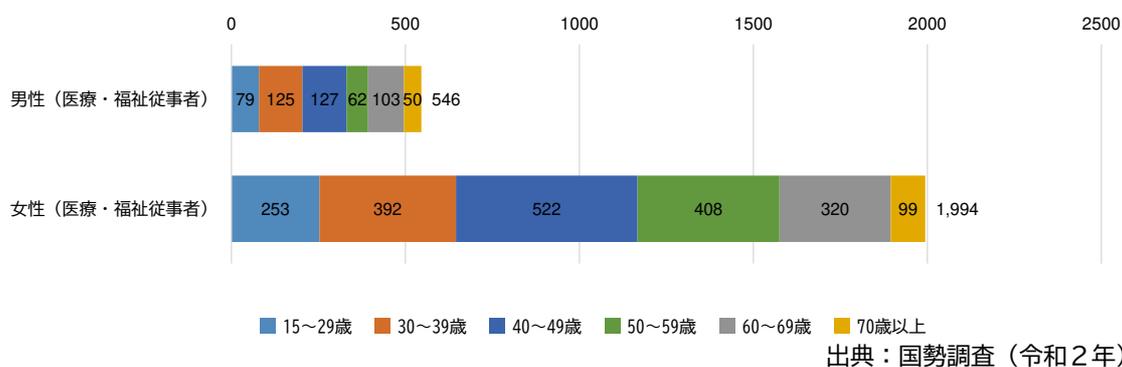
(3)地域の産業における人口減少の影響の分析

ここでは、地域産業の中で少子化・高齢化の影響が特に大きいと考えられる医療・福祉及び農林業について分析する。

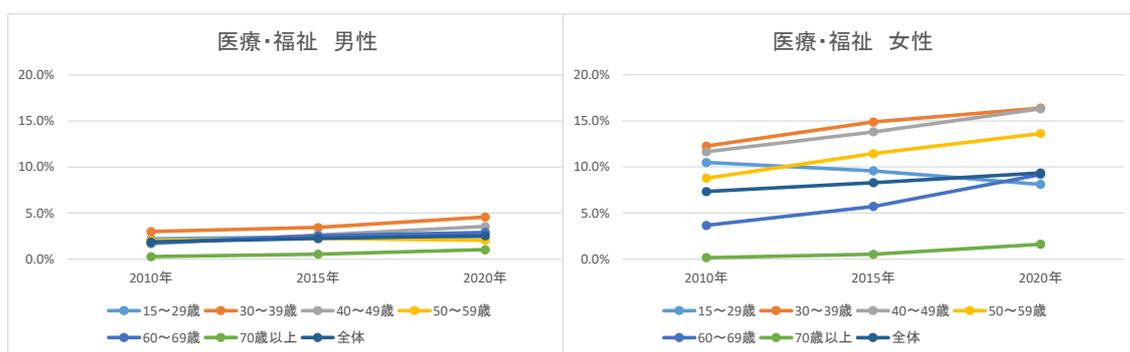
①高齢化の進行等による医療・福祉就業者について

- ・医療・福祉就業者数をみると、女性が占める割合が多い。
- ・15歳以上総人口に対する医療・福祉就業者数の割合の推移をみると、全体としては男女ともに増加傾向にある。一方、15～29歳では男性はほぼ横ばいであるが、女性は減少している。人口の減少にあわせ、若年層の医療・福祉就業者が減少していくことが想定される。

●医療・福祉就業者数



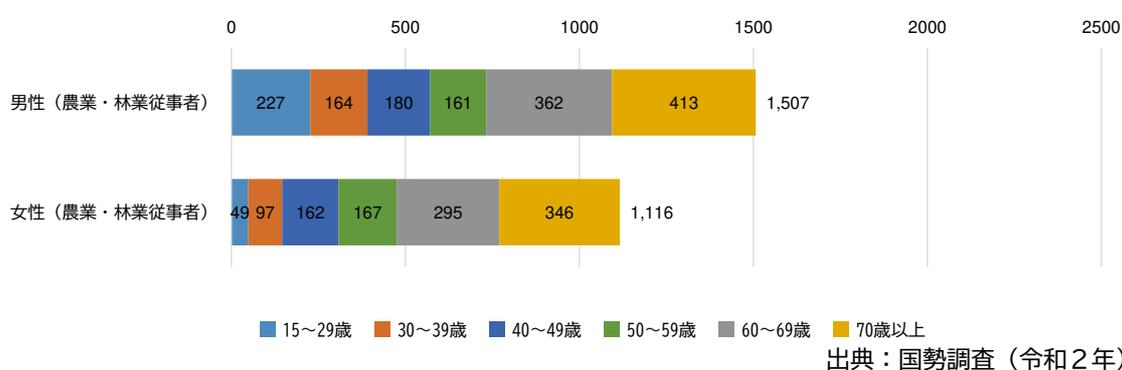
●15歳以上総人口に対する医療・福祉就業者数の割合の推移



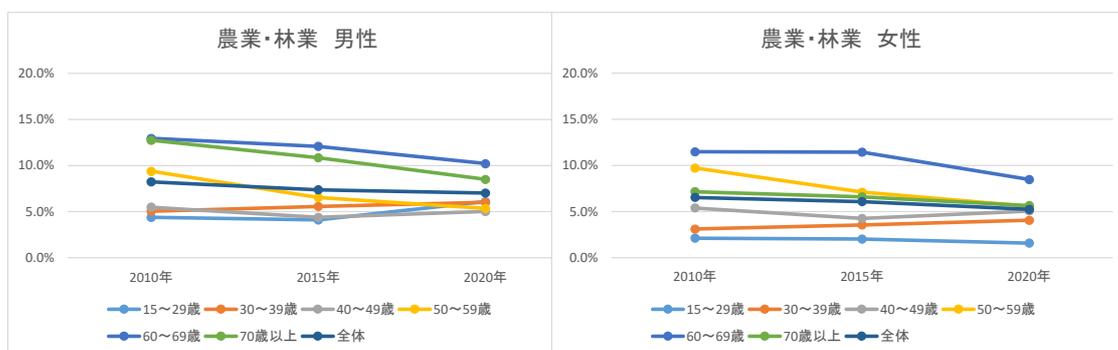
②高齢化に伴う農林業の人手不足について

- ・年齢階級別の農林業就業者をみると、60歳以上の就業者が約半数を占めている。特に15～29歳の女性が少なくなっている。
- ・15歳以上総人口に対する農林業就業者数の割合の推移をみると、全体としては男女ともに減少傾向にある。一方、15～29歳の男性と30～39歳の女性は増加している。60歳以上の就業者の離職に合わせて、若者などの就業が進まない場合には、農林業就業者は減少する。

●農林業就業者数



●15歳以上総人口に対する農林業就業者数の割合の推移

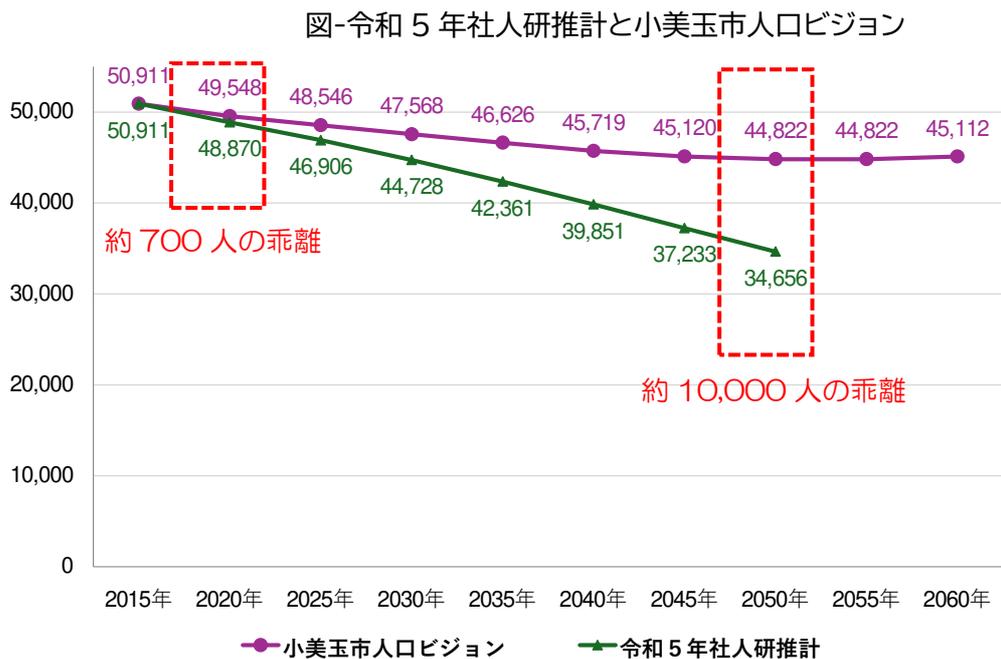


4. 本市人口ビジョン(令和2年策定)の検証

(1) 令和5年社人研推計との比較

① 総人口の推移

本市の人口ビジョンと令和5年社人研推計を比較すると、2020年(令和2年国勢調査)の乖離は700人程度となっている。2050年では約1万人程度の乖離が生じている。



② 合計特殊出生率の推移

市人口ビジョンの合計特殊出生率は、1.8とし、令和5年社人研推計での設定(2025年で1.28)と乖離している。一方で、合計特殊出生率の実績は、ベイズ推定値(2018—2022年)で1.4であり、令和5年社人研推計の設定を上回っている。

表-合計特殊出生率の比較

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
令和5年社人研推計	—	—	1.28	1.31	1.35	1.35	1.35	1.36
小美玉市人口ビジョン	1.51	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
【参考】ベイズ推定値	1.48 (2013—2017年)	1.40 (2018—2022年)	—	—	—	—	—	—

※ベイズ推定:地域特有のデータの不安定性を緩和し、安定的な推定を行う有効な手法

③純移動率の推移

市人口ビジョンの純移動率は、2065年までに転出全体、就職期の転出、進学期の転出を段階的に抑制していくものとしている。2025年～2030年時点の純移動率として、特に若年層の転出を抑える設定とし、令和5年社人研推計の設定よりも転入超過(+の数字)を設定している割合が多くなっている。

表-純移動率の比較(2025年→2030年10歳代～40歳代)

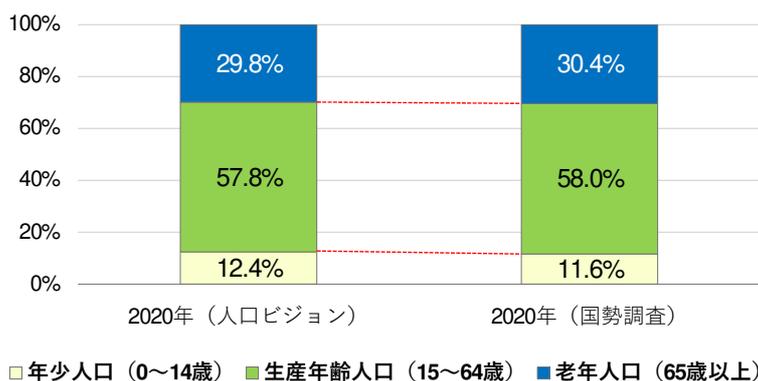
		10～14歳→ 15～19歳	15～19歳→ 20～24歳	20～24歳→ 25～29歳	25～29歳→ 30～34歳	30～34歳→ 35～39歳	35～39歳→ 40～44歳	40～44歳→ 45～49歳	45～49歳→ 50～54歳
男性	R5社人研推計	-0.055	0.044	0.022	-0.051	-0.043	-0.019	-0.007	-0.008
	小美玉市人口 ビジョン	-0.036	0.026	0.124	0.025	-0.002	0.023	0.014	0.009
女性	R5社人研推計	-0.060	-0.111	-0.018	-0.000	-0.001	-0.012	-0.004	-0.003
	小美玉市人口 ビジョン	-0.050	-0.109	0.000	0.019	0.032	-0.001	0.012	0.009

青いセルは社人研推計で転出超過だが人口ビジョンでは転入超過としている

(2)令和2年国勢調査との比較による検証

市人口ビジョンと令和2年国勢調査の人口構成比を比較すると、年少人口を12.4%としている市人口ビジョンに対して、国勢調査では11.6%となっている。生産年齢人口、老年人口は、いずれも国勢調査に比べて市人口ビジョンが少なくなっており、想定よりも少子高齢化が進んでいる。いずれも1%未満の乖離であるが、長期的にみると乖離が大きくなっていくことが考えられる。

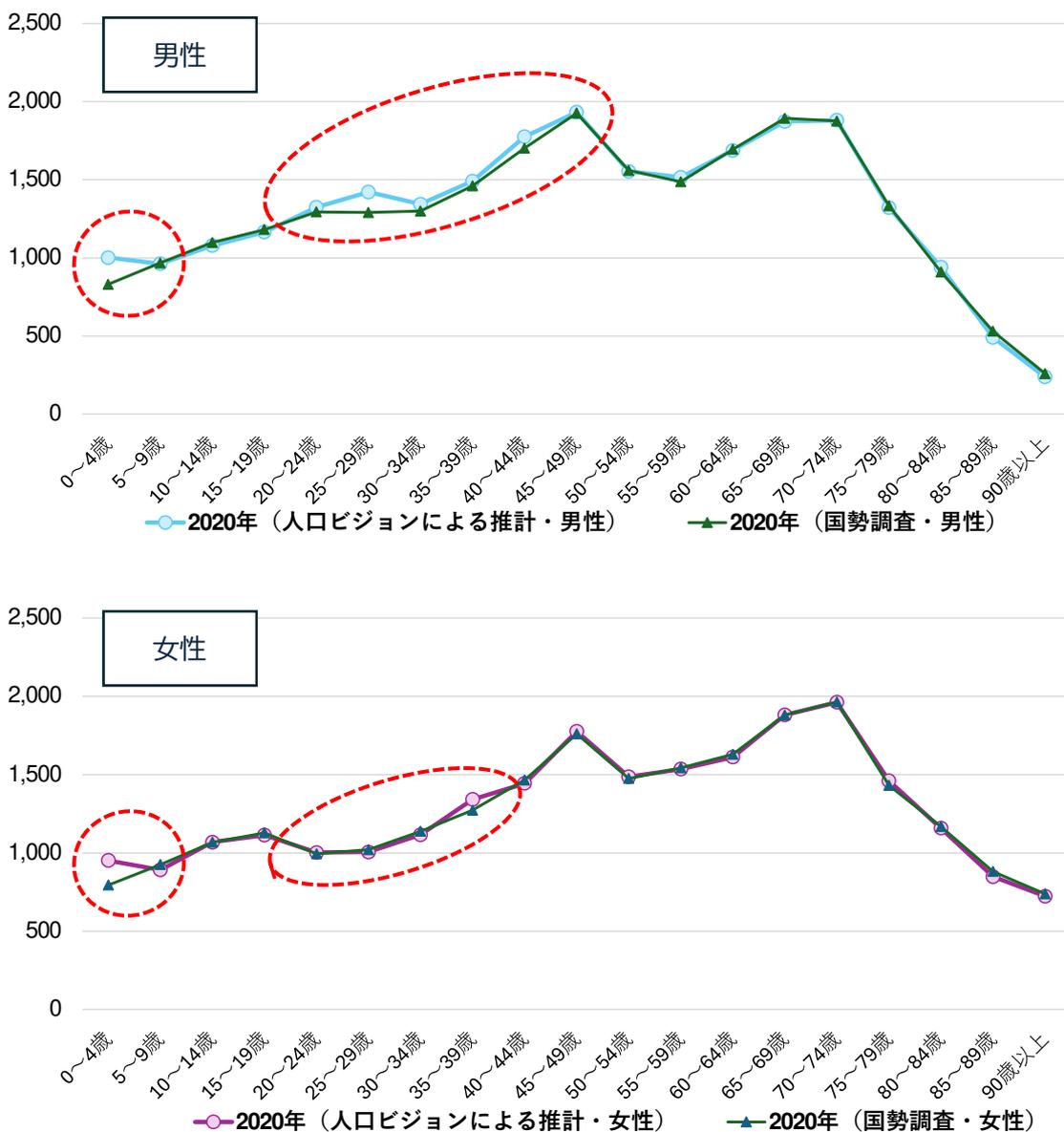
図-小美玉市人口ビジョンと令和2年国勢調査(人口構成比)



年齢階級別にみると、男性では、市人口ビジョンの20歳代～40歳代人口が令和2年度国勢調査人口を上回っている。女性では、市人口ビジョンと令和2年度国勢調査人口の差は比較的少なく、男性よりも女性の乖離が少なくなっている。市人口ビジョンの算出において設定した男性純移動率の設定が、実際よりも転入超過を多く見込んでいたことが考えられる。

また、男女ともに0～4歳児の人口が国勢調査人口を大きく上回っており、市人口ビジョン算出において設定した合計特殊出生率が影響していると考えられる。

図-小美玉市人口ビジョンと令和2年国勢調査(5歳階級別)



5. 小美玉市人口ビジョン(人口の将来展望)

(1) 将来展望に必要な調査・分析

①調査の目的

人口ビジョン及び総合戦略の改定にあたり、市民の意識を調査するため、アンケートを行いました。

②調査方法

	1. 市民（保護者）	2. 市民（18～39歳）	3. 高校生世代	4. 中央高校生
(1) 調査対象者	市立小中学校に通う児童生徒の保護者（2,323世帯）	18～39歳の市民（市内小中学校に通う児童生徒の保護者を除いた2,000人を無作為抽出）	市内在住の高校生世代（無作為抽出500人）	茨城県立中央高等学校に通う生徒571人（1年生191人、2年生192人、3年生188人）
(2) 調査方法	学校で使用している連絡用アプリを活用し、WEB上で回答する	調査の案内と二次元バーコードを送付し、WEB上で回答する	調査の案内と二次元バーコードを送付し、WEB上で回答する	学校で調査の案内と二次元バーコードを配布し、WEB上で回答する
(3) 調査期間	令和6年6月28日（金）～令和6年7月15日（金）			

③配布・回収状況

	1. 市民（保護者）	2. 市民（18～39歳）	3. 高校生世代	4. 中央高校生
(1) 配布数	2,323票	2,000票	500票	571票
(2) 有効回収数	1,202票	580票	154票	490票
(3) 有効回収率	51.7%	29.0%	30.8%	85.8%

※調査結果については、資料1で示しています。

(2)小美玉市人口ビジョン検討における課題の整理

現状分析欄中の()内は、以下の資料を指します。

前:小美玉市まちひとしごと創生人口ビジョン改定趣旨と現状分析(案)

今:本資料

ア:アンケート調査

①総人口・人口構成の推移について

現状分析	<p>○これまでは老年人口が増加し、生産年齢人口、年少人口が減少する段階であったが、今後は老年人口も横ばいになり、人口減少が加速することが考えられる。(前 P.5)</p> <p>○老年人口はすでに 30%を超えており、今後も高齢化率の上昇が予想される。(前 P.5)</p> <p>○高齢者を支える医療・福祉などの担い手不足、税財源の減少による行政サービスの低下が懸念される。(今 P.12、16)</p>
課題	<p>人口減少の進行は回避できないが、人口構造が若返ることにより、高齢者を支える働き手の一人当たりの負担を軽減し、急激な高齢化による地域経済の縮小、生活環境の低下を防ぐため、出生率の向上、若者の流出の抑制を図っていく必要がある。また、高齢者も生きがいをもって社会に参画する健康長寿社会を実現することで、地域経済の活性化を図ることができる。</p>

②人口動態について

現状分析	<p>○社会増減は 2008 年以降徐々に増加し 2009 年には人口増減がプラスに転じているが、自然減が社会増を上回っているため、全体の人口増減は減少が続いている。(前 P.10)</p> <p>○年齢別にみると、男性は近年 30 歳代の転出が顕著となっている。女性は 20～24 歳の世代の転出が最も多い。(前 P.12)</p> <p>○40 歳代以降は男女ともに移動が少なくなっている。(前 P.12)</p> <p>○石岡市、水戸市からの転入が多く、つくば市、土浦市への転出が多い。(前 P.15)</p>
課題	<p>自然減の影響が大きいことから、若者世代が結婚・出産・子育てに希望を持てる環境づくりなど出生数の増加への取組や、若年層が住宅を取得するタイミングで、小美玉市を選択しやすい支援や環境を整えることで、転出による社会減少の抑制を図ることが必要となる。</p> <p>一方で、人口ビジョンの合計特殊出生率、社会移動の設定については、国勢調査による実績に応じた見直しが必要となる。</p>

③地域別の人口の推移について

現状分析	<p>○地区別の人口では、羽鳥地区のみが増加しており、それ以外の地区は減少が続いている。(前 P.8)</p> <p>○将来的には、特に若年層の人口は羽鳥駅周辺の市街地、小川市街地、玉里市街地に集中することが予測される。(今 P.4)</p>
課題	<p>将来的に人口規模が縮小していくことを想定した上で、持続可能な生活圏を維持していくため、人口が集中する市街地と人口が減少していくエリアのそれぞれのニーズに応じて、交通、物流、福祉、医療などのネットワークの充実を図り、生活利便性を維持していくことが必要となる。</p>

④婚姻・出産について

現状分析	<p>○婚姻件数については、2019 年以降減少が続いており、2022 年では過去最低となっている。(前 P.13)</p> <p>○市の合計特殊出生率は、減少が続いているものの、国、県と比べて高い。(前 P.13)</p> <p>○生涯未婚率は増加傾向が続いている。(前 P.14)</p> <p>○アンケートでは若者の婚姻に対する希望・関心の低下が示されている。</p>
課題	<p>婚姻率と出生率の上昇を目指す上で、若者の婚姻に対する希望や関心は低いものの、子育てを希望する若者が、希望をかなえられる環境をつくっていくことが必要となる。</p> <p>一方で、人口ビジョンの検討においては、現実的な合計特殊出生率の設定に基づいた見直しが必要となる。</p>

⑤産業について

現状分析	<p>○産業別人口を見ると、全国的な傾向と同様に、第一次産業、第二次産業の減少が続いている。特に近年では、第一次産業の減少率が大きい。(前 P.19)</p> <p>○農業の就業者は、半数以上が 60 歳以上となっており、高齢化が著しい。今後、高齢世代の離職により更に担い手不足が懸念される。(前 P.20、21)</p> <p>○人口減少に伴い、事業所や民間商業施設が減少することにより、地域経済の低迷、生活の利便性の低下が懸念される。(今 P.15)</p>
課題	<p>小売業・飲食業などを維持・活性化するため、地域内消費、経済の好循環促進など、市民生活や経済活動を支える取組が必要となる。</p> <p>また、地域の強みを生かした産業を育成していくとともに、高齢化が進む産業において、担い手の確保など、地域産業の継続を図る取組が必要となる。</p>

(3) 目指すべき将来の方向

本市の人口における現状と課題および国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を踏まえ、本市の人口の将来を展望するにあたっては、次の基本的方向から目指すべき将来の方向性を掲げます。

○若い世代の結婚・出産・子育て希望の実現

少子高齢化の進行にともない自然減が増えることが予想される中で、人口を維持するためには、若者が自らの希望する時期に希望するあり方で結婚・出産・子育てが実現できる環境づくりに取り組んでいく必要があります。結婚、出産、子育て世代の暮らしの基盤を整え、出生数の増加と若い世代の移住定住促進を目指します。

○小美玉らしさを活かした魅力あふれる生活環境

本市は茨城空港を有し、鉄道・高速道路を使った都心へのアクセスのよい環境にあります。デジタル化が進んだ社会背景を踏まえ、都心でなくても望ましい暮らしが実現できることをPRしていく必要があります。交通、物流、福祉、医療などのネットワークの充実を図り、若者から高齢者まで、誰もが自分らしくいきいきと活躍できる地域社会を目指します。

○安定した雇用の創出と市内就業人口の増加

本市の産業は農業や製造・加工業が中心で、ヨーグルトなどのブランド品づくりにも取り組んでいます。さらに地域産品を活用しながら地域雇用の拡大と地域産業の活性化が求められます。企業誘致と雇用促進、市内企業への支援と交流の推進を図るとともに、新たな雇用の創出、起業支援を図るなど、若者のライフスタイルに合った働きやすい環境をつくり、市民が安心して暮らし続けられるまちを目指します。

○市民が住み続けたいと感じる暮らしの創出

市民の郷土意識やコミュニティへの愛着形成を図ることにより、地元で暮らしたい、住み続けたい若者を育成し、進学や就職で一時的に市外に転出しても、就職や転職、結婚などライフステージの転換期に本市に戻りたくなるような取組みが必要です。恵まれた自然環境と住環境の調和、産業、文化など、小美玉市の暮らしを構成する要素の質の高さをPRし、市民が誇りを持って暮らせるまちを目指します。

(4)人口ビジョン

本市が目指す人口ビジョン(人口の将来展望)を以下に示します。

①人口ビジョンの対象期間

人口ビジョンの対象期間は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年度改訂版)」と同様の 2060 年を目標期間とします。

②合計特殊出生率の考え方

- ・合計特殊出生率の設定にあたっては、社人研による「出生動向基本調査」における希望子ども数から、合計特殊出生率を設定します。

アンケート調査結果		合計特殊出生率	
現実的に子育て可能な子どもの人数(平均値) (市アンケート調査※)	約 2.1 人	1.40	調査時点の合計特殊出生率 (ベイズ推定値(2018—2022年))
理想とする子どもの人数 (平均値) (市アンケート調査※)	約 2.6 人	1.75	現実的に子育て可能な子どもの人数との比率から合計特殊出生率を算出

出展:「第3期 小美玉市子ども・子育て支援事業計画」策定時の
アンケート調査(2024年3月)

社人研による「出生動向基本調査」では、希望子ども数は年々減少しており、2021年調査では約 1.8 人になっています。国では結婚・出産・子育てがしやすい地域づくり、若い女性を含め働きやすい環境づくりを進め、結婚・出産・子育ての希望をかなえることを目指しています。

本市の調査では、現実的に子育て可能な子どもの人数は約 2.1 人、理想とする子どもの人数が約 2.6 人となっています。国における取組と連携し、本市の子育て支援、ワークライフバランスの促進を図ることにより、若者世代が希望の子ども数を実現した場合、合計特殊出生率の実績から 1.75 程度まで上昇することが考えられます。

③社会移動率の考え方

・社人研の人口推計に用いられた値をもとに、これまでの検証データ、アンケート調査データから純移動率を設定します。

ア.子育て環境の充実、周知による移住・定住促進

アンケート調査による定住意向	市民（無作為抽出）	市内小中学校に通う児童・生徒の保護者
小美玉市で子育てしていきたい	28.4%	58.2%
これからも小美玉市に住み続けたい	56.7%	79.3%
市外に引っ越したい・分らない	42.6%	22.6%

▼期待される効果

実際に子育てをしてみると、「小美玉市で子育てをしていきたい」、「住み続けたい」という意向がともに強くなっていることから、安心して子育てできる環境の充実・周知を図ることにより、子育て世代の定住意向を高める効果が期待されます。

イ.日常生活の利便性の向上、教育・医療サービスの充実による定住促進

アンケート調査による転出意向の理由	市民（無作為抽出）	市内小中学校に通う児童・生徒の保護者
日常生活が不便	58.9%（1位）	73.6%（1位）
子どもの教育	7.1%（8位）	40.3%（2位）
医療サービスの関係	16.1%（3位）	37.5%（3位）

▼期待される効果

市外への転出を希望する人が理由として挙げている日常生活の不便さを解消することが必要です。デジタル化により、都心でなくても望ましい暮らしが実現できることをPRしていくことで、市民の快適な暮らしをつくとともに、市外への転出を抑制する効果が期待されます。

また、子育て世代は、転出入にあたって子どもの教育環境、医療サービスの充実を重視しており、教育・医療の質の向上を図ることで、子育て世代の転出抑制だけでなく、転入促進にも効果が期待されます。

ウ.安定した雇用と働きやすい環境の充実

アンケート調査による就職先を決める際に重視すること	市民（無作為抽出）	高校生世代
1位	職場の雰囲気が良い	自分の興味がある
2位	休みがとりやすい	安定している
3位	安定している	職場の雰囲気が良い
4位	自分の興味がある	給料が高い
5位	給料が高い	休みがとりやすい

アンケート調査による将来の希望する勤務地	高校生世代（市内在住）
小美玉市内で働きたい	7.4%
小美玉市外で働きたい	29.7%
分からない	62.8%

▼期待される効果

企業誘致、地元企業の活性化、起業支援などにより、働き方の選択肢が増えることで、若い世代が興味関心のある分野で働ける環境をつくり、小美玉市での定住を促進するとともに、市外で働きたい若い世代の流出を抑制する効果が期待できます。

また、女性や高齢者など、誰もが働きやすい職場環境をつくり、身近な大人がいきいきと働くことで、将来のイメージが明確でない若い世代へも、小美玉市内での就労を促進することが期待されます。

エ.小美玉市への愛着の醸成

アンケート調査による市への愛着	市民（無作為抽出）	高校生世代（市内在住）
愛着を持っている	42.6%（前回 56.0%）	58.1%（前回 45.6%）
どちらともいえない	30.9%（前回 28.5%）	30.4%（前回 26.2%）
特に愛着はない	22.2%（前回 10.7%）	9.5%（前回 13.6%）

▼期待される効果

アンケート調査では前回に比べて市への愛着を感じる市民が減少しています。歴史・文化・産業・教育・市民協働などの幅広い分野において市民の主体的な活動を支援し相互のつながりを育んでいく事で、郷土意識やコミュニティへの愛着形成を図っていく必要があります。

④社会移動数の考え方

- ・茨城空港テクノパーク等への企業誘致による雇用の確保・就業者の転入を想定し、移動数を設定します。

茨城空港テクノパークの状況

稼働済み面積	約 5.6ha	
面積あたりの従業員数	約 20 人/ha	分譲済の 3 社から算出
分譲中面積	29.5ha	
想定雇用数	590 人	面積あたり従業員数×分譲中面積



新たな企業誘致により見込まれる効果

面積あたりの従業員数	約 20 人/ha	
想定分譲面積	約 30ha	テクノパークと同程度を想定
想定雇用数	600 人	面積あたり従業員数×想定分譲面積



想定雇用数合計	1,190 人	
雇用者のうち小美玉市への移住者数	595 人	想定雇用数の 50%
1世帯当たり人員数(茨城県)	2.37 人	
想定移住者数	1,410 人	雇用者のうち小美玉市への移住者数×1世帯当たり人員数(茨城県)

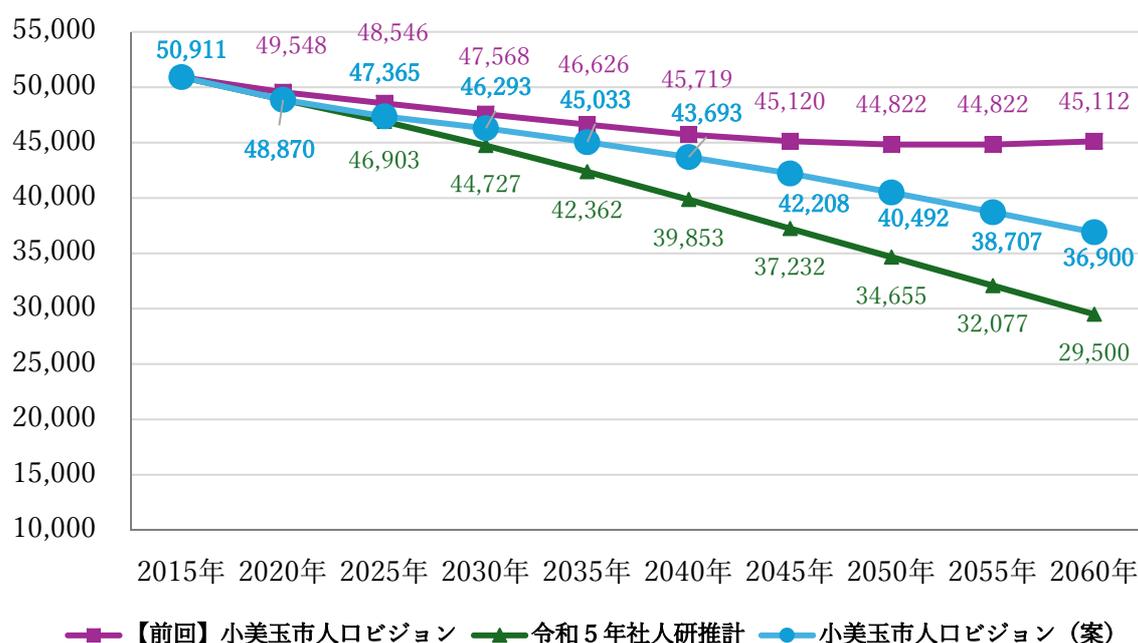


茨城空港テクノパーク等への企業誘致が進み、雇用が増加することで生産年齢人口の移住が増加することが想定されます。面積あたりの従業員数から、今後の雇用数を想定し、2025年～2045年の間に1,410人の転入数を設定します。

⑤小美玉市人口ビジョン(案)

合計特殊出生率、社会移動率の考え方にに基づき、本市の将来の人口の見通しを以下に示します。合計特殊出生率および社会移動率の上昇を促進する取組の実施により、目標年次における人口の確保を目指します。

2040年(令和22年)将来人口	約43,700人
2060年(令和42年)将来人口	約36,900人



	合計特殊出生率	社会移動率
本年度策定の市人口ビジョン	1.40 から段階的に 1.75 に上昇する 2025年：1.40 2030年～2040年：1.575 2045年～2060年：1.750	・30歳代までの転出を20%抑制 ・20歳代の女性の移動率を男性と同様の移動率に設定 ・移動数を設定(2045年までに1,410人)
令和5年社人研推計	過去5年の子ども女性比と生残率による予測値	・全国の移動率が今後一定程度縮小すると想定
前回市人口ビジョン	段階的に1.8に上昇する	・2065年までに転出全体を23%抑制 ・就職期の転出を抑制 ・進学期の転出を抑制 ・2020年までに特に重点的に取組を進める ・転入は全体的に増加を維持

小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
総合戦略の効果検証と骨子（案）

1. 第2期小美玉市総合戦略 達成状況調査

(1)調査の概要

総合戦略に位置づける各事業の取組内容および実績について、所管課による毎年度調査を実施し、取組内容および活動による数値的な実績について整理した。

また、基本目標ごとの目標指標は以下のとおり。

①数値目標から見た達成状況

基本目標	数値目標	基準値	目標値	実績
1 恋も子育ても したくなるま ちになる	平均初婚年齢（男）	30.0 歳	28 歳	31.0 歳
	平均初婚年齢（女）	28.3 歳	25 歳	29.1 歳
	合計特殊出生率	1.51	1.8	1.40
	結婚を希望しない若者の割合	12.9%(市民) 4.9%(高校生)	10.0%(市民) 2.5%(高校生)	20.7% (市民) 10.8% (高校生)
	小美玉市で子育てをしていきたい割合	61.90%	70.0%	28.4%(市民) 58.2%(市民保護者)
2 地域の宝を見 つけ、磨き、 光をあてるま ちになる	平日・休日滞在人口率	平日 0.99 休日 0.97	平日 0.99 休日 1.00	平日 0.9975 休日 1.0091
	市イベント関連交流人口	80.2 万人	100 万人	138.9 万人
3 わく work が とまらないま ちになる	市内総生産	2,249 億円	現状維持	2,417 億円
	就業者数（20～40 歳代）	18,098 人	現状維持	16,466 人
	市内に住んで市内外で就職したい割合	46.7%※1	50.0%	37.3%※2
4 スーッと、ず ～っとすめる まちになる	社会移動率	-0.35%	-0.18%	0.38%
	生産年齢人口純移動数	-266 人	-200 人	63 人
	小美玉市に愛着を持っている市民の割合	56.0%	60.0%	42.6%(市民) 40.6%※3(市民保)
	今後も今のお住まいに継続して住む割合	53.4%	55.0%	56.7%(市民) 76.3%(市民保)

目標値を達成

未達

※1 勤務地は問わず、小美玉市内に居住意向のある選択肢の合計

※2 市内に住んで市内外で就職したい割合の実績値は、高校生アンケート（無作為抽出）で将来は「小美玉市に住みたい」、「小美玉市以外に住みたい」、「まだわからない」の中から「まだわからない」と回答した人以外の人うち「小美玉市に住みたい」を選択した割合を示している。

※3 現在小美玉市に住んでいる市民（保護者）のみを対象に算出した割合

②取組内容から見た達成状況

政策分野 1 恋も子育てもしたくなるまちになる

1 私はこのまちで恋をする

【施策 01】 自然な出会いを創出

2 だから私はこのまちで楽しい
子育てをする

【施策 02】 人生設計のデザイン

【施策 03】 子育て家族に優しいまちの創出

■達成状況のまとめと課題

- 自然な出会いの創出については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、5類感染症に移行した令和5年度から、イベント等の活動を再開し、出会いの場を創出したことにより、独身男女のマッチング数の増加につながった。結婚にとらわれない価値観の多様化の傾向も見られるなか、結婚を希望する若者へ出会いの場を継続的に提供していくことが必要である。
- 無作為に抽出した市民に比べて、子育て中の市民は「小美玉市で子育てをしていきたい」と感じる割合が高くなっている。子育てに関わる市民以外へも、小美玉市が独自に取り組む子育て施策を広く周知するとともに、本市で暮らし、働き、子どもを育てていくことを若者がイメージできる取組を継続していくことが求められる。

■数値目標の達成状況

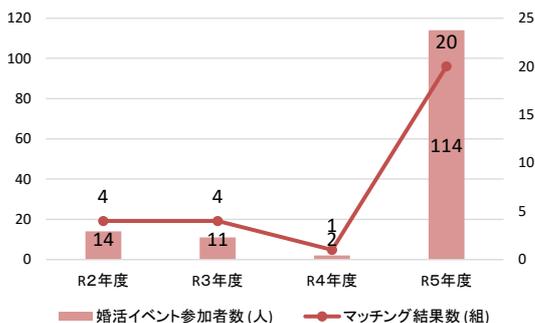
基本目標	前回基準値	目標値 (2024年度)	実績値
平均初婚年齢 (男)	30.0歳 (2017年人口動態調査)	28歳	31.0歳 (2018年)
平均初婚年齢 (女)	28.3歳 (2017年人口動態調査)	25歳	29.1歳 (2018年)
合計特殊出生率	1.51 (平成26～30年期間 合計特殊出生率最大値)	1.8	1.40 (平成30～令和4年 ベース推定値)
結婚を希望しない若者の割合 (アンケート調査)	12.9%(市民) 4.9%(高校生) (2019年実施調査)	10.0%	20.7%(市民) 10.8%(高校生世代) 7.9% ^{※1} (中央高校生)
小美玉市で子育てをしていき たい割合 (アンケート調査)	61.9%	70.0%	28.4%(市民) 58.2%(市民保護者)

※1 現在小美玉市に住んでいる生徒のみを対象に算出した割合

■ 具体的施策の実施状況

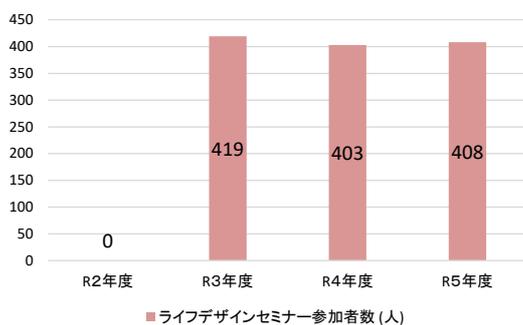
1-01. 自然な出会いを創出

- 令和2年度から令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で対面のイベントが開催困難な中、オンラインでの婚活イベントなどを開催した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度は、連携中枢都市圏の構成市町村などと連携し、対面での婚活イベントを実施した。



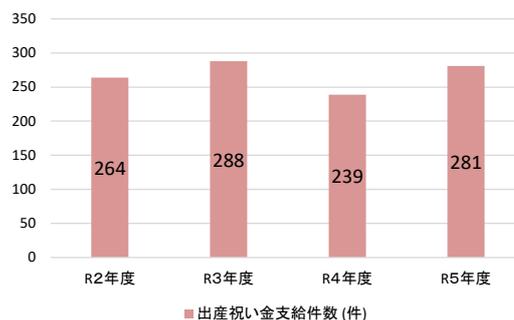
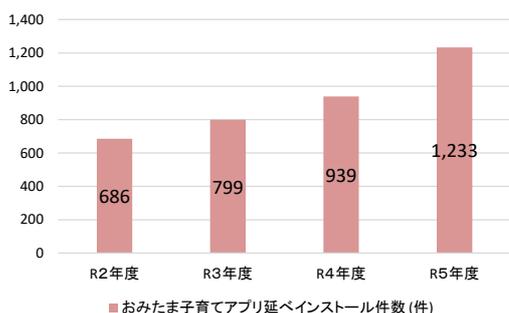
1-02. 人生設計のデザイン

- 市内の中学2年生及び義務教育学校8年生を対象に、将来に訪れるライフイベントを学ぶライフデザインセミナーを実施した。



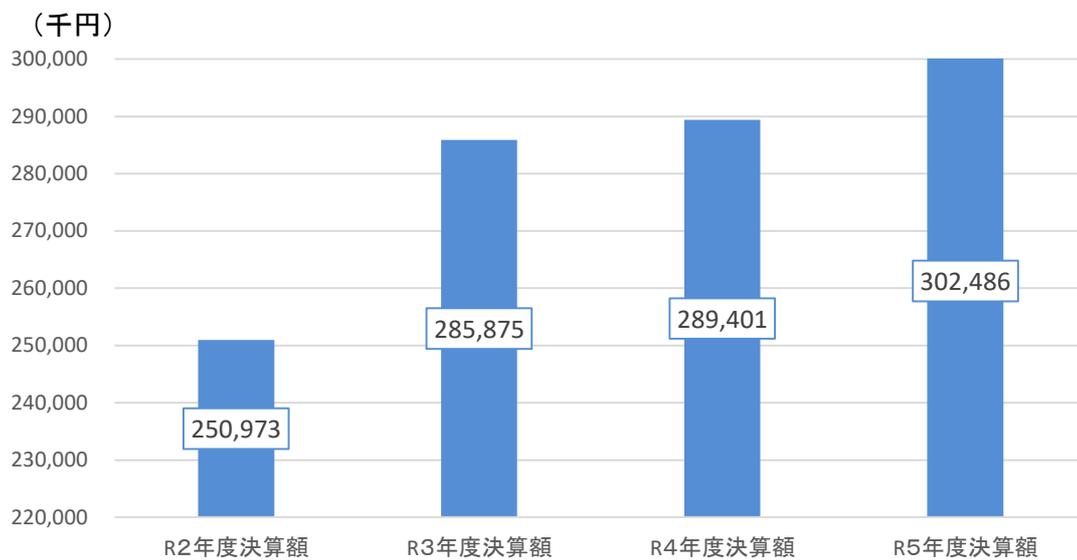
1-03. 子育て家族に優しいまちの創出

- 子育て世代包括支援センターにおいて、出産に不安を感じている妊産婦に対し、電話・面談・訪問等で個別対応を行うとともに、他機関と連携し対応した。また、妊産婦や子育て世帯等を総合的に支援する「こども家庭センター」の開設準備を進めた。
- デジタル技術を活用した取組みとして、子育てアプリによる情報発信や、児童手当の手続きや保育所入所申し込み等の電子化を進めた。



■ 施策別決算状況

- ・ 事業費の決算額は増加が続いており、最も多いのは「1-01-3 子育て家族に優しいまちの創出」となっている。施策全体では事業費の令和 2 年度から令和 5 年度にかけて約 5,000 万円程度事業費が増えている。



政策分野 2 地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる

1 地域資源を活かす

【施策 01】 「空・陸・水の交流エリア」と「文化・観光・出会い創出」の連携

2 全国から応援してもらえるまちになる

【施策 02】 おみたまブランドの確立

【施策 03】 クラウドファンディング等の活用

■達成状況のまとめと課題

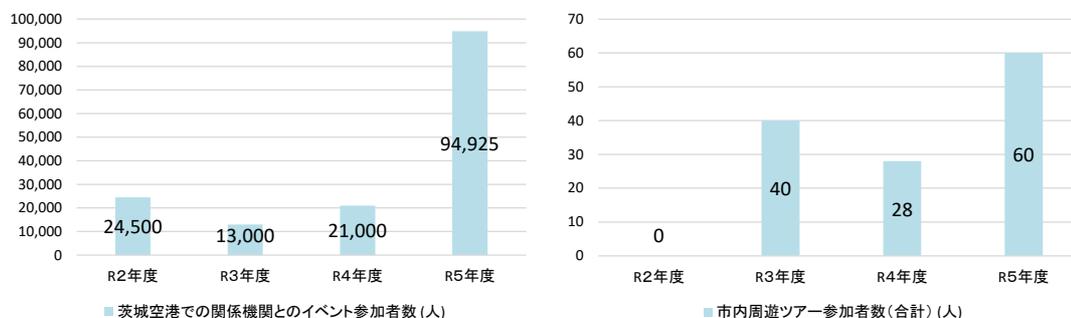
- 茨城空港や「空のえき そ・ら・ら」などを交流拠点とした関係人口の創出については、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、各種イベントの実施により、関係交流人口が目標値を上回った。また、航空便の1時間1便の着陸便数枠が緩和されたことにより、更なる交流人口の増加が期待されることから、地域資源を活かした取組を強化していく必要がある。
- ふるさと納税の返礼品数やポータルサイトを増やしていったことにより、年々寄附額が増加する結果となった。本市の魅力を全国に情報発信でき、地域経済の活性化に寄与することから、更なる寄附額の拡大を図っていく。

■数値目標の達成状況

基本目標	前回基準値	目標値 (2024年度)	実績値
平日・休日滞在人口率 (滞在人口/国勢調査人口) (RESAS)	平日 0.99 休日 0.97	平日 0.99 休日 1.00	平日 1.00 休日 1.01
市イベント関連交流人口 (ふるさとふれあい祭り・産業祭等のイベント、空港、「空のえき そ・ら・ら」、文化ホール等の来場者数)	80.2万人	100万人	138.9万人

2-01. 「空・陸・水の交流エリア」と「文化・観光・出会い創出」の連携

・茨城空港や「空のえき そ・ら・ら」を交流拠点として、小美玉市茨城空港利用促進協議会と連携した各種イベントを実施した。また、羽鳥駅から市内を周遊する観光ツアーを企画・実施した。



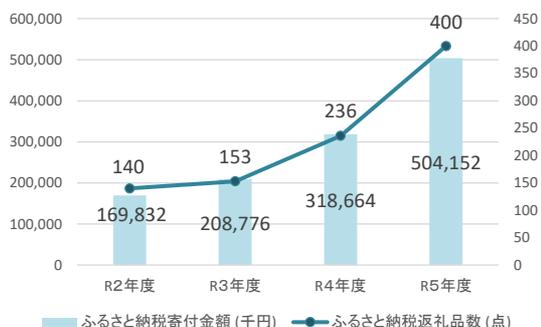
2-02. おみたまブランドの確立

・本市の特産品であるヨーグルトのブランドアップを図るため、令和2年～3年度に結婚披露宴の乾杯用に、本市の飲むヨーグルトを配布するとともに、転入者に対しヨーグルトを配布しPRを行った。また、農産物等の付加価値の向上を図るため、令和5年度に小美玉市農産物等ブランド化推進戦略を策定した。



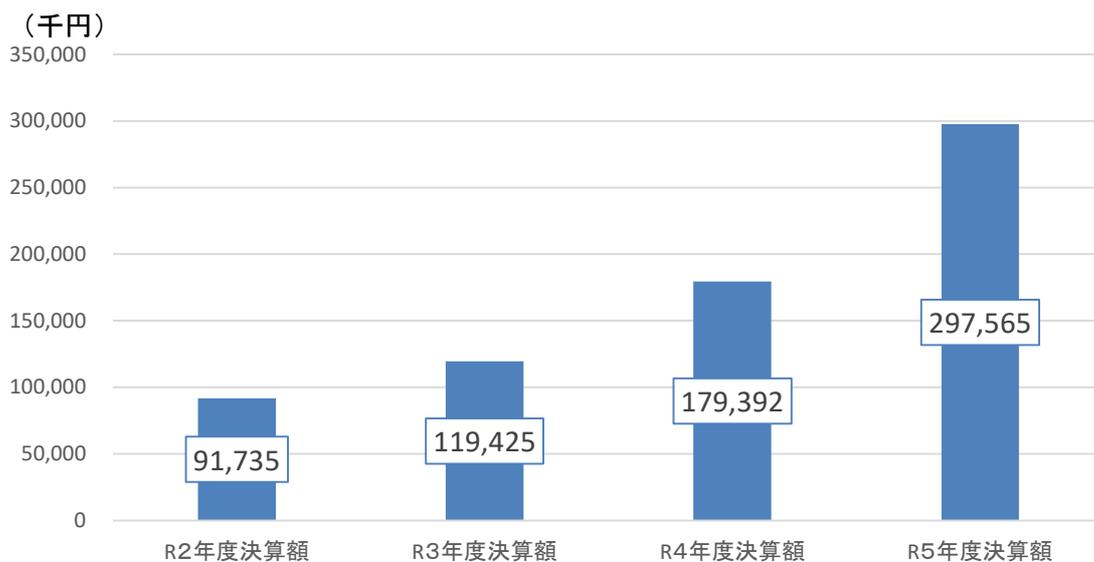
2-03. クラウドファンディング等の活用

・ふるさと納税の返礼品やポータルサイトの拡充を継続的に実施し、寄付額の大幅な増加となった。令和4年度から企業版ふるさと納税制度の周知に努め、多くの企業から寄付も併せて集め、子育て世帯への行政サービスの充実につなげた。



■施策別決算状況

- ・事業費の決算額は増加が続いており、最も多いのは「2-03-1 ふるさと納税の推進」となっている。施策全体では令和2年度から令和5年度にかけて、返礼品代や荷造代が大幅な歳出増となったが、一方で歳入のふるさと納税寄付金額は約3.3億円程度増加となったことや、市の特産品を広くPRできたことなどから、費用対効果が得られた。



政策分野3 わくWork（ワーク）がとまらないまちになる

1 新たな「働く」をカタチにする

【施策01】 新たな「働き方」の創造

【施策02】 雇用の創出

2 あなたの「働く」を応援する

【施策03】 地域の仕事の認識を高める

【施策04】 女性活躍推進

【施策05】 職員力を高める

■達成状況のまとめと課題

- 本市の就業者数は減少傾向にあるものの、市内総生産額は増加しており、生産性の向上が図られた。地方創生の視点からは就業者の増加を目指していく必要がある。今後、茨城空港テクノパークなどへの企業誘致の好機を生かして、企業立地の促進と就業者の移住定住の促進を図っていく必要がある。
- 高校生世代へのアンケートでは、将来の居住地の希望が「わからない」と回答する者が多かった。地域の仕事をより具体的に体験し、知ってもらうことで、小美玉市で働き、暮らしていくイメージを持ってもらうなど、若者の定住意向を促進していく必要がある。
- 市民アンケートでは、働きやすい就業環境が重要視される結果となった。多様な働き方に対応した環境をつくることは、本市での暮らしの質を高めていく取組として重要である。
- 高校生世代のアンケートでは、就職先を決める際に重要なものとして「自分が興味のある仕事」と回答する生徒が最も多かった。都心でなくても若者が求める職種を地元を増やし、様々な職業の選択肢を広げることが必要である。

■数値目標の達成状況

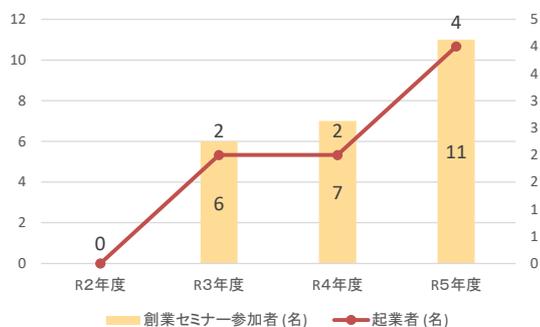
基本目標	前回基準値	目標値 (2024年度)	実績値
市内総生産	2,249億円 (2015年)	現状維持	2,417億円 (2021年)
就業者数(20~40歳代)	18,098人 (2017年)	現状維持	16,466人 (2020年)
市内に住んで市内外で就職したい割合 (高校生アンケート調査)	46.7% ^{※1} (2019年実施調査)	50.0%	37.3% ^{※2}

※1 勤務地は問わず、小美玉市内に居住意向のある選択肢の合計

※2 市内に住んで市内外で就職したい割合の実績値は、高校生アンケート（無作為抽出）で将来は「小美玉市に住みたい」、「小美玉市以外に住みたい」、「まだわからない」の中から「まだわからない」と回答した人以外の人うち「小美玉市に住みたい」を選択した割合を示している。

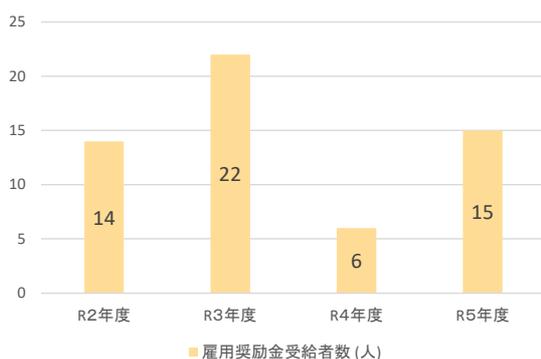
3-01. 新たな「働き方」の創造

- ・令和2年度はコロナのため中止となったが、令和3年度以降は創業セミナーを実施し、起業者を創出することができた。テレワークや副業など時代に即した取組みを推進する必要がある。



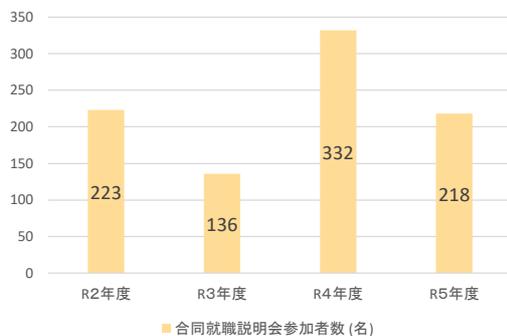
3-02. 雇用の創出

- ・小美玉市民雇用奨励金による企業支援を継続的に実施し、市民の雇用の場を確保した。



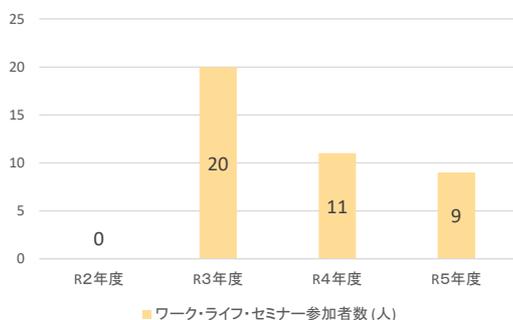
3-03. 地域の仕事の認識を高める

- ・石岡市との合同就職説明会を継続的に実施し、毎年度100名以上が参加した。令和4年度以降は、9市町村で構成する連携中枢都市圏での「合同就職説明会・相談会」を開催した。市内で働く人を特集する記事を広報紙に掲載したほか、就職説明会にて本市のPRを行った。



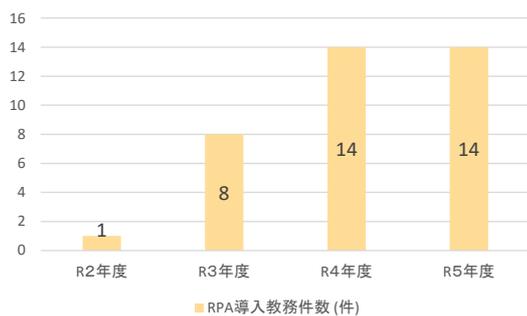
3-04. 女性活躍推進

- ・女性が生き生きと輝く社会の実現に向けて、女性の起業・創業セミナーのほか、ワーク・ライフ・バランスや職場環境の改善を目的としたセミナーを開催した。



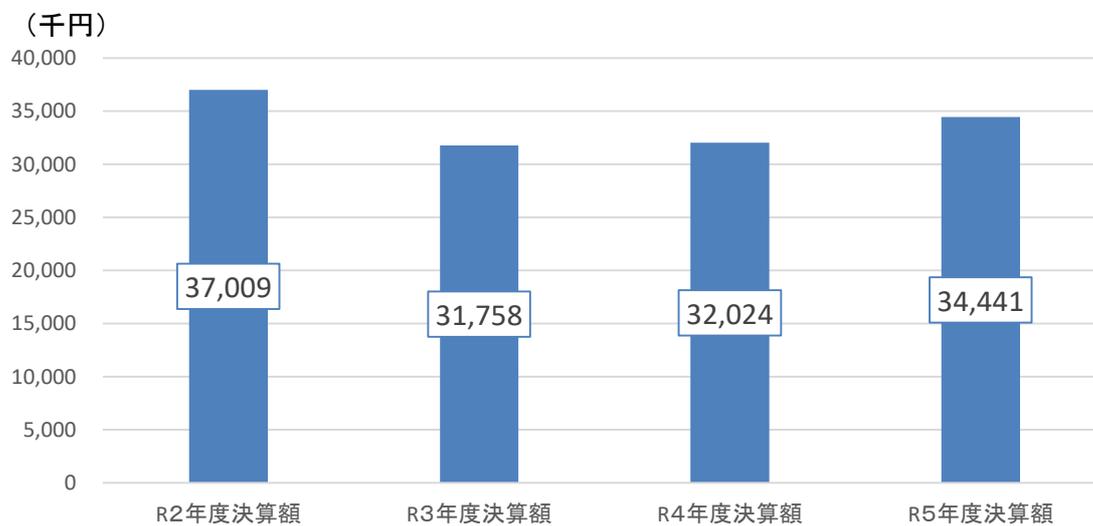
3-05. 職員力を高める

- ・AI や RPA 等の積極的な活用を推進するため、DX 研修や RPA 操作の研修を実施し、行政のデジタル化に適応できる人材の育成を行った。また、市民が AI チャットボットを活用し、時間や場所を問わず、市に問い合わせができる仕組みを導入した。



■施策別決算状況

- ・補助金や奨励金など、対象者によって年度の決算額が変動はあるが、概ね同程度の決算額で推移した。



政策分野 4 スーツと、ず〜っと住めるまちになる

1 「好きなことに時間を使う暮らし」を応援する	【施策 01】 市民・民間主体のローカル&スモールビジネス（小商い文化）推進
2 ゆるやかで心地いい関係をつくる	【施策 02】 移住のハードルを下げる 【施策 03】 デジタルコミュニケーション推進
3 学校におけるシビックプライドの醸成	【施策 04】 学校との連携を深める
4 地域におけるシビックプライドの醸成	【施策 05】 市民・民間主体のシティプロモーション推進

■達成状況のまとめと課題

- 「食と農のプログラム」や実証実験マルシェなどのイベントを実施し、東京でなくてもできるビジネスの情報発信を行った。一方で、具体的な取組に至っていない施策もあり、今後の見直しが必要である。
- 社会移動率、生産年齢人口純移動数の数値目標が達成された。移住定住を促進するため、住宅取得支援、空き家活用などの取組を継続して実施していくことが求められる。
- 市民アンケートでは、市への愛着を感じる市民の割合が減少する結果となった。若者世代が小美玉市の暮らしに魅力を感じてもらえるよう、市内外へのシティプロモーションを効果的に展開していく事が重要である。

■数値目標の達成状況

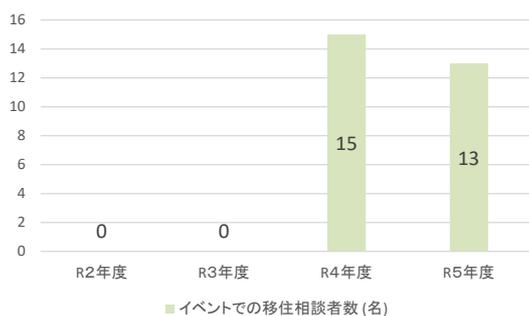
基本目標	前回基準値	目標値 (2024年度)	実績値
社会移動率	-0.35%	-0.18%	0.38% (2022年)
生産年齢人口純移動数	-266人	-200人	63人 (2022年)
小美玉市に愛着を持っている市民の割合（アンケート調査）	56.0%	60.0%	42.6%(市民) 40.6% ^{※1} (市民保)
今後も今のお住まいに継続して住む割合（アンケート調査）	53.4%	55.0%	56.7%(市民) 76.3% ^{※2} (市民保)

※1 現在小美玉市に住んでいる市民（保護者）のみを対象に算出した割合

※2 「（小美玉市に）ずっと住み続けたい」または「（小美玉市に）当分は住み続けたい」と回答した市民（保護者）の合計

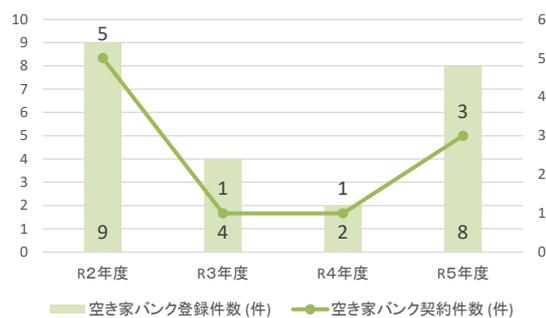
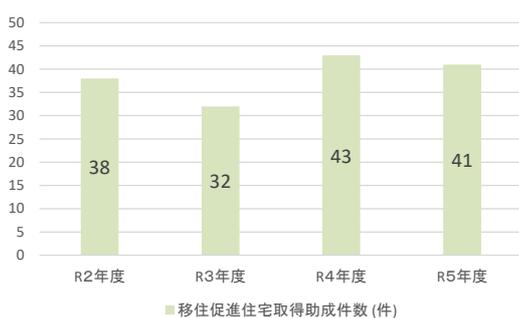
4-01. 市民・民間主体のローカル&ビジネス（小商い文化）推進

- ・令和3年度に実施した「食と農のプログラム」では、シビックガーデンを組み込み、土いじりする暮らしが実現できる本市の魅力を発信した。令和4年度からは首都圏で行われる移住・定住イベントで「食と農のプログラム」を冊子化した「Watashi Omitama」を配布した。また、実証実験マルシェとして「まる市」を開催し、スモールスタートとして出店者の経験を積む場を創出するとともに、移住定住ポータルサイトにて情報発信を行った。



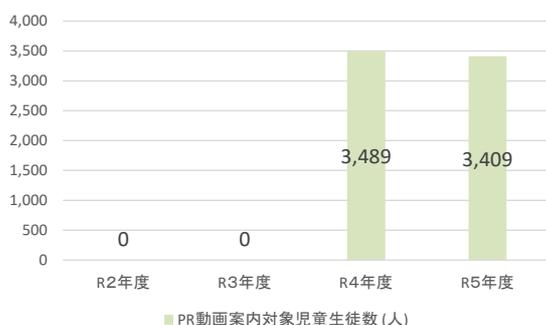
4-02. 移住のハードルを下げる

- ・移住者を対象に新築住宅および中古住宅の取得費用の一部を助成する事業を行った。令和4年度に、若年世帯及び子育て世帯に助成額の加算を行うとともに、小美玉市空き家バンク制度を運営し、移住・定住希望者への物件情報の提供を行った。令和5年からは空き家バンク物件を対象に修繕・取得・家財道具処分の費用の補助を実施した。
- ・令和2年度に市民メディア「タウンジャーナル小美玉」を立ち上げ、地域に密着した情報を発信した。また令和3年度以降は、大学と連携し学生目線での市の魅力を発掘・発信した。



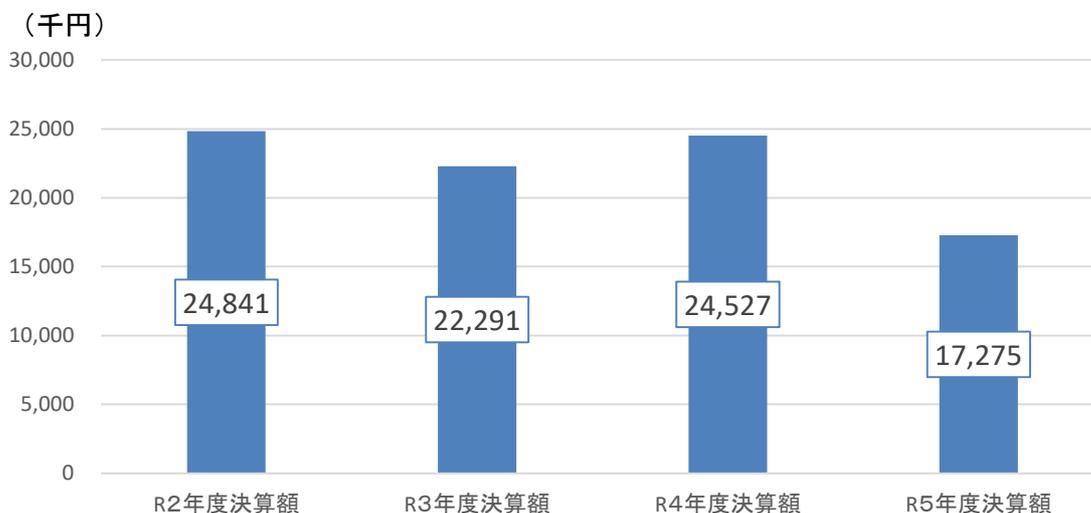
4-04. 学校との連携を深める

- ・令和2年度、令和3年度にはシティプロモーションDVDを配布した。令和4年度以降はPR動画の配信の案内を実施し、児童生徒のシビックプライドの醸成を図ることができた。県立中央高等学校にて小美玉魅力探求授業を継続的に実施するとともに、茨城県のコンテストに参加するなど、シティプロモーションとしての効果を高めた。



■ 施策別決算状況

- ・「Watashi Omitama」や「OMITAMA YATTEMIRU PROJECT」などの事業が終了し、令和5年度の決算額は減少している。シティプロモーションは市民・団体・事業者の自主的な活動を支える事業が多く、子育て支援のように市が実施する事業と比べて事業費は少ない。一方で、取り組めていない具体的事業については、見直しが必要である。



2. 第3期小美玉市総合戦略 — 輝く小美玉 創造ビジョン— 新体系案

政策分野1 「結婚・妊娠・出産・子育て」の希望をかなえるまち—おみたまっ子応援パッケージ+

結婚から妊娠・出産・子育て・教育までの一体的な支援を強化し、小美玉市を担うこどもたちの未来を創る

基本方向	具体的施策	
出会いから子育てまでを一体的に支援する	施策 101	新たな出会いの場の創出
	施策 102	安心して子育てできる環境の充実
自ら未来を切り拓く力を育てる	施策 103	個々の個性や能力を最大限に高める教育の推進
	施策 104	こどもたちの将来展望の形成支援

政策分野2 「地域の魅力」が輝くまち

本市固有の地域資源を活用した賑わいや交流を創出し、誰もが住み続けたい暮らしを創る

基本方向	具体的施策	
地域と観光の賑わいを創出する	施策 201	持続可能な地域づくりを推進
	施策 202	交流エリアの活性化促進(空・陸・水)
居心地がよい暮らしを創出する	施策 203	生き生きと健やかに暮らせる環境の充実
	施策 204	安全安心な地域づくりを推進

政策分野3 「働く」を創造するまち

若者世代が地元で働き続ける、魅力ある就業環境を創る

基本方向	具体的施策	
魅力ある仕事と雇用を創出する	施策 301	企業誘致の促進と雇用の創出
	施策 302	地域経済の活性化を促進
市民の「働く」を支援する	施策 303	地域産業の見える化とマッチング支援
	施策 304	デジタル人材の育成支援

政策分野4 「人の流れ」を生み出すまち

市民に愛され、若者に選ばれ続ける小美玉市を形成し、市内への人の流れを創る

基本方向	具体的施策	
「おみたま暮らし」で未来をつくる	施策 401	移住・定住の促進
	施策 402	若者のふるさと回帰を促進
シティプロモーションの推進	施策 403	シビックプライドの醸成
	施策 404	市内外に地域の魅力を情報発信